

令和2年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(令和元年度対象)



ふれあい音楽会



百人一首大会



青空ランチ



運動会 (フラッグダンス)

久喜市立江面第二小学校

令和2年11月

久喜市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象及び方法	1
3 点検・評価結果の構成	2

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成	4
2 教育委員会会議の開催状況	5
3 総合教育会議の開催状況	10
4 教育委員会委員の教育施設訪問状況	11

III 点検・評価の結果

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実	12
基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実	26
基本目標 3 信頼される学校づくりの推進	66
基本目標 4 人権を尊重した教育の推進	86
基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進	96
基本目標 6 歴史・文化の継承と活用	128
基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実	146

I はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、久喜市教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

《 参 考 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び方法

①点検・評価の対象

平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までを計画期間とする「第2期久喜市教育振興基本計画」では、各基本目標及び施策において数値目標を設定しています。

また、久喜市教育委員会では、毎年、「第2期久喜市教育振興基本計画」に定められた基本目標及び施策を達成するため、「第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」を定めています。これは、久喜市総合振興計画の教育分野の大綱である『心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にすまち』の実現のために策定した『未来をひらく 心豊かな久喜の人づくり』を基本理念とする「第2期久喜市教育振興基本計画」について、当該年度における具体的な取り組み内容を示すことにより、教育行政の効果的な推進を目指すために、策定したものです。

このことから、久喜市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行うにあたり、「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標と、「平成３１（２０１９）年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みを対象とすることとしました。

②点検・評価の方法

「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、目標値に対する到達度合いを数値化することで、達成率による点検・評価を実施しました。

「平成３１（２０１９）年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、教育委員会が自ら成果や課題を再確認することで、今後の事務の管理及び執行を改善するとともに、より効果的な教育行政の推進に資することを目的とし、自己により点検し評価することを基本に実施しました。

なお、この点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用しました。

【学識経験者氏名及び経歴】

田村 俊一（たむら しゅんいち）氏	元久喜市立久喜小学校長 東京学芸大学教職大学院特命教授
関 泰彦（せき やすひこ）氏	元久喜市立久喜中学校長 平成国際大学特任教授

３ 点検・評価結果の構成

（１）基本目標の概要等について

基本目標ごとに、その概要とそれに係る施策及び担当課等を記載し、達成度の集計を一覧にまとめました。

（２）教育委員会の自己点検・評価について

「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、個々に『実績値』を明確にし、計画策定時に定められた目標値に対する到達度合いを割合＝『達成率』で示し、『達成度』を明らかにする形で、評価しました。

「平成３１（２０１９）年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、個々に『取組み内容』と、自己点検・評価としての『成果』と『課題』を分析し、『達成度』を明らかにした上で、『今後の方向性』を示す形で、一覧にまとめました。

なお、それぞれの「点検・評価調書」の見方は、次ページのとおりです。

（３）学識経験者の意見について

自己点検・評価を基に、学識経験者の方より助言をいただき、その意見を基本目標ごとに箇条書きでまとめました。

【点検・評価調書について】

基本目標ごとに、下記に示す「点検・評価調書」を作成し、教育委員会の点検・評価を行っています。それぞれの「点検・評価調書」の見方は、下記のとおりです。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	基本目標の番号と目標名を記載しています		
施策	施策の番号と施策名を記載しています		
具体的施策	具体的施策の番号と施策名を記載しています		
数値目標名	数値目標名(指標の内容)を記載しています	担当課	数値目標を所管する担当課を記載しています
単位	単位を記載しています	達成率	目標値に対する到達率を割合(%)で記載しています
平成28年度 現状値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた平成28年度の現状値を記載しています	達成度	達成率を踏まえ達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)
平成30年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和元年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和2年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します	推移グラフ	数値目標の年度毎の推移をグラフにより掲載しています
令和3年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 目標値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた令和4年度の目標値を記載しています		

※【達成度評価の段階指標】

- A・・・達成率100%以上
B・・・達成率90%以上100%未満
C・・・達成率80%以上90%未満
D・・・達成率80%未満

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	基本目標の番号と目標名を記載しています								
施策	施策の番号と施策名を記載しています								
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
具体的施策の番号と施策名を記載しています	通し番号を記載しています	実施計画に掲載の取組み名及び取組みの目標年度又は継続的取組みの別を記載しています	新規取組みについて「○」を記載しています	取組みを所管する担当課を記載しています	当該年度に実施した取組み内容を記載しています 出来る限り数値化し、よりわかりやすく記載しています	取組みの成果を記載しています	取組みにおける課題を記載しています	達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)	成果と課題を洗い出した上で今後の方向性を記載しています

※【達成度評価の段階指標】

継続的取組みの場合

- 4・・・業務を遂行し想定を超える成果が出た
3・・・予定どおりに業務を遂行できた
2・・・予定を下回る取組み結果となった
1・・・予定していた業務を遂行できなかった

目標年度が設定された取組みの場合

- A・・・計画を上回っている
B・・・概ね計画どおりである
C・・・計画より遅れている
D・・・計画倒れ・中止となった

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

久喜市教育委員会は、平成27年4月1日の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正にあわせて新制度に移行し、教育長と4人の教育委員をあわせた5人により構成されています。なお、教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年です。

【教育委員会構成員の一覧（令和元年度）】

○平成31年4月1日から令和元年5月20日まで

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	かきぬま みつお	自 平成30年4月 1日	
	柿沼 光夫	至 令和 3年3月31日	
教育長職務 代理者	えのもと ひであき	自 平成30年5月21日	
	榎本 英明	至 令和 4年5月20日	
委員	つばい きよこ	自 平成28年5月21日	
	坪井 喜代子	至 令和 2年5月20日	
委員	かのう かずや	自 平成27年5月21日	任期満了 保護者たる委員
	狩野 和也	至 令和元年5月20日	
委員	もろはし みつこ	自 平成29年5月21日	保護者たる委員
	諸橋 美津子	至 令和 3年5月20日	

○令和元年5月21日から令和2年3月31日まで

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	かきぬま みつお	自 平成30年4月 1日	
	柿沼 光夫	至 令和 3年3月31日	
教育長職務 代理者	えのもと ひであき	自 平成30年5月21日	
	榎本 英明	至 令和 4年5月20日	
委員	つばい きよこ	自 平成28年5月21日	
	坪井 喜代子	至 令和 2年5月20日	
委員	もろはし みつこ	自 平成29年5月21日	保護者たる委員
	諸橋 美津子	至 令和 3年5月20日	
委員	やまなか だいご	自 令和 元年5月21日	新任 保護者たる委員
	山中 大吾	至 令和 5年5月20日	

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回の「定例会」と、必要に応じて「臨時会」を開催し、付議議案の審議及び教育長報告事項の報告など、教育行政の方針等を決定しています。なお、教育委員会会議は、会議開催日の1週間前に告示を行うとともに、市ホームページに掲載し、お知らせしています。

令和元年度は、「定例会」12回、「臨時会」1回の計13回開催し、議案64件、教育長報告38件、協議事項2件について審議等を行いました。

また、既に開催された教育委員会会議の会議録は、市ホームページに掲載しています。その他、市役所公文書館の閲覧コーナーでもご覧いただくことができます。

【教育委員会会議開催一覧（令和元年度）】

会議名	久喜市教育委員会平成31年4月定例会
開催日	平成31年4月18日（木）
議 案	議案第34号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第35号 久喜市教育委員会表彰について 議案第36号 久喜市立江面第一小学校と久喜市立江面第二小学校の統合による新校設立準備委員会委員の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 平成31年2月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 平成31年2月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育活動指導員の委嘱について エ 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の委嘱又は任命について オ 久喜市教育委員会表彰について

会議名	久喜市教育委員会令和元年5月定例会
開催日	令和元年5月21日（火）
議 案	議案第37号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第38号 久喜市英語検定受験料補助金交付要綱の一部を改正する告示について
教育長報告	ア 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第2号）（案）に係る意見聴取について

会議名	久喜市教育委員会令和元年6月定例会
開催日	令和元年6月25日（火）
議 案	議案第39号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第40号 久喜市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則の一部を改正する規則について

教育長報告	ア 久喜市教育委員会所管の委員会等の委嘱について
-------	--------------------------

会議名	久喜市教育委員会令和元年7月定例会
開催日	令和元年7月24日（水）
議案	議案第41号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第42号 久喜市立幼稚園保育料等検討委員会への諮問について 議案第43号 久喜市障がい児就学支援委員会への諮問について 議案第44号 令和2年度から令和5年度使用久喜市立小学校教科用図書の採択について 議案第45号 令和2年度使用久喜市立中学校教科用図書の採択について 議案第46号 令和2年度使用久喜市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について
教育長報告	ア 令和元年6月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和元年6月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について

会議名	久喜市教育委員会令和元年8月定例会
開催日	令和元年8月19日（月）
議案	議案第44号 令和2年度から令和5年度使用久喜市立小学校教科用図書の採択に（継続審議） について 議案第45号 令和2年度使用久喜市立中学校教科用図書の採択について（継続審議） 議案第47号 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第4号）（案）に係る意見聴取について 議案第48号 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第5号）（案）に係る意見聴取について 議案第49号 教育財産の取得の申出について 議案第50号 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について 議案第51号 久喜市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について
教育長報告	ア 久喜市立幼稚園保育料等検討委員会の答申について

会議名	久喜市教育委員会令和元年9月定例会
開催日	令和元年9月27日（金）
議案	議案第52号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規則について 議案第53号 久喜市会計年度任用職員制度の導入に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について 議案第54号 久喜市教育委員会子ども・子育て支援法施行細則について

	議案第 55 号 久喜市教育委員会実費徴収に係る補足給付事業費補助金交付要綱について 議案第 56 号 久喜市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第 57 号 令和 2 年度当初教職員人事異動方針について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会事務局職員の人事について イ 久喜市教育委員会表彰について ウ 久喜市外国語指導助手の委嘱について エ 久喜市会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例について オ 久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則について

会議名	久喜市教育委員会令和元年 10 月定例会
開催日	令和元年 10 月 24 日（木）
議 案	議案第 58 号 久喜市武道外部指導者の委嘱について 議案第 59 号 江面第一小学校と江面第二学校の統合に伴う今後の対応について
教育長報告	ア 令和元年 9 月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和元年 9 月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育活動指導員の委嘱について

会議名	久喜市教育委員会令和元年 11 月定例会
開催日	令和元年 11 月 18 日（月）
議 案	議案第 60 号 久喜市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第 61 号 令和元年度教育委員会の事務に関する点検評価（平成 30 年度対象）について 議案第 62 号 久喜市立図書館における複写サービス取扱要綱の一部を改正する告示について
教育長報告	ア 久喜市外国語指導助手の委嘱について イ 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第 6 号）（案）に係る意見聴取について ウ 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第 7 号）（案）に係る意見聴取について

会議名	久喜市教育委員会令和元年 12 月定例会
開催日	令和元年 12 月 25 日（水）
議 案	議案第 63 号 久喜市生徒指導推進委員の委嘱について 議案第 64 号 久喜市立学校設置条例の一部を改正する条例について 議案第 65 号 久喜市江面地区における小学校の統合に係る新校基本計画（案）につ

	いて 議案第 6 6 号 久喜市江面地区における小学校の統合に係る施設整備基本計画（案） について
教育長報告	ア 久喜市教育活動支援員の委嘱について イ 令和元年 1 1 月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について ウ 久喜市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部改正」部分） エ 久喜市江面第一小学校と久喜市立江面第二小学校の統合による新校の基本的事項に関する報告について オ 令和元年 1 1 月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について

会議名	久喜市教育委員会令和 2 年 1 月定例会
開催日	令和 2 年 1 月 2 2 日（水）
議 案	議案第 1 号 久喜市立菖蒲南中学校の小規模化に伴う統廃合等の方針（案）について 議案第 2 号 久喜市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第 3 号 久喜市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第 4 号 久喜市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例について 議案第 5 号 久喜市教育委員会事務専決規程等の一部を改正する訓令について 議案第 6 号 令和 2 年度久喜市一般会計予算（案）に係る意見聴取について 議案第 7 号 久喜市立図書館運営審議会委員の委嘱について 議案第 8 号 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第 8 号）（案）に係る意見聴取について 議案第 9 号 久喜市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
教育長報告	ア 久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則について イ 『「今後の久喜市の成人式のあり方」についての提言』について ウ 久喜市立小・中学校学区等審議会の答申について
協議事項	ア 第 2 期久喜市教育振興基本計画実施計画（素案）について

会議名	久喜市教育委員会令和 2 年 2 月定例会
開催日	令和 2 年 2 月 2 1 日（金）
議 案	議案第 1 0 号 第 2 期久喜市教育振興基本計画実施計画（案）について 議案第 1 1 号 令和 2 年度における学校閉庁日の特例について 議案第 1 2 号 久喜市立図書館事務取扱要綱等の一部を改正する告示について 議案第 1 3 号 久喜市任期付市費負担教職員の任用について 議案第 1 4 号 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について

教育長報告	ア 令和元年度久喜市一般会計補正予算（第9号）（案）に係る意見聴取について
-------	---------------------------------------

会議名	久喜市教育委員会令和2年第1回臨時会
開催日	令和2年2月28日（金）
協議事項	ア 新型コロナウイルス感染症の予防に係る市内小・中学校の臨時休業等について

会議名	久喜市教育委員会令和2年3月定例会
開催日	令和2年3月19日（木）
議 案	議案第15号 久喜市立小・中学校大規模改造基本方針（案）について 議案第16号 久喜市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について 議案第17号 久喜市立学校等の児童、生徒及び幼児の災害共済給付に係る共済掛金に関する規則について 議案第18号 久喜市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第19号 久喜市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第20号 久喜市共同学校事務室運営規程について 議案第21号 久喜市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について 議案第22号 久喜市立小・中学校における働き方改革基本方針（案）について 議案第23号 久喜市中学校部活動ガイドラインの改訂案について 議案第24号 令和2・3年度久喜市教育委員会研究委嘱について 議案第25号 久喜市会計年度任用職員制度の導入に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の一部を改正する規則について 議案第26号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第27号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第28号 久喜市共同学校事務室の室長及び副室長並びに久喜共同学校事務室全体連絡会議の責任者及び副責任者の指名について 議案第29号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第30号 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について 議案第31号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について

教育長報告	ア 令和2年2月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について
	イ 新型コロナウイルス感染症の予防に係る市内小・中学校の臨時休業等について
	ウ 新型コロナウイルス対策に伴う公共施設の対応について
	エ 平成31（令和元）年度教職員人事評価結果について
	オ 久喜市障がい児就学支援委員会の答申について
	カ 令和元年度久喜市立中学校卒業生の進路状況について
	キ 令和4年度以降における久喜市成人式の開催方針について
	ク 令和2年2月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について

3 総合教育会議の開催状況

久喜市総合教育会議は、平成27年4月の教育委員会制度改正に伴い、地方公共団体の長である市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために設置されたものです。

令和元年度は、下記のとおり2回開催しました。

【総合教育会議開催一覧（令和元年度）】

会議名	令和元年度第1回久喜市総合教育会議
開催日	令和元年7月16日（火）
協議・調整事項	・通学区の現状と課題について ・学校統廃合に向けた部活動の交流について ・スポーツの振興について ・その他

会議名	令和元年度第2回久喜市総合教育会議
開催日	令和元年10月21日（月）
協議・調整事項	・防犯カメラの運用を含めた防犯対策について ・スポーツ・文化に関する事務の取り組みについて ・ICT環境の整備と活用について ・その他 台風19号への対応状況について

4 教育委員会委員の教育施設訪問状況

久喜市教育委員会では、教育委員が、児童生徒の日頃の様子を観察したり、校内状況を視察したりし、学校の状況を把握することで、また、公民館や図書館といった社会教育施設を巡視し、施設の運営状況や活動状況を把握することで、今後の教育施策に生かすことを目的に、定期的に教育施設訪問を行っています。

令和元年度は、教育委員会定例会議にあわせ、計2回の教育施設訪問を実施しました。

【教育施設訪問実施一覧（令和元年度）】

訪問場所	訪問月日	訪問内容
久喜市立菖蒲南中学校	令和元年11月18日（月）	授業参観、校内視察
久喜市立中央図書館	令和元年12月25日（水）	施設内視察、運営状況確認

Ⅲ 点検・評価の結果

基本目標 1

人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

基本目標の概要

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎をつくること、「生きる力」を培うことを重視して進める必要があります。そのため、幼稚園・家庭・小学校・地域が相互に連携を深めるとともに、教育環境の整備を図り、幼児期に最もふさわしい教育の充実を図ります。

施策

- 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援 2 小学校との連携
- 3 教員の資質・能力の向上 4 保護者への支援体制の充実
- 5 幼稚園と保育所の連携 6 特別支援教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 1 4 ○数値目標 2 ○取組み 2 6

担当課

○学務課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全2件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	50.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	1	50.0%

継続的 取組み (全26件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	3.8%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	25	96.2%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全0件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

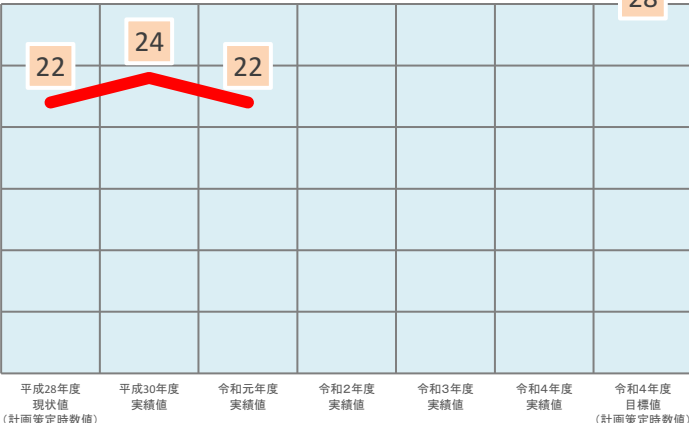
幼児期における教育は、地域の特性を踏まえ、環境を通して行われるものです。先生方は、幼児との信頼関係を築いて、幼児とともに良い教育環境を作り、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行っていただいています。子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援、小学校との連携、保護者への支援体制の充実などの実施された施策は、家庭や地域と連携し、教員が協力し合いより良い教育環境づくりを行って成果を挙げていると思います。

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものです。実施された施策は、園児一人一人に応じた対応をし、成果を挙げていると思います。幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を共有するなど、連携を図り、幼稚園における先生方の指導の充実により、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう、一層努めていただきたいと思います。

新幼稚園教育要領のもと、教育課程が実施されています。幼稚園では、教科書のような主たる教材を用いず、環境を通して行う教育を基本としていること、家庭との関係において、緊密度が他校種と比べて高いこと、預かり保育や子育ての支援などの教育課程以外の活動が、幼稚園で実施されていることが大切であり、そのためには、幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントは極めて重要だと思います。カリキュラム・マネジメントを通して、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に、幼稚園の教育活動の質の向上を、今後も図っていくことに努めていただきたいと思います。

新幼稚園教育要領に、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿がありますが、その「10の姿」と小学1年生の生活科の目標はほぼ等しく、幼稚園と小学校の連携というのが大切になってくると思います。「10の姿」の基盤が、子どもの発達の段階であるということを幼稚園や小学校がお互いに理解し合っているかということが重要です。両者が連携し、達成度合いを共有していくことが大切であると思います。そのような意味からも、連番9と連番10は、幼稚園、保育園、小学校とが一緒に実施したほうが効果的なのではないかと思います。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実		
施策	2 小学校との連携		
具体的施策	1 子どもの交流活動の推進		
数値目標名	幼稚園と小学校の交流活動	担当課	学務課
単位	回	達成率	78.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	22	達成度	D
平成30年度 実績値	24	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※ 22		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	28		

※新型コロナウイルス感染症の影響及び天候不良により、交流活動を中止したため、平成30年度の実績値よりも令和元年度の実績値が減少しています。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標⁻¹⁵⁻における点検・評価調書

基本目標	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実		
施策	4 保護者への支援体制の充実		
具体的施策	1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実		
数値目標名	保護者の保育参加の機会	担当課	学務課
単位	回	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	16	達成度	A
平成30年度 実績値	16	推移グラフ	18 16 14 12 10 8 6 4 2 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	16		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	16		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 基本的な生活習慣の習得に向けた指導	1	家庭生活状況の把握 (継続的取組み)		学務課	・園児の家庭より家庭調査票を提出していただき、一人ひとりに応じた対応をしました。
	2	生活習慣習得のための指導 (継続的取組み)		学務課	・年齢や個人差を踏まえながら、家庭と連携を図り、生活習慣を習得することの大切さを伝え、園と家庭双方とで丁寧に取り組みました。
2 食育の推進	3	野菜の栽培や収穫体験の実施 (継続的取組み)		学務課	・幼児にとって身近な野菜を、数種類育てました。 (中央幼稚園6種類、栗橋幼稚園6種類) ・中央幼稚園は久喜南中学校との交流により、栗橋幼稚園は園内の畑でじゃがいも掘り体験を行いました。
	4	栄養士による食育指導 (継続的取組み)		学務課	・市内の給食の栄養士に依頼をし、幼児向けにわかりやすく食事の大切さについてお話をいただきました。 (中央幼稚園1回/年)(栗橋幼稚園1回/年)
	5	友だちと一緒に食事をする機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・通常は家庭から弁当を持参していますが、2か月に1度、共通食を提供し、皆で同じ食事をする機会を設定しました。 (中央幼稚園5回、栗橋幼稚園5回)
3 コミュニケーション能力の育成や自立心の育成	6	幼児の主体的な生活の実現 (継続的取組み)		学務課	・幼稚園教育要領に基づき、教育課程、年間指導計画、月案、週案を学年ごとに作成し、発達年齢、季節感等を考慮し、幼児の興味関心をもたせることで、主体的な学びを大切にしました。
	7	あいさつや生活に必要な言葉の習得に向けての指導 (継続的取組み)		学務課	・言語表現を教育計画の中に取り入れ、登園時のあいさつや生活の中での具体的なやりとりを教師が見本となって指導しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・幼稚園と家庭が共通の認識をもって課題や注意点などに配慮することで、効果的な指導につなげることができました。	・保護者との信頼関係を築くことが重要であり、個々の家庭状況によっては、継続した指導が難しい状況もありました。	3	・今後も、一人ひとりに応じた指導が重要です。そのためにも、家庭状況を把握し、効果的な指導につなげていくことを目指します。
・毎日の生活の積み重ねにより、幼児が自分でできることが増えてきました。5歳児が卒園するまでには、基本的生活習慣が身に付くようになりました。	・排泄自立に関しては、個人差が大きく幼稚園で取り組んでいても、家庭では、おむつをはかせてしまったりして、自立するまで時間を要しました。	3	・生活習慣の習得の大切さを啓発しながら今後も一人ひとりの幼児に合わせ、家庭との連携を大切にすることで、基本的生活習慣の定着を図っていきます。
・自分たちで、水やりや生長の様子をみることで野菜への興味関心を持たせることができました。	・栽培のための土を作ることが大切ですが、予算上難しくなっているため、工夫する必要があります。	3	・幼児にとって身近な野菜との出会いを大切に、栽培や収穫などの直接体験の機会を大切にしていきます。
・専門職の方のお話は幼児にとっても、わかりやすく、楽しく学ぶことができました。	・幼稚園で意識啓発を行っても、食生活の改善につながりにくいことが課題です。	3	・毎日の食事の大切さについては、継続して指導していく必要があります。 ・特に保護者に向けては、折に触れて具体的に意識啓発を行っていきます。
・食わず嫌いの傾向のある幼児には、様々な食材に触れる良い機会となり、友達と一緒に同じ物を食べる喜びを味わうことができました。	・共通食のメニューは、根菜などの煮物や魚などを提供しています。保護者へレシピ等を提供していますが、家庭から持参する弁当に根菜の煮物・魚などが追加されていることが少なく日常的に様々な食材に触れる機会を確保することが課題です。	3	・保護者によっては、回数を月に1回程度に増やしてほしいという要望もありますが、弁当だけでよいというアンケート結果もあります。今後も教育的な効果を十分に検証していく必要があります。
・個々の幼児の興味関心に合わせた教育環境を整えることで幼児の心身両面での育ちにつながりました。自分で考えて遊ぶ力、生活しようとする姿がみられるようになりました。	・幼児の主体的な生活を実現するために、バランスのとれた教育指導計画が必要です。個人差が大きい幼児や特別な支援を要する幼児の場合、個に合わせた支援プランを作成する必要があり、全体への指導とのバランスが難しい点もありました。	3	・幼児の主体的な生活の実現は、短期間で身につくものではありません。長期的に幼児が卒園していくまでの3年間をかけ、継続して指導する必要があります。
・初めは、促されてあいさつをしていた幼児が、毎日の積み重ねによって、自分からできるようになりました。そのことを認められたことで、自信をもって遊びにも取り組めるようになっていきました。	・日々のあいさつについては、家庭との連携も重要であり、言葉でのやりとりの重要性について、意識啓発する必要があります。	3	・幼児自らがあいさつや言葉での表現の大切さに気づき、進んでできるようになるまで根気よく継続した取組を行っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 2 小学校との連携			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 子どもの交流活動の推進	8	幼児と小学生が触れ合う交流会や見学会の実施 (継続的取組み)		学務課	・久喜市内の小学校の1年生から6年生までと22回(中央幼稚園4回、栗橋幼稚園4回、私立幼稚園14回)の交流会を行いました。小学校の中の様子を見学する、給食を一緒に食べる、音楽交流、授業に参加するなどの交流を行いました。
2 教員間の連携強化	9	幼稚園・小学校連絡会の実施 (継続的取組み)		学務課 指導課	・小学校就学先の個別の連絡会などを行いました。 ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、各小学校と幼稚園・保育園等で、3学期に、就学児一人ひとりの情報交換を実施しました。
	10	久喜市幼保小連絡協議会の開催 (継続的取組み)		指導課	・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、久喜市幼保小連絡協議会を2回開催しました。 ・第2回久喜市幼保小連絡協議会では、新たに公立幼稚園の公開保育を実施しました。
	11	幼稚園と小学校の教員間における交流活動や授業参観等の実施 (継続的取組み)		学務課	・小学校の授業参観に年長組の教員が参加し、卒園後の学校で様子を見たり、幼稚園の公開保育を行いました。 (中央幼稚園:2回実施、参加者数2人) (栗橋幼稚園:2回実施、参加者数2人) ・小学校教員との連絡会を実施しました。(8回実施)

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 3 教員の資質・能力の向上			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 教員研修の充実	12	園内研修の実施 (継続的取組み)		学務課	・園全体の教員の指導力の向上を目指し、研究課題を設定し、計画的に研修を実施しました。 (中央幼稚園:10回実施、参加者数延べ30人) (栗橋幼稚園:10回実施、参加者数延べ30人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・小学生との交流を喜び、就学前の不安を和らげたり、就学への期待を高めることができました。	・小学校教諭との交流会前の打ち合わせ等が不十分になるときもありました。 ・交流内容の深まりについてを検討する余地があります。	3	・就学を控えた幼児にとって、適切な時期に様々な交流機会を作ることが大切です。不安を和らげ、小学校入学の段差を乗り越えることができるよう継続していきます。
・個別の幼児の実態を伝えることで、小学校入学後の指導体制の連携が図られました。 ・就学児一人ひとりの情報交換を実施したことで、小学校入学当初から個に応じた支援ができました。	・幼小の共通理解が図られていますが、年度ごとに教員の異動もあり、教育カリキュラムも変更が生じることから、連絡会を維持していくことが課題です。 ・小学校入学後も、必要に応じて連携を図ることで、新入学児が円滑に学校生活を送れるよう配慮する必要があります。	3	・今後も幼小の接続を円滑にしていくために連携をとっていく必要があります。 ・保育者や教員が交流できる機会を増やせるよう連携を深めていきます。
・協議会の開催を通して、保育者と教員が共に研修したことで、相互の教育内容や指導方法の差異、幼児と児童の実態について共通理解を深めることができました。	・接続期プログラムについて、幼稚園と保育所、認定こども園の取組の共通点を明かにし、小学校への接続の段差を減らすよう改善を図る必要があります。	3	・公開保育の機会を増やし、接続期プログラムの見直し・改善を図る研修を充実していきます。
・小学校教員との連絡会を通し、幼児教育と小学校教育との違いなど、現状や課題について共通理解を図ることができました。	・主に年長組の担任が参加しており、実施後に園全体の課題等を共有し、指導の改善につなげていくことが課題です。	3	・今後も小学校との連携を図りながら交流活動を継続していくことが大切です。また、園内でも情報を共有し、長期的な視点をもちながら幼児の成長につながる指導を工夫していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学期ごとに研修会を行い、反省・評価について教員全体で振り返りを行うことができました。 ・中央幼稚園では、外部指導者の講師を招き、より実践的な研修を受け、指導に生かすことができました。	・園の教員の年齢が若くなっている反面、個々のスキルアップのための研修を継続していくこと、実践的な研修の機会をどう確保していくかが課題です。	4	・様々な課題について職員全体で共有することや意識を高めていくために今後も園内研修の取組みを継続していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 3 教員の資質・能力の向上				
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	13	園外研修等への参加機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・県主催の初任者研修会【全10回】 (中央幼稚園1人、栗橋幼稚園1人) ・経験者研修【全7回】 (中央幼稚園1人、栗橋幼稚園1人) ・幼稚園教育研究会【全3回】 (中央幼稚園2人、栗橋幼稚園5人) ・特別支援学校主催の研修会【全3回】 (中央幼稚園4人、栗橋幼稚園5人)
	14	研究保育の実施及び外部指導者を招いての研修 (継続的取組み)		学務課	・市内幼稚園2園において、合同研修会を設定し、3歳児保育開始に伴う課題抽出を行いました。その後、教育委員会指導主事、主幹より指導をしていただきました。 (1回実施、参加者数：中央幼稚園9人、栗橋幼稚園11人)

基本目標 施策	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 4 保護者への支援体制の充実				
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実	15	保護者間でコミュニケーションを図る機会となるような園行事の実施 (継続的取組み)		学務課	・中央幼稚園では4種類、栗橋幼稚園では5種類の園行事の準備や運営等を保護者と共に実施しました。
	16	保護者の「保育参加」の機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・各幼稚園において「保育参加」を設定しました。 (中央幼稚園：3歳児2回29人参加、4歳児4回60人参加、5歳児6回38人参加) (栗橋幼稚園：3歳児7回20人参加、4歳児11回30人参加、5歳児9回29人参加)
2 教育時間外の保護者支援	17	預かり保育の実施 (継続的取組み)		学務課	・中央幼稚園では、年間189日実施し、782人の利用がありました。 ・栗橋幼稚園では、年間208日実施し、704人の利用がありました。
3 子育てについての相談の場の提供	18	保護者が教員に相談できる体制の充実 (継続的取組み)		学務課	・担任教員との個別面談や、いつでも相談できるよう時間と場所の確保をし、保護者が不安なく活用できるようにしました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・研究課題をもとに、レポート作成をし、協議する研修により、幼児理解や、指導の在り方について、研修を深めることができました。	・研修で得ることができた知識や情報を職員全体で共有し、個々のスキルアップにつなげていくことが課題です。	3	・園外研修の機会をできるだけ設け、教員の指導力の向上を図ります。
・市内公立幼稚園の職員が共通の課題について、話し合いをする機会を持ち、様々な視点による協議を行うことができました。3歳児の実態を知り、幼児理解につなげることができました。	・2園において、共通の課題を確認し、改善に向けての指導方法等は、園ごとにその実態や背景も違うことから、工夫していくことが課題です。	3	・今後も市内2園の幼稚園職員が研修の機会を作り、協議を深めながら保育の質を向上させるため、継続していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・園行事の実施に向けて、楽しみながら活発な保護者間のコミュニケーションが図られました。また、幼稚園の教育についても理解につながる機会となりました。	・保護者間の受け止めにも多少の意識の差があることから、幼稚園として主旨を理解していただくことが課題です。	3	・保護者がより主体的に取り組むことで子育てへの意欲や喜びにつながるよう今後も継続して取り組みをしていきます。
・保護者が、自分の子ども以外の多くの幼児に触れ合い、保育の経験をする中で、視野が広がり、教員の子どもへの接し方が子育てへのヒントにつながるといった感想も聞かれました。	・活動のねらいを保護者に理解して参加していただくことが課題です。 ・自由参加のため、参加者に偏りが出てしまいました。	3	・「保育参加」の意義を保護者に分かりやすく伝えて、日程等の周知についても、園のおたより等を工夫していきます。
・仕事をもつ保護者や不意の用事ができたときなども、安心して預けられる場所を提供することができました。	・日にちによって利用人数にばらつきがあったため、保育の内容については、臨機応変な対応が必要であり、幼児、保護者共に安心して利用できるようにすることが課題です。	3	・今後も、保護者を支援するため、預かり保育の充実を図ります。
・保護者と教員同士のコミュニケーションがスムーズになることで相互関係が良好になり、幼児への指導も効果的に取り組むことができるようになりました。	・保護者が相談しやすい話を聞く環境を整えるだけでなく、園としての取り組みを保護者にご理解いただけるよう伝えていくことが課題です。	3	・子育てへの悩みや不安をかかえる保護者も増えていることから、しっかりとサポート体制を整えるためにも相談できる体制を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 4 保護者への支援体制の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
4 「3つのめばえ」の活用	19	「3つのめばえ」の共通理解と家庭と連携して取り組む体制を構築 (継続的取組み)		学務課	・保育懇談会の際に、家庭教育の重要性について、「3つのめばえ」をもとに説明を行いました。
5 3年保育の検討・実施	20	3年保育の実施 (継続的取組み)	○	学務課	・3年保育を開始するにあたり、教育課程、年間指導計画を作成し、学期ごとに指導案の修正見直しを行いました。 ・短期の指導計画は、幼児の実態をみながら作成しました。

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 5 幼稚園と保育所の連携			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 幼保一体化事業の充実	21	中央幼稚園と中央保育園分園の幼保合同保育の推進 (継続的取組み)		学務課	・幼保の連携を深めるために、保育士と協議しながら、指導計画や行事等の立案を行い、夏休み等の長期休業日を除く通年で合同保育を実施しました。 3歳児155日 4歳児175日 5歳児186日
	22	連絡会議の開催 (継続的取組み)		学務課 指導課	・月案12回・週案会議を24回実施し、日々の保育の計画を保育士と幼稚園教諭で立てました。 ・幼稚園と保育所で保育や教育内容、行事などについて共通理解を図りました。

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 6 特別支援教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 特別な支援を要する幼児の特性に応じた指導方法の推進	23	一人ひとりの特性に応じた教育の推進 (継続的取組み)		学務課	・学期ごとに3回の特別支援会議を行うことで職員全体の共通理解を図りました。 ・特別支援学校コーディネーターの研修や幼児が通う療育施設の見学や施設職員との連絡会、協議を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・就学前までに育てたい幼児の姿のめやすを具体的に伝えることができました。また、園と家庭とが連携することの大切さを伝えることができました。	・保護者にとって、保育懇談会での説明だけでは、一過性になりがちのため、個人面談など個別の機会にも「3つのめばえ」の意識の定着を図っていくことが課題です。	3	・健やかな幼児の成長につなげるために、家庭教育の大切さを保護者に向けて啓発することを継続していく必要があります。
・初年度の3歳児保育は、基本的な生活習慣の習得に重きを置き、発達年齢に応じた指導を展開し、一人ひとりの幼児の成長につながりました。	・個人差が大きい年齢でもあり、一律には浸透しきれない指導のところもあり、年度末に指導計画の見直しを行いました。次年度に反省点、評価を生かしていくことが課題です。	3	・3年保育を継続していくことで、幼児教育を推進していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・合同保育を行うことで園児同士の交流を深めることができました。 ・園児にとっても、多様な同年齢の友達と過ごせることでたくさんの刺激を受けて成長することができました。 ・保護者の方からの評価においても、経験の場が広がったと、好評でした。	・親子で参加する行事については、保育園の保護者は就労により参加できないものもあります。 ・生活の時間帯が同じではないことから、幼児の体調等に気を配りながら保育を進めていく必要があります。	3	・今後も、保育士と教諭が協力し合い、幼児が多様な体験をすることができるよう継続して取り組みを行っていきます。
・同じ施設内に幼稚園と保育所がある利点を生かし、連絡会議を綿密に行うことで、保育活動のねらいや方法を確認め合いながら月案や週案を作成することができました。 ・幼保一体の合同保育や行事を行い、園児たちの人間形成の基礎を培うことにつながりました。	・保育時間の違いにより、会議の時間の折り合いが難しいこと、予算上できない行事もあり、工夫していく余地があります。 ・月案や週案を立てるだけでなく、保育士と幼稚園教諭が互いの保育・教育を振り返る機会とし、互いの保育内容や方法、スキルを高め合う、質の高い保育・教育を実現するための話し合いの場としても連絡会議を活用する必要があります。	3	・継続して取り組むことで、情報の共有や幼児教育への共通理解を図ります。 ・公立、私立及び認定こども園と共に保育・教育を考える研修計画の立案をしていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・一人ひとりの幼児の課題について長期的、計画的に指導に取り組むことができ、集団生活での個々の成長を促すことができました。同時にクラス全体の思いやりの気持ちなどの成長もみられるようになりました。	・幼稚園卒園までの期間の中で、一人ひとりに応じた援助を行いました。保護者との共通認識をもちあうことが難しい面もあり、支援の方向性では、時間をかけて信頼関係を築く必要がありました。	3	・幼児期の援助とその育ちが、進学先でのどのような経過をたどるのかを検証し、経過を見届け、園での指導につなげていくよう努めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標
施策

1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

6 特別支援教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 支援体制の強化	24	教員の指導力の向上 (継続的取組み)		学務課	・幼児教育の専門的な研修の機会を図りました。 (中央幼稚園:4回実施、参加者数5人) (栗橋幼稚園:5回実施、参加者数13人)
	25	個別の支援計画・指導計画の作成やサポート手帳の活用 (継続的取組み)		学務課	・一人ひとりの幼児の発達課題を明確にするために個別の支援プランを作成し、園全体で共有しました。 (作成件数:中央幼稚園16件、栗橋幼稚園13件)
	26	補助教員の配置 (継続的取組み)		学務課	・特別な支援を要する幼児の実態に合わせた指導や援助ができるよう、補助教員を配置しました。 (中央幼稚園6人配置、栗橋幼稚園8人配置)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・教育理論、保育実技等多様な研修の機会を通して教員の資質・能力の向上につながりました。	・学級の課題について評価・反省をする機会を設けましたが、職員間で共有することで、次年度以降の指導計画にも反映させていくことも必要です。	3	・学級経営等の具体的な指導方法の研修を継続し、個々の教員の資質向上を図ります。
・一人ひとりの発達課題について職員全体で把握することができ、一貫した指導につなげることができました。	・特別な支援を要する幼児が増え、個々の発達課題も多様化していることから、個々の幼児の課題を把握していく難しさがあります。	3	・発達課題が多様化していることから、子どもたちにできるだけ丁寧に関わり、個の育ちを促していくために、今後も継続して取り組んでいきます。
・多様化する特別な支援を要する幼児一人ひとりに応じた援助を行うことで、安定した園生活を送ることができ、個々の成長を促すことができました。	・学級内に複数の支援が必要な幼児がおり、複数の職員配置が求められています。	3	・特別な支援が必要な幼児が増える傾向にあります。今後も職員間で連携を図り、個々に応じた指導に努めます。

基本目標2

「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

基本目標の概要

確かな学力、豊かな人間性や健やかな体（生きる力）、他者を尊重し助け合おうとする共助の意欲（絆）、知性や感性（情操）の「総合的な人間力」をはぐくむ学校教育の充実を図ります。

施策

- 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実
- 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
- 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
- 4 学校における人権教育の充実
- 5 自立する力をはぐくむ教育の充実
- 6 安全教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 33 ○数値目標 18 ○取組み 92

担当課

○学務課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全18件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	0	0.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	4	22.2%
	C	達成率 80%以上 90%未満	1	5.6%
	D	達成率 80%未満	5	27.8%
	—	※成果指標としている調査が出来なかった	8	44.4%

継続的 取組み (全89件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	89	100.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全3件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	2	66.7%
	C	計画より遅れている	1	33.3%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

朝食については、健康面、学力面など様々なことに関係しています。100パーセント朝食を食べるように、保護者へ引き続き働きかけをお願いいたします。

子どもたちには、将来、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。キャリア教育については、小学校段階から自己の能力を生かし、社会に貢献していくための資質能力を育むための学びが重要であります。引き続き、学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、子どもたちの発達の段階にふさわしいキャリア教育を充実していただきたいと思います。

情報モラル教育の実施についてですが、情報モラル教育実施機関の紹介、積極的な活用の促進、教職員向けの研修会などに取り組まれ、情報モラルやマナーについての意識の向上に成果が挙がっていると思います。子どもたちに情報手段についての正しい知識を与え、トラブルに遭遇しないような判断力とトラブルの事例を知り、遭遇した場合の行動を身につけることは、情報化社会となった現在大変重要なことです。継続的な指導の充実を図っていただきたいと思います。

不登校の児童生徒数、全児童生徒数に対する割合が増えています。教育相談員やスクールソーシャルワーカーなどとの連携はもとより、第一にクラス担任の主体性が必要であると思います。強い気持ちで不登校の子ども、そしてその保護者と向き合わなければ、周りがフォローしても不登校は無くなりません。コロナ禍における家庭訪問も困難な状況であると思いますが、不登校の少ない学校はどう取り組んでいるのかを学び、不登校を減らす取組を実施していただきたいと思います。

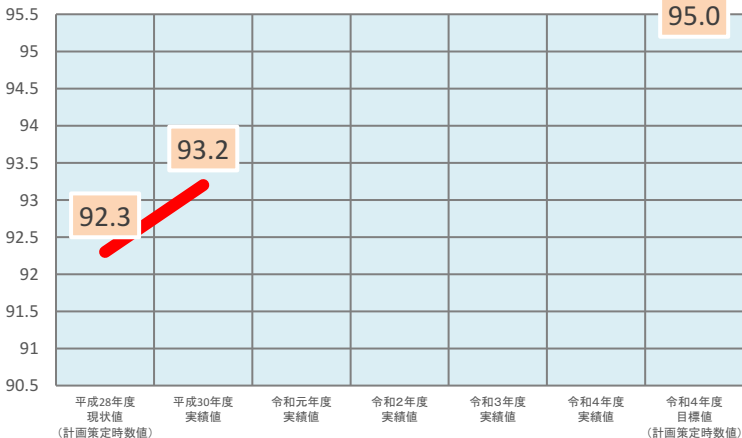
連番32「個に応じた指導の推進」に、「個に応じた指導を行う教職員の指導力向上が課題である」とあります。基礎的・基本的な内容を教えることを活用して、発展的な学習という個に応じた指導を行うことは難しいことであると思います。今後は、学校が年間指導計画、すなわち主体的・対話的で深い学びの教育課程を作る際に、基礎的・基本的な内容が組み込まれ、発展的な学習の場が位置付けられているかを見ていただきたいと思います。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実		
具体的施策	3 規律ある態度の育成		

数値目標名	「靴そろえ」の達成率 【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	—
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	87.0	達成度	——
平成30年度 実績値	86.8	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※—	96 94 92 90 88 86 84 82 95.0 87.0 86.8 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

具体的施策	3 規律ある態度の育成		
数値目標名	「靴そろえ」の達成率 【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	—
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.3	達成度	—
平成30年度 実績値	93.2	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※—	 92.3 93.2 95.0 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実		
具体的施策	3 規律ある態度の育成		
数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	—
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	76.8	達成度	——
平成30年度 実績値	77.3	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※—		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

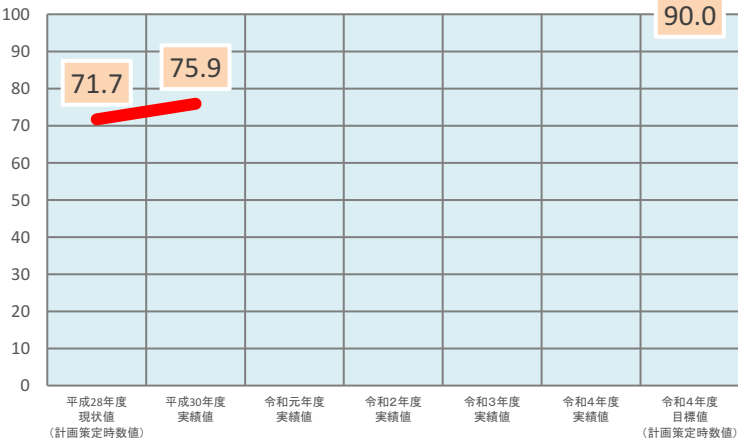
具体的施策	3 規律ある態度の育成		
数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	—
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	73.8	達成度	——
平成30年度 実績値	72.2	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※—		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 施策 具体的施策	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実 4 読書環境の充実と読書活動の推進																																																																																																	
数値目標名	1日1回は読書をして いる児童生徒の割合 【小学校】	担当課	指導課																																																																																															
単位	%	達成率	—																																																																																															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1	達成度	—																																																																																															
平成30年度 実績値	86.5	推移グラフ																																																																																																
令和元年度 実績値	※—	<table><tr><td>96</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>95.0</td></tr><tr><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>92</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>90</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>88</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>86</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>84</td><td>83.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>82</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>80</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>78</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>76</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr></table>	96							95.0	94								92								90								88								86								84	83.1							82								80								78								76									平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
96								95.0																																																																																										
94																																																																																																		
92																																																																																																		
90																																																																																																		
88																																																																																																		
86																																																																																																		
84	83.1																																																																																																	
82																																																																																																		
80																																																																																																		
78																																																																																																		
76																																																																																																		
	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)																																																																																											
令和2年度 実績値																																																																																																		
令和3年度 実績値																																																																																																		
令和4年度 実績値																																																																																																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0																																																																																																	

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

具体的施策		4 読書環境の充実と読書活動の推進	
数値目標名	1日1回は読書をしている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	—
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7	達成度	—
平成30年度 実績値	75.9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※一		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実									
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実									
具体的施策	5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進									
数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課							
単位	%	達成率	—							
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	91.2	達成度	——							
平成30年度 実績値	87.8	推移グラフ								
令和元年度 実績値	※—	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>91.2</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>87.8</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>92.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	91.2	平成30年度 実績値	87.8	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0
年度	数値									
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	91.2									
平成30年度 実績値	87.8									
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0									
令和2年度 実績値										
令和3年度 実績値										
令和4年度 実績値										
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0									

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

具体的施策	5「久喜の子ども、5つの誓い」の推進									
数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課							
単位	%	達成率	—							
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.0	達成度	—							
平成30年度 実績値	80.8	推移グラフ								
令和元年度 実績値	※—	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>92.0</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>80.8</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>92.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.0	平成30年度 実績値	80.8	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0
年度	数値									
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.0									
平成30年度 実績値	80.8									
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0									
令和2年度 実績値										
令和3年度 実績値										
令和4年度 実績値										
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0									

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標としている調査が、令和2年4月に実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実		
具体的施策	1 学校体育の充実		
数値目標名	新体カテストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	97.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	85.6	達成度	B
平成30年度 実績値	87.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	88.0		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

具体的施策	1 学校体育の充実		
数値目標名	新体カテストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	94.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	86.2	達成度	B
平成30年度 実績値	88.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	85.3		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 施策 具体的施策	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実 3 食育の推進		
数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	95.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	96.5	達成度	B
平成30年度 実績値	97.3	推移グラフ	令和元年度 実績値 95.6 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 100.0
令和元年度 実績値	95.6		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

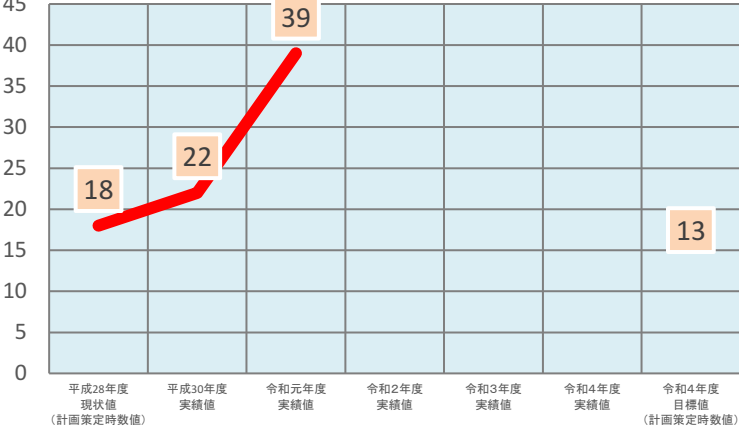
具体的施策	3 食育の推進		
数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	95.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	95.4	達成度	B
平成30年度 実績値	95.9	推移グラフ	令和元年度 実績値 95.9 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 100.0
令和元年度 実績値	95.9		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

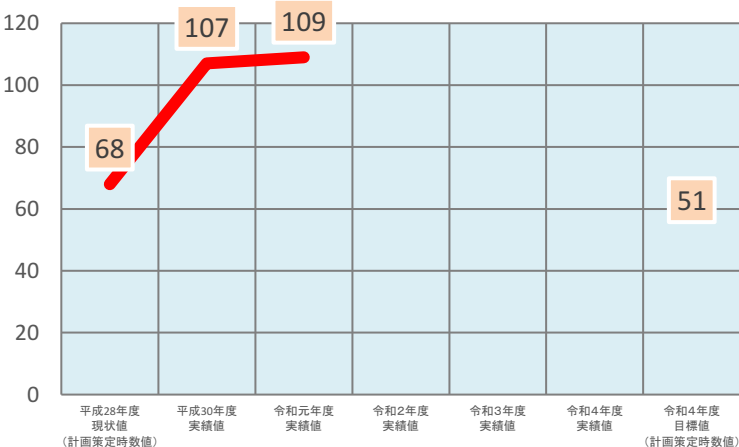
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 施策 具体的施策	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実 4 いじめの防止対策の推進		
数値目標名	いじめの解消率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	88.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.9	達成度	C
平成30年度 実績値	81.6	推移グラフ	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	88.9		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

具体的施策	4 いじめの防止対策の推進		
数値目標名	いじめの解消率【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	73.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.6	達成度	D
平成30年度 実績値	69.8	推移グラフ	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	73.6		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実		
具体的施策	5 不登校の防止対策の推進		
数値目標名	不登校児童生徒数【小学校】	担当課	指導課
単位	人	達成率	33.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	18	達成度	D
平成30年度 実績値	22	推移グラフ	
令和元年度 実績値	39		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	13		

具体的施策		5 不登校の防止対策の推進				
数値目標名	不登校児童生徒数【中学校】		担当課	指導課		
単位	人		達成率	46.8%		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	68		達成度	D		
平成30年度 実績値	107		推移グラフ			
令和元年度 実績値	109					
令和2年度 実績値						
令和3年度 実績値						
令和4年度 実績値						
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51					

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実		
具体的施策	5 不登校の防止対策の推進		
数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	37.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0.25	達成度	D
平成30年度 実績値	0.30	推移グラフ	
令和元年度 実績値	0.54		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	0.20		

具体的施策	5 不登校の防止対策の推進		
数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	45.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82	達成度	D
平成30年度 実績値	2.99	推移グラフ	
令和元年度 実績値	3.09		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学力向上を目指した教育の展開	27	久喜市教育研究委員会による実践研究の推進 (継続的取組み)		指導課	・「学力向上推進」「久喜の英語」「個を大切に する教育」「社会科副読本」「道徳教育」「STEAM教育」の6つの研究委員会を 設け、実践的研究を行いました。 (延べ75人の教員が参加)
	28	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用 (継続的取組み)		指導課	・結果を分析して明らかになった成果と課題を学校に示し、ホームページで公開しました。 ・久喜市ステップアップテストの問題に内容を取り上げ、課題の解決を図りました。
	29	久喜市ステップアップテストの実施 (継続的取組み)		指導課	・5月から2月まで毎月1回実施し、学力の伸びを捉えられるようにするとともに、児童生徒一人ひとりの課題に合わせた補習問題を自動で編集してくれるWebサイトを開設し、学力の向上を図りました。
	30	学習支援カルテの活用 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストのデータをもとに、個別の学力状況や学力の伸び、自分に合った補習問題が提供されるWebサイトのQRコードが掲載された個票を作成し、各個人に配布しました。
	31	2年間の研究委嘱と計画的・継続的な学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・新たに小学校4校、中学校3校に研究を委嘱し、各学校の研究に対し随時訪問し、指導助言を行いました。 ・10月～2月にかけて小学校7校、中学校1校が研究成果を発表しました。
	32	個に応じた指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・少人数指導や習熟度別指導等の学習形態の工夫について指導しました。 ・指導方法の工夫改善について、各学校の達成状況と課題をまとめたものをもとに、指導助言を行いました。
	33	個に応じた学習問題の提供 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストのデータをもとに、自分に合った補習問題が提供されるWebサイトのQRコードが掲載された個票を作成し、各個人に配布しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・「学力向上に向けた授業改善策」「久喜市版プログラミング教育指導計画」を学校間共有ネットワーク上で共有できるようになりました。 ・「くき検定」を実施し、郷土を愛する心を養うことができました。	・全体的には成果をあげているものの、研究委員会ごとに見ると、研究成果に差があります。研究成果の低い研究委員会について見直す必要があります。	3	・従来の研究を踏まえつつ、研究組織の見直し・精選を行い、働き方改革と両立する体制を整えます。
・結果の分析を行ったことで、久喜市の傾向を掴むことができました。 ・各学校の課題を明らかにしたうえで指導主事が学校を訪問し、実態に即した指導を行うことができました。	・学校間の格差があり、より実態に即した指導を実践していく必要があります。	3	・結果の分析を行い、各学校の課題を解決するための学習指導について学校を訪問し、指導を行います。
・本年度の埼玉県学力・学習状況調査における「学力の伸び率」は、小学校は県が「8」に対して久喜市は「9」と上回り、中学校は県と同等の「10」となりました。 ※上記は、昨年度のもので、コロナの影響により、本年度の成果を示すことができるのは10月下旬以降となります。	・各学校のデータを分析し、学力向上に向けた教材や支援を充実させていく必要があります。	3	・全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査の問題を分析し、テストの内容や補修問題の内容へ反映させ充実を図ります。 ・久喜市ステップアップテストの個票にある補習問題のサイトの活用について、市の学力向上推進委員会の中で協議していきます。
・各学校において個票を活用し、児童生徒の実態に合わせた授業形態の工夫や個別指導の充実が図られました。	・個票を、各学校へ迅速に返却するための体制づくりが課題です。	3	・久喜市ステップアップテストのデータの処理を複数の職員で連携して行い作業の効率化を図ります。 ・各校へ久喜市ステップアップテストの運用スケジュールについて周知徹底を行い、計画的な実施を推進します。
・各校の取り組みについて情報交換・共通理解を図ることで今後の学校教育のあり方について研究を推進することができました。	・研究内容を効率的かつ効果的に共有する体制づくりが課題です。	3	・研究発表会の内容について、一部データ配信を実施した結果を踏まえ、より効率的・効果的な共有の方策を研究します。
・学力を伸ばした児童生徒の割合が埼玉県平均を上回りました。(埼玉県平均69.4%、久喜市平均69.7%) ※平成31年度埼玉県学力学習状況調査における小学校第4学年から中学校第3学年までの実施全教科平均 ※上記は、昨年度のもので、コロナの影響により、本年度の成果を示すことができるのは10月下旬以降となります。	・個に応じた指導を行う教職員の指導力向上が課題です。 ・個別最適化された補習学習と教職員の働き方改革の両立が課題です。	3	・誰にとってもわかりやすい授業の工夫、ICTを活用した個別最適化された教育を推進していきます。 ・各学校の効果的事例を取りまとめ情報提供し、実践されているか見届けをしていきます。
・各学校において、授業や家庭学習等で活用されました。また、保護者への啓発により、家庭での活用も進んできました。	・より個に応じた学習問題を提供できるようにするため、補習問題の数や種類の更なる充実を図っていく必要があります。	3	・全国学力・学習状況調査の過去の問題や県のHP等を活用し、補習問題の内容を充実させていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	34	放課後等学習支援教室「くき本樹塾」の実施 (継続的取組み)		指導課	・市内全中学校に久喜市中学生学力アップ教育推進事業「くき本樹塾」を設置し、194人の生徒に対し、放課後や長期休業を利用した学習支援を行いました。
2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「学びの改革」の推進	35	校内研修を支援する学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・県東部教育事務所の指導主事を、市内の小中学校の校内研修に指導者として招聘し、教職員の指導力向上を図りました。 (指導者招聘回数13回)
	36	ICT機器の効果的な活用についての事例集の作成及び研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・授業等でタブレット端末を活用するための研修会を実施しました。 (実施校9校、参加者数143人)
3 小・中学校9年間を一貫した教育の推進	37	小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進 (継続的取組み)		指導課	・各中学校区と各小中学校の教務主任を中心に、新学習指導要領完全実施に向け、9年間を見通した教育課程の編成を行い、教育指導計画にまとめました。
	38	教員の「兼務発令」の実施 (継続的取組み)		指導課	・中学校教員24人を、中学校区の小学校に兼務発令しました。
4 国際社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成のための教育の推進	39	児童生徒のコミュニケーション能力を高める外国語活動及び英語教育の充実 (継続的取組み)		指導課	・英語指導法の工夫改善に向けた研修を実施し、教員の指導力向上を図りました。 (年間2回、小・中学校英語担当教員34人参加) ・外国語指導助手21人を小中学校に配置し、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図りました。
	40	小学校英語教育における新学習指導要領の先行実施 (継続的取組み)		指導課	・新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校外国語・外国語活動巡回指導を行い、英語教育の目的や具体的な指導内容・方法について共通理解を図りました。 (各小学校1回実施)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市独自の学力検査において、くき本樹塾受講者の平均得点は、未受講者の平均得点よりほぼ全ての教科において上回ることができました。	・時期によって、受講者の欠席が多くなってしまうことが課題です。 ・学習支援員に欠席が出た際、必要な人員を配置できないことが課題です。 ・補助金の減額により、予定していた年間の回数が実施できませんでした。	3	・生徒の学習習慣が定着するように、各学校と調整を図り定期的な「くき本樹塾」の開催を実施します。 ・学習支援員の募集開始の時期を早め、期間を長く設定することで、人数を十分に確保できるようにします。
・各学校において、研究授業及び研究協議が行われ、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善について教職員の理解が深まりました。	・各学校で実施した研修内容を全校で共有し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を市内全体で推進していくことが課題です。	3	・研修の内容を市の学力向上推進研究委員会で活用したり学校WANで閲覧できるようにしたりする等、共有化を図ります。
・実践事例を積み重ね、より多くの事例を市内各学校で共有し、教職員のICT活用能力の向上に寄与することができました。	・各学校の実態と要望に応じた研修会を企画することが必要です。	3	・今後は、各校の利用状況を調査し、実態や要望を踏まえた研修会を実施することで、GIGAスクール構想実現に向けた教職員のICT活用能力のさらなる向上を図ります。
・各中学校区の研修会や協議により、中学校区を中心とした小学校・中学校の連携が深まり、9年間の一貫した教育課程編成の推進につながりました。	・小学校学習指導要領実施に伴う9年間を見通した教育課程の検証と、中学校学習指導要領改訂を踏まえた教育課程の編成が必要です。	3	・中学校区の学校同士の連携をさらに深め、小・中学校の学習指導要領完全実施を踏まえた教育課程の検証、改善を図ります。
・兼務発令された中学校教員が小学校で授業を行うことで、小中一貫教育の推進と、児童の中学校生活への不安を取り除くことができました。	・小学校教員が中学校教員の指導を参観することで、教科特有の専門的な指導技術を向上させていく必要があります。	3	・兼務教員を増加させ、小学校と中学校の一貫した指導体制の構築を進めます。
・指導法の工夫改善については、各学校で研究実践が進み、特に新学習指導要領全面実施に向け、小学校での英語授業に質の向上が見られました。 ・中学校においても小学校とのつながりを意識した指導の充実が見られました。	・小学校で学習したことを中学校でさらに発展充実させていくこと、学習到達目標を明確にし評価方法を共有することが今後の課題です。	3	・小学校と中学校の交流や連携を深める研修を実施し、9年間を見通した英語教育の充実を図ります。
・新学習指導要領で新たに加えられた「読むこと」「書くこと」についての活動及び必然性のある「目的」「場面」「状況」を意識した言語活動の充実を図ることができました。	・児童の学習活動に対する振り返り活動の充実、学習到達度の基準の設定、教師の評価規準及び評価方法の明確化が今後の課題です。	3	・小学校の英語の完全実施に向けて、教員の指導力向上を図る研修を充実させ、英語教育の推進を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	41	英語検定受験料補助の実施 (継続的取組み)	○	指導課	・中学3年生の英語検定受験料の補助を実施し、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図りました。
	42	姉妹都市提携をしているローズバーク市との久喜市中学生国際親善交流事業 (継続的取組み)		指導課	・令和元年度は、市内中学校の生徒18人、引率者4人をアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーク市に派遣し、異文化を体験するとともにお互いの理解と友情を深めました。 (7月23日～8月2日の11日間)
	43	久喜市小学生イングリッシュキャンプの実施 (継続的取組み)		指導課	・小学6年生を対象に1泊2日の英語合宿を加須げんきプラザで実施しました。 (参加児童数64人) ・10人のALTに協力を仰ぎ、ゲームや歌、ダンスなど、楽しく英語を学びました。
5 環境・キャリア教育等、多彩な指導の推進	44	学校の教育活動全体を通じた環境教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・環境教育全体計画に基づき、学校周辺の環境美化や飼育栽培活動に主体的に取り組んだり、リサイクル活動など身近な環境問題についての学習に取り組んだりしました。
	45	発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.84) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通し、望ましい職業観の育成に努めました。
	46	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.85) (継続的取組み)		指導課	・社会の一員として勤労する体験を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付けることを目指し、社会体験チャレンジ事業を市内全11中学校で実施しました。
6 情報通信ネットワークを活用した学習、プログラミング教育、情報モラル教育の推進	47	ICT機器の活用 (継続的取組み)		指導課	・ICTを活用した授業を参観し、指導課訪問等で各学校での活用事例を紹介するなど、活用推進を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内在住の中学3年生317人が英語検定を受験し、受験料補助を申請しました。 ・英語学習の成果の指標となり、生徒の意欲喚起につながりました。	・本事業についてのさらなる周知の徹底が必要です。 ・2年次までに英語検定3級以上を受験していた生徒も多数在籍したため、補助を受ける機会を逸したという声も多く聞かれました。	3	・本事業の周知徹底及び市内中学校への試験会場等の協力について呼びかけを行います。 ・補助の対象学年及び回数について検討します。
・ホストファミリーと生活する中で、お互いの文化や生活習慣の違いを超えて、友情と絆を深めることができました。 ・現地の子どもたちと友達になって貴重な体験ができました。 ・英語学習への意識が高まったという声をたくさん聞きました。	・募集人数に満たなかったことから、本事業のさらなるPRが課題です。 ・事前にホストファミリーとの連絡を十分に取り合い、余裕をもって準備を進めていく必要があります。	3	・今後も「国際化の進展する社会における望ましい交流のあり方を身につける」という目的達成に向けて、事業のさらなる充実を図ります。 ・ローズバークからの受け入れについては、夏休みも視野に入れて実施期間とスケジュールを検討します。
・2日間、ALTと常に行動し、仲間と一緒に英語を使って行動することで、英語に対する興味関心の喚起、チャレンジ精神の育成を図ることができました。	・児童の実態に応じて活動内容を吟味、精選していく必要があります。 ・真夏に実施するため、熱中症対策など、児童の健康面、安全面での指導徹底が課題です。	3	・児童の感想や保護者のアンケートをもとにさらなる活動内容の充実を目指していきます。
・各教科や総合的な学習の時間等で、身近な環境問題について調べ、解決策を考えた結果、環境美化やごみの分別への意識が高まりました。	・新学習指導要領の内容を踏まえ、カリキュラムマネジメントの視点でより教育効果の高いものにしていくことが大切です。	3	・今後も身近な環境問題に目を向けられるよう教育活動全体を通じて指導するよう支援します。
・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・さらに教育効果を高めていくために、教科横断的な視点や、地域の方などの協力を得て、より専門的な学習内容にしていく必要があります。	3	・今後は、自己の能力を生かし社会に貢献していくための資質能力を育むための学びの充実を図る必要があります。
・事業所への打ち合わせ、体験活動の実施、事業所へのお礼など一連の学習活動を通して、主体的な態度や社会観が育成されました。 ・職場での体験活動を通して、勤労意欲や職業観の育成が図れました。	・今年度より全校で3日間の実施になるなど、定着化が図れていますが、協力していただく事業所の確保等の課題があります。	3	・事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を少しずつ転換していく必要があります。
・教材等、可視化する重要性についての理解を深めることができました。 ・簡単に扱える事例を紹介し、実践させることができました。	・各学校の設備の充実を図る必要があります。(プロジェクター・実物投影機・大型モニター・アクセスポイント等)	3	・ICTを活用した指導方法の研修と併せて、学校訪問をした際に、実際にタブレット等を扱い、活用に向け支援していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	48	情報モラル教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・情報モラル教育教材を貸し出したり、子どもたちや保護者を対象にした情報モラル教育実施機関を紹介し、積極的な活用を促進し、推進を図りました。 ・教職員夏季研修会を開催し、情報モラル教育の意識を高めました。 (参加者数:市内各小・中学校から1人参加、計34人)
	49	タブレット端末を活用した学習の推進と学習用パソコン(タブレット端末)の充実 ※再掲(連番No.153) (継続的取組み)		指導課 学務課	・授業等でタブレット端末を活用するための研修会を実施しました。 (実施校 9校、参加者数143人) ・久喜市タブレット端末活用事例集を作成し、活用の共有化を図りました。 ・児童生徒が、タブレット端末を利用した協議や調査活動を行うなど、主体的・対話的で深い学びを促進しました。
	50	プログラミング教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・研究委嘱校の太田小、太東中を中心に、STEAM教育研究会とも連携して、授業・研究を実践しました。
	51	情報通信ネットワークを活用した学習 (継続的取組み)		指導課	・学校WANを活用して、指導案や実践事例・資料等の共有化を行いました。 ・テレビ会議システムを利用し、遠隔学習を2回試験的に実施しました。
	52	発展的プログラミング教育の推進 (目標年度:令和元年度)	○	指導課	・太田小・太東中学校の研究委嘱を踏まえ、教育課程内の取組だけでなく、教育課程外の取組も含めた小・中学校の系統的なプログラミング教育を実施しました。
7 理数系人材の育成	53	小学校理科支援員の配置 (継続的取組み)		指導課	・各校年間30回、8人の理科支援員を第3学年から第6学年までの理科授業に活用し、観察・実験活動等における教員の支援を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・夏季教職員研修会の1つとして、情報モラル講習会を実施しました。 ・各機関と連携し児童生徒向けの情報モラル教室を実施し、モラルやマナーについての意識の向上を図ることができました。	・研修会に参加していない教職員も含め、広く啓発を行う必要があります。 ・小学校第1学年から中学校第3学年まで、系統的な指導計画を作成する必要があります。	3	・啓発資料を配布するなどして、研修会参加者だけでなく、全教職員への啓発を行います。 ・系統性を持った計画や企業等との協力体制を構築します。
・PC室にも、タブレット端末型が導入され、活用の幅を広げることができました。 ・デジタル教科書の活用事例が増えました。	・教員ごとにタブレット端末を活用する頻度に差があります。 ・通信環境の充実を図る必要があります。	3	・全ての教員に活用してもらうよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりや映像化を進めます。
・研究委員会や研究委嘱校により、充実した授業実践と教材、資料の共有化を図ることができました。	・共有された事例や教材をもとに、更なる指導事例の蓄積や資質能力を育むカリキュラムの検証が必要です。	3	・各校で教材・教具をより活用しやすくなる環境整備と実践事例の更なる蓄積、共有化を進めていきます。 ・市内小学校プログラミング教育の年間カリキュラムの検証を行います。
・資料等の共有化が図られ、教材研究のための時間の確保や教育活動の質が向上しました。教材に関する情報交換もスムーズに行えるようになりました。 ・遠隔学習を実施する際の配慮事項等が明らかとなりました。	・活用に際して、操作やシステムについて周知が徹底できていない可能性があります。 ・遠隔学習を継続的に実施できる環境整備が課題です。	3	・IT機器の対応ができる教員又は職員の増員、又は育成を進めます。 ・更なる活用に向け、周知を徹底して行きます。 ・遠隔学習を効率的に実施できる統合型アプリケーションを導入します。
・11月12日に研究発表会を小・中学校合同で行い、県内外から 約300人の参加者がありました。公開授業、事例集、企業のブース、参考資料の配布等を通じて、研究の成果を広めることができました。	・小・中学校の系統性をより明確にした指導計画の検証が必要です。 ・STEAM教育を見据えたプログラミング教育の在り方について実践と検証を行っていく必要があります。	B	・研究の成果を市内全校で共有していきます。
・理科の授業で担任や担当教員と連携を深めることで、理科の授業を通して思考力や表現力の育成が図られました。 ・理科担当の教員と連携し、理科室経営を充実させ、理科室での授業が行いやすくなりました。	・各校担当教員と支援員との連携がより円滑になるよう、体制を構築していく必要があります。	3	・今後も、さらに児童の思考力・判断力・表現力を身に付けるよう支援していく必要があります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	54	小学校理科教育研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・市内小学校の教員対象に、理科授業に生かせる教材教具の作成について、日本理科教育支援センター代表小森栄治氏を招き講義をしていただきました。 (研修会参加者数22人)

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 道徳教育の充実	55	読み物資料を活用した道徳の時間の充実 (継続的取組み)		指導課	・「彩の国の道徳」「私たちの道徳」「久喜市郷土資料 本多静六」の資料を年間指導計画に位置付け、計画的に指導を行いました。
	56	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.90) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を2回開催し、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、その要である道徳科の授業が意図的・計画的・効果的に実施されるよう、全体計画を作成し、小・中学校に周知しました。
	57	道徳教育の抜本的改善・充実 (目標年度:令和元年度)	○	指導課	・平成30年度・令和元年度、埼玉県教育委員会(文部科学省委託「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」)の委嘱を受け、久喜東中学校において、「考え・議論する道徳」を実現化するための教員の指導力向上、地域の特色を生かした取り組みの研究の推進を図りました。
2 体験活動の充実	58	発達段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.82) (継続的取組み)		指導課	・自然体験活動や集団宿泊的活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。
	59	家庭、地域と連携を図った自然体験、文化活動等の体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・学校応援団ボランティアの協力により、学校ファームの充実や田植え体験等を行いました。 ・中学校では、社会体験チャレンジ事業でたくさんの事業所の協力のもと勤労体験を実施しました。
	60	地域の行事等を生かした体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・祭りやボランティア活動など地域の行事に参加し、地域の方々と、地域の取組みを体験する活動を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・研修会をと通じて身近な道具を使った実験等を行うことにより、理科の授業の楽しさや魅力について伝えることができました。	・若手の教員が多くなってきています。また、理科を専門としていない教員も多く、指導力を向上させる必要があります。	3	・今後も、継続的に年1回の本研修会を実施し、教員の指導力の向上を図ります。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各校で「彩の国の道徳」「私たちの道徳」「久喜市郷土資料 本多静六」を意識して活用し、授業を行うことで、児童生徒の道徳性を養うことができました。	・道徳が教科化され、同じ内容項目の教材を使用することもあり、年間指導計画に位置付けていても、国や県の資料を活用できなかった学校もありました。	3	・道徳が教科となった後も、適正に年間指導計画に位置付けられるようにします。 ・必ず1資料は使用して授業を行うように指導します。
・市の基盤となる、全体計画を小・中学校に示すことで、道徳科の授業が意図的・計画的・効果的に実施されるようになりました。	・研究委員会で作成してきた資料を、現場の教員が活用しやすいようにしていく必要があります。	3	・研究委員会で作成してきた資料をつなぎ、構造化し、活用を推進していくリーフレットの作成を次年度の研究委員会で行っていきます。
・教師の指導力と道徳教育に対する意識が向上し、その結果として学力の伸びや、非認知能力の向上も見られました。 ・道徳以外の授業においても、生徒主体の活動が多くみられるようになりました。	・市内に、久喜東中学校での取り組みを広げていく必要があります。	B	・久喜市道徳教育研究委員会等を中心に、各校のよい取り組みが市内に広がるよう研究を進めていきます。
・様々な体験活動を通して、児童生徒は集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していく必要があります。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
・社会体験チャレンジ事業報告会、学校応援団の研修会を実施し、活動を支援することができました。 ・実際の生活や社会、自然のあり方を学ぶことで、主体的に取り組む力を身に付けることができました。	・学校に関わってくださる様々な方々の確保や、物的な教育資源の整理を行い、より効率的な教育活動の展開を目指す必要があります。	3	・今後も、学校・家庭・地域で連携して、体験活動の充実を図ります。 ・学校に関わってくださる方々の確保や、地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
・地域の方々と共同して活動することにより、社会性や他者を尊重する態度等の育成につながりました。	・地域の行事等に積極的に参加する児童生徒もいますが、多くの児童生徒に地域社会を通しての体験活動を経験させる必要があります。	3	・学校運営協議会等を活用し、児童生徒が参加できる場を設定したり、積極的に参加できる環境を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実				
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	61	小学校における学校動物飼育の推進 (継続的取組み)		指導課	・小学校における動物飼育の診断等に関する契約を獣医師会と締結し、学校ごとに診察、検査を日常的に行うとともに、獣医師による巡回飼育指導を2回、動物飼育担当対象の研修会を2回行いました。 (第1回:参加教員18人) (第2回:参加教員各校管理職1人、担当者1人)
3 規律ある態度の育成	62	基本的な生活習慣や学習習慣の定着 (継続的取組み)		指導課	・学校便り、学年便り、学級便り等で情報を提供しました。 ・長期休業日の過ごし方について周知しました。 ・学級懇談会等で議題にとりあげました。
4 読書環境の充実と読書活動の推進	63	学習・情報センターとしての機能を有した学校図書館の運営 (継続的取組み)		指導課	・読書活動の実践事例を募集し、特色的な学校図書館の運営について広報しました。
	64	朝読書、読書週間等の充実 (継続的取組み)		指導課	・読書タイムを設定したり、読み聞かせボランティアを活用したりしました。また、市立図書館職員によるブックトークも実施しました。 (久喜地区73回、菖蒲地区28回実施、栗橋地区22回、鷺宮地区64回)
	65	学校応援団による読み聞かせの実施 (継続的取組み)		指導課	・読書ボランティアによる読み聞かせを実施しました。 (小学校:月2回、中学校:学期1回)
5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進	66	「久喜の子ども、5つの誓い」の学校・家庭・地域での推進 (継続的取組み)		指導課	・学校だより、ホームページ等を通じて積極的に情報発信しました。 ・久喜市教育委員会の取組をまとめた「ALLKUKI教育改革プロジェクト」に記載し、周知しました。 ・オープン参観や学校行事の際には、家庭や地域に案内しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・獣医師と連携し、適切な動物飼育管理が構築できました。 ・児童に生命尊重の精神と豊かな心をはぐくむことができました。	・動物飼育担当者が毎年変わり、若く経験が少ない教職員が担当となることが多い状況が課題となっています。	3	・今後は、初めて動物飼育を担当する教職員に対して、年度当初に研修会を計画したり、動物飼育に関する資料が確実に引き継がれるよう、学校を指導します。
・学校においては、時間を守ること、身の回りの整理整頓、挨拶等、小・中学校が連携し充実した取り組みができました。	・教師からの働きかけによる定着ではなく、児童生徒中心の自治活動を進めていく必要があります。	3	・今後は、児童会や生徒会中心の自治活動や、小中一貫に関わる取組を進めていきます。
・各教科等で、資料を活用した学習が促進され、学習意欲の高まりが見られました。 ・市内の学校に特色のある取組について知らせることができました。	・市内に特色のある取組を広げ、利用率、貸し出し数の拡大や、センター的機能を高めていく必要があります。	3	・今後は、児童生徒の読書活動や学習活動の充実のため、実践事例を共有WANIにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
・一週間の朝の活動の中で読書の時間を設け、学校全体で取り組むことにより、読書意欲が高まりました。 ・市内全地区でブックトークが実施され、本に親しむ機会が増えました。	・読書週間等への取組における家庭地域との連携をさらに深めていく必要があります。 ・市立図書館職員によるブックトークを読書活動の充実に生かしていけるよう、教育課程に組み込んでいく必要があります。	3	・今後は、読書週間等に家庭・地域と連携して取り組めるよう推進に努めます。
・読み聞かせボランティアによる読み聞かせにより、本に親しむ機会が増えました。 ・読み聞かせボランティアの読み聞かせは、児童の落ち着いた心につながりました。	・朝の読書時間以外の時間に実施する読み聞かせについては、まだ活用が十分にされていないことが課題です。	3	・授業場面での読み聞かせボランティアを活用した取組等、さらに朝の読書時間以外での活用を広げられるよう努めます。
・積極的な情報発信を通して、学校・家庭・地域の連携を深めることができました。	・「久喜の子ども、5つの誓い」を学校・家庭・地域で推進するために、情報発信の手段をより多様にするのが課題です。	3	・ALLKUKI教育改革プロジェクトを各学校のホームページ上に掲載する等、情報発信の手段を検討します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校体育の充実	67	児童生徒の体力に係る課題解決に向けた指導の工夫と改善 (継続的取組み)		指導課	・体力の向上を学校の教育活動の中の大きな柱と位置付け、学校教育目標の具現化とともに、業前や業間の時間を有効活用して教育活動全体で体力の向上に取り組みました。
	68	児童生徒の体力の向上を目指した体育授業づくりの支援 (継続的取組み)		指導課	・江面第二小学校、青葉小学校、上内小学校、栗橋東中学校において授業研究会を実施し、体力向上へ向けた授業改善を積極的に行いました。
2 生涯にわたる心身の健康保持増進や豊かなスポーツライフを実現する力の育成	69	児童生徒が主体的に健康生活を行い、生涯にわたり運動を行う力の育成 (継続的取組み)		指導課	・体力向上推進委員会において、指導者を招聘し、体育授業の実技講習会及び健康の保持増進に関する講義を実施しました。 (体育主任、栄養教諭、保健主事、養護教諭等の計42人参加)
	70	運動部活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・中学校8校、24の部活動に、延べ32人の外部指導者を派遣し、運動部活動における専門的な技術指導等の充実を図りました。
3 食育の推進	71	「食」に関する指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・小中学校における家庭科・技術家庭科・学級活動・総合的な学習の時間を中心に、児童生徒に対して食に対する啓発を行いました。
4 学校保健の充実	72	学校保健計画の作成及び実践 (継続的取組み)		指導課	・養護教諭や保健主事を中心に、久喜市健康増進計画を参考にしながら、学習指導要領に基づき学校保健計画の作成及び実践を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・昨年度の達成率(評価A・B・C児童割合の合計)を超えた学校は、小学校は12校と昨年度より1校増加しました。 ・市の割合目標(90・0%)を超えた学校は、小学校で9校、中学校で3校でした。	・中学校において、昨年度達成率(評価A・B・C生徒割合の合計)を超えた学校は3校で昨年同様ですが、全体の達成率が低下しています。体力向上策に向けた方策の提案や支援をしていく必要があります。	3	・体力向上推進委員会において、授業で行える「補強運動」を立案し、各学校で継続して実施することで課題解決を図っていきます。
・研究授業実践校の積極的な情報発信と、各校体育主任による協議により久喜市全体で授業づくりの工夫改善が図られました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が体力向上に向けた授業改善を行えるよう、情報の発信に努める必要があります。	3	・市内で実施した研究授業の指導案やワークシートを共有WANIにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
・体験活動を通して、各校の体育担当教諭が指導技術や知識を高めることができました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が活用できるよう、情報の発信に努める必要があります。	3	・体力向上推進委員会で実施した研究授業及び講義の内容を、共有WANIにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
・専門的な技術指導の充実により、多くの部が県大会をはじめ、上位大会への進出を果たしました。 ・地域の指導者の活用により、運動部活動の充実とともに、地域社会との連携や協力体制が促進されました。	・各部活動の指導方針やマナー、安全面での指導等について、顧問教員と外部指導者の共通理解を徹底していく必要があります。	3	・久喜市の部活動ガイドラインを周知徹底させ、安全かつ充実した部活動指導を推進していきます。
・久喜市の健康増進・食育推進計画に係る「朝食摂取率」の調査では、小学校、中学校ともに95%以上と高い水準となりました。朝食を食べている小学生は95.6%、中学生は95.9%となりました。	・小学校の朝食摂取率がやや低下したので、今後更なる摂取率の向上を目指し、保護者への啓発に努めます。	3	・各学校の取り組みや朝食の重要性をまとめて、学校に配付し、各家庭への啓発を図っていきます。
・学校保健計画に基づき、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図ることができました。 ・久喜市の健康増進・食育推進計画に係る「むし歯治療率」の調査では、小学校では92.2%、中学校では88.1%でした。	・中学校のむし歯の治療率がやや低下したので、保護者への啓発や指導法の改善に努める必要があります。	3	・外部機関と連携した授業の充実と、懇談会や個別面談を活用した保護者への啓発を各学校へ指導・支援していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 4 学校における人権教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権問題を主体的に考え行動する児童生徒をはぐくむ人権教育推進体制の充実	73	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.171) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2回開催しました。 (参加者数115人)
	74	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.172) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数739人)
	75	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.173) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を開催しました。
	76	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.174) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を9月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。
	77	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.170) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。
	78	心のこもったあいさつの奨励 (継続的取組み)		指導課	・学校便りや学年便り、学級便り、保護者会や面談等で基本的な生活習慣を見直しました。 ・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認しました。
2 「人権感覚育成プログラム」の普及・活用	79	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.169) (継続的取組み)		指導課	・桜田小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「人権感覚育成プログラム」を活用した体験活動や参加体験学習を取り入れた授業について研究を深めました。
3 人権教育の指導内容・指導方法の工夫・改善	80	人権教育の指導内容、指導方法等についての工夫・改善 (継続的取組み)		指導課	・参加体験型学習(ロールプレイ・ブレインストーミング等)を取り入れた、児童生徒の主体的な学習活動を促す指導内容・指導方法の工夫・改善を推進しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・転入・新採用教職員全員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2回開催します。
・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。
・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を開催します。
・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を9月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布します。
・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・人権を守ることはわかっている結果として、友達を心ない言葉で傷つけてしまったというケースがありました。	3	・学校行事や道徳、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認し、役割を果たすことで充実した連携が図れました。	・学校内でのあいさつだけでなく、さらに家庭・地域への心のこもったあいさつを広げていく必要があります。	3	・今後、学校・家庭・地域などのさまざまな生活の場において、自主性や自立性をはぐむ指導を進めます。
・研究委嘱校だけでなく市内小・中学校の人権担当者が、「人権感覚育成プログラム」の活用についての研修に参加し、普及・活用することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・さらに人権意識を高める授業を研究する必要があります。
・「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践するなど、指導内容・指導方法の工夫ができました。	・インターネット上でのトラブルなど、新たな人権課題に対して、学校の知識が追いついていないことがあります。	3	・今日的な人権問題に対応する人権教育を推進するため、研修等実施する必要があります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 4 学校における人権教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	81	男女共同参画の視点に立った指導内容、指導方法等の研究 (継続的取組み)		指導課	・校内研修等を通して、全教職員の共通理解を図り、学校教育全体を通じて、組織的、計画的、継続的な指導を推進しました。

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成	82	発達段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.58) (継続的取組み)		指導課	・自然体験活動や集団宿泊的活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。
	83	自立を図るための主体的・能動的な力を養う体験活動の実施 (継続的取組み)		指導課	・年1回の「市内音楽会」や「小学校陸上大会」など、市内小・中学生が一堂に会し、可能性に挑戦する活動を行いました。
2 生き方教育としての進路指導・キャリア教育の充実	84	発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.45) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通し、望ましい職業観の育成に努めました。
	85	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.46) (継続的取組み)		指導課	・社会の一員として勤労する体験を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付けることを目指し、社会体験チャレンジ事業を市内全11中学校で実施しました。
3 相談・指導体制の充実	86	教育相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・小学校に8人、中学校に11人の教育相談員を配置し、悩みのある児童生徒やその保護者に対し、相談活動を行いました。 (相談件数:小学生1,548件、小学生保護者270件、中学生5,160件、中学生保護者529件) ・悩みを抱える児童生徒の担任等との連携を図りました。 ・小中一貫教育を推進していることから、小中学校相談員も連携を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・人権教育を基盤として、男女平等の重要性、男女の相互理解と協力等、男女平等の視点に立った教育を積極的に進めることができました。	・指導する教員によって認識にずれがあります。共通理解を図っていく必要があります。	3	・教員によって認識にずれがないよう、共通理解を図るよう研修を組み、今後も男女共同参画の視点に立った指導ができるように努めます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・様々な体験活動を通して、児童生徒は集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していく必要があります。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
・「市内音楽会」や「小学校陸上大会」などに向けて、自分の通う学校だけでなく、他の学校も交えた、より大きな目標に向けて挑戦していく態度を育むことができました。	・主体的・能動的な力の育成のために、学校だけでなく社会の中でも自分の役割を果たせる場の設定が必要です。	3	・今までの取組を継承しながら、さらに地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・さらに教育効果を高めていくために、教科横断的な視点や、地域の方などの協力を得て、より専門的な学習内容にしていく必要があります。	3	・今後は、自己の能力を生かし社会に貢献していくための資質能力を育むための学びの充実を図る必要があります。
・事業所への打ち合わせ、体験活動の実施、事業所へのお礼など一連の学習活動を通して、主体的な態度や社会観が育成されました。 ・職場での体験活動を通して、勤労意欲や職業観の育成が図れました。	・今年度より全校で3日間の実施になるなど、定着化が図れていますが、協力していただく事業所の確保等の課題があります。	3	・事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を少しずつ転換していく必要があります。
・相談者に対し、多角的・多面的に指導、支援をすることができました。 ・相談者の孤立感を軽減させることができました。 ・相談内容によっては、他の支援者と連携し、問題解決につなげることができました。 ・小中学校相談員が連携を図ることで、中1ギャップの軽減に繋がりました。	・相談内容が個人情報のため、丁寧に扱う必要があり、本人の確認を取りながら進めるので、思ったようにすぐに問題解決には至らないことがあります。 ・児童生徒や保護者の悩みの主訴が解決されるよう、正確な情報を支援者間で繋いでいくことが課題です。	3	・教育相談員のスキルの向上を目指し、講師を招いた研修会等を実施し、相談員の資質、能力の向上に努めます。 ・正確な個人情報が連携していくことができるよう、作成した支援シート等を活用していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	87	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.94・97) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員367件、スクールソーシャルワーカー185件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。
	88	教育相談研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・教育相談員や適応指導教室指導員・相談員等の資質、能力の向上や、相談スキル向上を目指し、教育相談研修会を実施しました。 「内容:不登校児童生徒支援について」 (年2回実施、8月7日70人参加、11月25日70人参加)
	89	生徒指導・教育相談中級研修会の開催 (継続的取組み)		指導課	・県の教育センターと共催で行っている教員対象に教育相談のカウンセリング技法を学ぶ研修会を行いました。 (7月29, 30, 31日の3日間開催) (参加者数22人)
4 いじめの防止対策の推進	90	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.56) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を2回開催し、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、その要である道徳科の授業が意図的・計画的・効果的に実施されるよう、全体計画を作成し、小・中学校に周知しました。
	91	ネットいじめやネットトラブルから子どもを守る啓発リーフレットの作成 (目標年度:令和4年度)		指導課	・啓発リーフレットの内容、デザインについて検討を行いました。
	92	放射線等に関する発達段階に応じた指導 (継続的取組み)		指導課	・中学校学習指導要領の理科第一分野において放射線等に関する学習をするだけでなく、発達段階に応じて放射線等の基本的な性質について理解を深めました。
	93	いじめの早期発見・早期対応・早期解決に向けた取組の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜市いじめの防止等のための基本方針をもとに、各学校において教育相談週間等を設け、いじめの早期発見、早期対応を行いました。 ・アンケート調査を実施し、児童生徒一人ひとりと面談し、直接話をする機会を設け、重大事態にならないようにしました。 ・いじめの認知件数と解消率は、小学校では675件で88.9%、中学校は87件で73.6%でした。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、久喜市の課題問題点を解決していきます。
・久喜市の課題である不登校児童生徒について、理解を深め、支援や指導の方策を検討することができました。 ・中学校区ごとに情報共有をする時間を設け、支援者間で共通の認識で支援する確認ができました。	・年2回の時間の無い中での研修なので、一つ一つのケースに対応しきれていないことがあります。できるだけ、様々なケースに対応できるように検討していきます。	3	・今後も継続しつつ、更に相談員の相談スキルを向上させられるよう、研修会の内容や回数等を検討していきます。
・久喜市内小・中学校の3年次以降教員の教育相談スキルを向上させることができました。	・より多くの教職員が相談技術を身に付けていくことができるように呼びかけをしていくことです。	3	・各学校の研修未参加の教員に参加してもらい、久喜市内教職員の教育相談スキルを向上させていきます。
・市の基盤となる、全体計画を小・中学校に示すことで、道徳科の授業が意図的・計画的・効果的に実施されるようになりました。	・研究委員会で作成してきた資料を、現場の教員が活用しやすいようにしていく必要があります。	3	・研究委員会で作成してきた資料をつなぎ、構造化し、活用を推進していくリーフレットの作成を次年度の研究委員会で行っていきます。
・啓発リーフレットの素案ができました。	・記載する情報の整理と、デザイン化が課題です。	C	・記載する情報の整理と、デザイン化を進めます。 ・市内の子ども達のネットトラブルにおける課題や考えを収集し、リーフレットに生かします。
・放射線等に関する副読本を活用し、基本的な性質について理解を深めることができました。	・指導する教員にも正しい知識の習得が必要です。	3	・指導に有効となる資料や情報等を積極的に教員に提供していきます。
・いじめの未然防止をすることができ、重大事態にならないように対応することができました。	・いじめの解消に向けて取組中のものについても、継続して指導、支援を行っていくことが必要です。 ・各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取り組みを実行できるよう、継続して点検していくことが必要です。	3	・いじめの未然防止や重大事態とならないように、今までの良い取組を継続して行っていくと同時に、各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取り組みを実行できるよう、継続して点検していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実				
具体的施策	連 番	取組み	新 規	担当課	取組み内容
	94	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.87・97) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員367件、スクールソーシャルワーカー185件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。
5 不登校の防止対策の推進	95	不登校の解消を図る指導・支援体制の充実 (継続的取組み)		指導課	・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、適応指導教室等と連携を図り、必要に応じて子ども未来課等、福祉関係各課とも情報を共有し連携しながら、指導や支援を進めました。 (SSW2人、SC10人、心理専門員2人) (適応指導教室4教室、室長1人、指導員9人、相談員2人)
	96	適応指導教室訪問指導員・相談員による家庭訪問指導、相談の実施 (継続的取組み)		指導課	・適応指導教室訪問指導員と訪問相談員が行っていた訪問指導と訪問相談を、適応指導教室指導員、相談員とスクールソーシャルワーカーとの連携の中で行いました。家庭に引きこもっている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。 (適応指導教室指導員9人・適応指導教室相談員2人・スクールソーシャルワーカー2人) 家庭訪問の対応件数48件
	97	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.87・94) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員367件、スクールソーシャルワーカー185件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。
6 非行・問題行動の防止対策の推進	98	学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・生徒指導推進委員会を実施し、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図りました。 (年2回実施) ・学校では、学校運営協議会等を中心に学校・家庭・地域との連携を強化し、非行・問題行動の予防・根絶を図りました。
	99	非行・問題行動の防止策の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜警察署、幸手警察署管内学校警察連絡協議会を開催しました。 (各年3回実施) ・合同で街頭補導を行いました。 (年2回実施)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、久喜市の課題問題点を解決していきます。
・様々な方面からの情報提供があり、各専門職が関わり情報を共有し、ケース会議等を行い、学校と各専門職や福祉関係等の支援者と連携を図り、効果的な不登校対策を推進できました。 令和元年度現状値：小学校39人(0.54%)中学校109人(3.09%)	・個人情報の共有や交換となるため、情報の取り扱いには十分注意し、正しい情報が提供できるようにしていくことです。	3	・不登校や引きこもりの児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる支援体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、久喜市の課題問題点を解決していきます。
・引きこもりの児童生徒、またその保護者に対しての家庭訪問による相談や支援、その後の学習指導を行うことができました。また、適応指導教室への通級へと繋げることもできました。 ・社会的自立に向けた支援として、家庭訪問での相談や学習指導が必要な段階の引きこもりの児童生徒に対し、広く浅く支援を行うことができました。	・スクールソーシャルワーカーが繋ぎ役となり、家庭訪問等を行いました。適応指導教室への通級等、自ら外に出て支援を受けに来る段階までもっていくことです。	3	・家庭に引きこもっている児童生徒への支援を行うため、福祉関係との連携を図ることができるスクールソーシャルワーカーの勤務日数を増加し、児童生徒の保護者への働きかけを行います。また、今後も、児童生徒の家庭への訪問指導・相談は、スクールソーシャルワーカーと適応指導教室指導員が行います。
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、久喜市の課題問題点を解決していきます。
・校内での情報共有や関係機関・地域との連携の中で、問題行動の早期発見を図ることができました。	・それぞれの立場でできることを明確にし、組織が連携して取り組んでいく必要があります。	3	・今後、組織的な連携の充実を図ります。
・情報交換や交通事故、非行問題行動の現状についての講義など、久喜警察署、幸手警察署との連携が強化されました。	・いつどんなときに事案が起こっても対応できるよう日頃から準備しておく必要があります。	3	・細やかな連携を図り、重大事案が起こった時だけでなく、日頃から児童生徒の健全な育成に努めています。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
7 インクルーシブ教育体制の整備・充実	100	特別支援教育巡回指導、県立特別支援学校との連携 (継続的取組み)		指導課	・久喜市心理専門員を派遣し、対象児童・生徒の支援方法について校内研修等、延べ34回実施することができました。 ・特別支援学校のセンター的機能を活用し、巡回支援及び教育相談を実施しました。 (小学校18回、中学校6回)
	101	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.107) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を4回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童・生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数:指導課95件、面接相談室69件)
	102	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法の共通理解 (継続的取組み)		指導課	・個別の指導計画・支援計画の作成について「できること」を中心に記述するよう指導助言しました。 ・「発達支援研修会」(参加者93人)、「県立特別支援学校特別支援教育コーディネーターを招いた研修会」(参加者36人)の計2回研修会を実施しました。
	103	通級指導教室の運営の充実 (継続的取組み)		指導課	・年間活動計画を作成し各学校に啓発しました。 ・通級指導教室担当による在籍校訪問を実施し、各校との連携を強めました。 ・通級指導教室研修会を1回実施し(参加者31人)、どのような指導を行うか学級担任との共通理解を深めました。
	104	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援の充実 (継続的取組み)		指導課	・教育活動指導員47人、教育活動支援員15人を適切に小・中学校に配置し、児童・生徒への個別の支援を行いました。 ・研修会を1回実施し、教育活動指導員・教育活動支援員の児童生徒への適切な関わり方についての資質向上を図りました。 (参加者数:58人)
	105	支援籍学習の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援学校の児童生徒17人が各小・中学校での支援籍学習に円滑に取り組めるよう、連絡調整を行いました。 ・特別支援学校の児童生徒の保護者に案内する際に、支援籍交流について説明し、良さを伝えました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・臨床心理士による、より専門的な立場からの児童・生徒の困り感や障がいの状況、その子に合った支援方法、教育的ニーズは何かについて、指導・助言を得ることができました。 ・特別支援学校のセンター的機能の活用回数が増えました。	・モデル授業を基に特別支援学級の優れた実践を各校に広げるなど、授業の改善を図ることが必要です。	3	・特別支援学校のセンター的機能について、校長会で周知し、活用を推進していきます。
・593人の未就学児、小・中学校児童・生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童・生徒数が減少している中、支援を必要とする児童・生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援の仕方の具体的な手立てを考える機会となりました。 ・特別支援教育コーディネーターが参加し、子どもの見取りと自立活動の授業の在り方について学びを深めました。	・児童・生徒の見立てについて多面的な理解ができるようにすることや、その子の特性に合わせ、得意なところを伸ばす指導の工夫に視点を当て指導方法を工夫改善することが必要です。	3	・市内全特別支援学級に特別支援教育指導員を派遣し、授業改善や環境づくり、児童・生徒の見立てなどの指導・助言を行う体制づくりをします。
・通級指導教室に係る事務処理の手続きに年間活動計画が入ったことで1年間の見通しや共通理解が保護者と在籍校で図れるようになりました。 ・通級指導教室の指導の実際について研修を通して小・中学校教員に理解してもらうことができました。	・通級指導教室への相談人数が増えている中、時間割の組み方や教育相談対応の児童への適切な支援について改善する必要があります。	3	・時間割の工夫や通級指導教室の増設の方向で検討するなど、指導体制を整えていきます。
・教育活動指導員・教育活動支援員対象の研修では、児童・生徒への適切な支援の仕方や担任や授業者との連携の仕方などを学ぶことができました。	・小・中学校では個別の支援が必要な児童・生徒が増え、学校や保護者からの要望もあるため、教育活動指導員・教育活動支援員の増員をする必要があります。	3	・児童・生徒が安心・安全で適切な支援を受けられるよう教育活動指導員を増やすための働きかけを続けていきます。
・児童・生徒が支援籍学習に参加することで、地元の小・中学校との繋がりを自覚し、自立する力をはぐくむことができました。	・中学校での支援籍学習の実施が少ないことが課題です。	3	・就学相談で支援籍学習を紹介し、中学生の実施の効果を保護者や学校に広めるなどインクルーシブ教育を推進します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	106	「個別の支援計画・指導計画」の作成と活用の推進 (継続的取組み)		指導課	・「個別の支援計画・指導計画」の作成の仕方について、特別支援教育指導員を指導助言のために派遣しました。 ・記入上の留意点や記入例を小・中学校の特別支援教育コーディネーターに配布し説明し、また、定例校長会・教頭会でも管理職に内容を知らせました。
8 就学支援・相談の充実	107	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.101) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を4回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童・生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数:指導課95件、面接相談室69件)
	108	心理専門員による相談・検査の実施 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員を配置し、様々な課題のある児童生徒、またその保護者に対しての相談、助言を行いました。また、その際、必要がある児童生徒に対しては、発達心理検査等を行い、児童生徒のよりよい成長と、保護者と学校への支援を行いました。 (心理専門員2人、相談・検査等対応件数38件)
9 日本語指導の推進	109	小・中学校に在籍する外国籍児童生徒の日本語指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・小学校16校、中学校5校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒48人を対象に6人の日本語指導員を配置し、個々のレベルに応じて指導を行いました。
	110	ユニバーサルデザインの授業の推進 (継続的取組み)		指導課	・平成30年度、令和元年度の研究としてインクルーシブ教育(ユニバーサルデザイン化された授業)研究を青毛小学校に委嘱し、研究実践の推進を図りました。
10 教育センターの整備	111	就学相談・発達相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援教育や生徒指導など、教育相談に係る情報を共有できるようにしました。 ・特別支援教育と生徒指導の担当指導主事を同じチームとして業務を行う組織にしました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・「できること」を中心に記入すること、保護者への公開、共通理解が図れるように配慮することなど啓発することができました。	・通常学級に在籍する児童・生徒にも、支援が必要とする場合には作成していく必要があります。	3	・教育活動指導員・支援員が支援する児童・生徒に対しては通常学級の場合にも作成するよう進めていきます。
・593人の未就学児、小・中学校児童・生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童・生徒数が減少している中、支援を必要とする児童・生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
・様々な課題のある児童生徒、またその保護者に対して相談・助言をし、児童生徒の成長や生活に対してのアドバイスを行うことができました。 ・発達心理検査等を行うことで、児童生徒、またその保護者、学校への支援につなげることができました。	・小・中学校に配置されている県費のスクールカウンセラー（臨床心理士）の活用をする前に、久喜市心理専門員への依頼が来るが多くなってしまうので、臨床心理士の活用に関するマニュアル等を整えました。まだ、浸透していないので、実践しながら活用していく必要があります。	3	・令和元年度から、小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置されたため、「教育相談のリーフレット」を作成し、相談の流れ（臨床心理士の活用順）について明記しました。また、教育相談についてのガイドラインを作成したので、実践、活用し、各専門職の活用の流れを整えていきます。
・個別指導を基本とした丁寧な指導を積み重ねることにより、「話すこと」「読むこと」については、多くの児童生徒に大きな成果が見られました。	・漢字や文章を書くことについては、さらなる指導の工夫や時間の確保が必要です。 ・中学校については、教科書や授業の内容を理解する段階までの指導は難しい状況です。	3	・外国籍児童生徒は、これからさらに増えていくことが予想されるため、指導法の工夫はもとより、指導員の増員も視野に入れる必要があります。
・青毛小学校では、全学級でユニバーサルデザイン化された授業を公開し、市内外の教職員、関係各機関に、実践内容と、支援が必要な子だけでなく、どの子にも効果のある手立てであることを広めることができました。	・一つの小学校での研究実践であったので、青毛小学校のユニバーサルデザイン化された授業の取組が、久喜市内の小・中学校で広く実践されていくことが課題です。	3	・青毛小学校のユニバーサルデザイン化された授業の取組等が、久喜市内の小・中学校で広く実践されていくように、指導課中心に各小・中学校と共に授業研究等を行っていきます。
・教育相談や生徒指導関係、就学相談関係の情報が共有化できるような体制が整備されました。 ・就学相談や発達の相談に対し、3人体制で相談を行うことができ、業務の効率化が図られました。	・教育センターに教育相談の部屋と機能を設置し、市民にサービスを早く提供することが急務です。	3	・教育センター設置に向けて人、モノ、施設の整備を前進させます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	112	関係機関との連携 (継続的取組み)		指導課	・幼稚園、保育所、認定こども園、保健センターや障がい者福祉課、子ども未来課、県立特別支援学校、放課後デイサービス、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、特別支援教育指導員、ことばの教室指導員等、必要に応じて相談ができるよう体制を整えました。
	113	教職員研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に教職員の資質能力の向上を図るため、各種研修会を実施しました。 (参加者数:不登校支援41人、発達障害の理解71人、通教指導の理解29人、情報モラル教育指導34人、ICT活用132人、教育相談カウンセリング22人、施設体験研修32人) ・通年で各小・中学校の校内研修支援を実施しました。(年間45回)

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 6 安全教育の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 児童生徒の危機回避能力の育成	114	実践的な災害対策訓練の実施支援 (継続的取組み)		指導課	・災害図上訓練DIG(大きな地図をみんなで囲み、経験したことのない災害をイメージして地域の課題を発見し、災害対応や事前の対策などを検討するための手法)の研修を実施しました。(江面第一小学校にて1回実施、67人参加)
	115	「共助」の精神をはぐくむ安全教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・安全教育年間指導計画に沿って、計画的に安全教育を推進しました。 ・図上訓練DIG、避難訓練、引渡し訓練等、保護者と地域とともに、訓練を行いました。
2 交通安全教育の充実	116	児童生徒の交通安全意識の向上 (継続的取組み)		指導課	・交通安全教室を開催しました。 (各校年1回) ・学校便り、学年便り、朝会等で交通事故防止についての啓発を行いました。 ・長期休業日前には、交通事故等安全に気をつけるよう確認をしました。
3 学校の危機管理体制の整備・充実	117	危機管理マニュアルの整備・改善 (継続的取組み)		指導課	・文科省で作られた「生きる力をはぐくむ安全教育」の資料を学校に周知し、従来の危機管理マニュアルを見直しました。 ・組織として機動的に対応できる救急及び緊急連絡体制を整え、危機管理体制を整備しました。
4 防災に係る教職員の研修の実施	118	学校における危機管理能力の向上 (継続的取組み)		指導課	・様々な災害に対する危機管理について、各学校の実態に合わせた研修を行いました。 ・心配蘇生法(AED)研修や、地域の危険箇所等を情報交換し、危機管理能力を高めるための研修を行いました。 (市内各学校1回実施、参加者数740人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・フリースクールについての情報や児童相談所などが家庭に訪問する際の留意点など専門的な立場から助言を得られました。	・教育センター機能を、教育センターに集約することで情報共有と関係機関との円滑な連携を図ることが必要です。	3	・教育センターの方向性が定まるまでに関係機関、関係職員が連携を円滑にできる体制整備を進めます。
・教職員の資質能力の向上を図ることができました。	・働き方改革の視点から、夏季休業中の研修等について、精選が必要です。	3	・夏季休業中の研修について、精選するとともに、オンライン化などの多様な参加方法がとれるように検討します。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・災害図上訓練DIGを取り上げ、研修を行うことで、学校に取組を広げることにつながりました。 ・学校での取組が家庭、地域に広がり、地域一体で実践的な災害対策訓練を実施することができました。	・児童と保護者だけでなく、地域と連携した取組になることが望まれます。	3	・今後は、実践的な災害対策訓練をさらに市内に拡大していけるよう努めます。
・児童生徒の防災意識の向上につながり、「共助」の精神の高まりが見られました。 ・保護者、地域とともに災害図上訓練DIGを行ったことで、近隣の方の間にも「共助」の精神の高まりが見られました。	・実践行動につながるよう、学校、家庭、地域の連携の強化が必要です。	3	・今後はさらに学校が核となり、地域社会への「共助」の精神を育んでいけるよう連携強化に努めていきます。
・交通安全教室を開催し、横断の仕方や自転車の乗り方の指導を行ったことにより、登下校を含む学校生活での安全意識が向上しました。	・管理外での自転車事故があったので、自転車事故防止への取組が今後さらに必要です。	3	・交通安全教室、便り、朝会等での啓発だけでなく、授業等教育活動の中でも啓発を進めていきます。
・危機管理マニュアルの見直しを働きかけたことで、より実践的なマニュアル整備につながりました。	・より実践的なマニュアルとなるよう、引き続き見直し、整備が必要です。	3	・今後も、マニュアルの見直しを定期的に行い、危機管理に努めます。
・学校の実態を踏まえ、新しい視点で研修計画を立て、様々な災害や事故を想定した研修を実施したことが、教職員の危機管理能力の向上につながりました。	・地震、火災、不審者等危機管理能力を高めるだけでなく、洪水等その他の防災についても危機管理能力を高めていく必要があります。	3	・今後も、様々な防災に係る研修や実践の工夫、充実に努め、教職員の危機管理能力の向上を図ります。

基本目標3

信頼される学校づくりの推進

基本目標の概要

教職員の指導力の向上、家庭・地域との連携の強化、教育環境の整備を推進し、家庭や地域から信頼される学校づくりに努めます。

施策

- 1 教職員の資質・能力の向上
- 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- 3 安全の確保
- 4 学校の適正規模・適正配置の推進
- 5 学校施設・設備の整備・充実
- 6 学校給食の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 2 1 ○数値目標 2 ○取組み 4 9

担当課

○教育総務課 ○学務課 ○学校給食課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全2件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	50.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	1	50.0%

継続的 取組み (全39件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	2	5.1%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	37	94.9%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全10件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	2	20.0%
	B	概ね計画どおりである	8	80.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

信頼される学校づくりの基盤は、教師への信頼です。そのため服務出前研修などの実施により、服務規律の徹底や不祥事防止の意識の向上が図られ、取組の成果が挙がっていると思います。埼玉県では、令和元年度、不祥事による懲戒処分件数がここ10年で最悪となりました。不祥事が発生すると、様々な学校運営に支障が生じてしまいます。そして、子どもの心を傷つけるとともに、一人の教職員の行いが、他の全ての教職員の信用を損なうことに繋がる、決して許されない行為です。今後も、服務に関する研修や不祥事防止の研修、教職員の倫理観を高める工夫を講じた研修等を継続して取り組んでいただきたいと思います。

スクール・サポート・スタッフの配置による事業は、教職員の負担軽減や教材研究に充てる時間増、時間外勤務の減少と大きな成果を挙げています。教職員の負担軽減に繋がる様々な取組を行っていただいておりますが、子どもたちの未来のため、学校が質の高い教育を提供し続けられるよう、教職員の働き方改革の推進のために、今後も発展させて取り組んでいただきたいと思います。

施設・設備の整備・充実については、改修が計画的に進められており、校務用のパソコン等の更新も進められ、成果が挙がっていると思います。トイレの改修では、計画が策定されました。多額の予算を必要としますが、改修・改造計画をスムーズに進行していただければと思います。

信頼される学校づくりの根本は、学校と地域が一体となり子どもの成長に皆で関わっていくことであると思います。コミュニティスクールの取組により、学校に対する地域の関心が高まり、教職員も地域との関わりを大切にします。この取組は、学校と地域が一体となった教育の推進に繋がるものであると思います。素晴らしい取組で成果が挙がっていると思います。

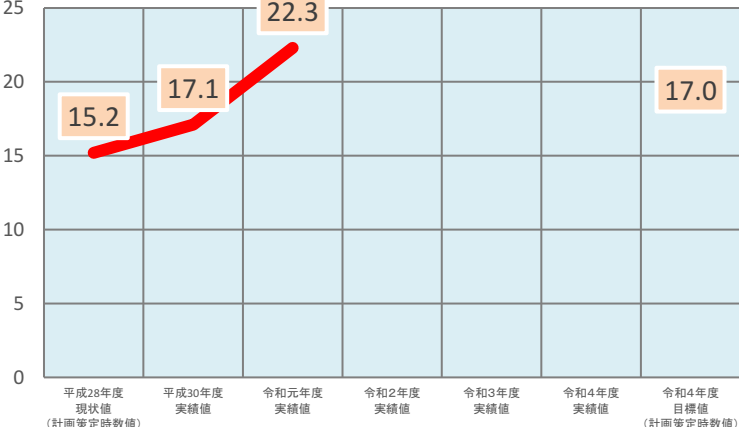
研究委嘱の指導・助言のため指導課が研究委嘱校に学校訪問を実施しており、研究内容・結果を広く共有する体制づくりが課題となっていますが、研究結果をどのように活用するかということにも研究の重点が向かわなければならないと思います。研究事業を行い、それを見て話し合うことも大事ですが、先生方の資質の向上を図るとするならば、自分たちで作り上げる研究事業を実施していただきたいと思います。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	3 信頼される学校づくりの推進																
施策	5 学校施設・設備の整備・充実																
具体的施策	1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進																
数値目標名	校舎及び屋内運動場等の非構造部材の落下防止対策をした施設数	担当課	教育総務課														
単位	施設	達成率	51.4%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	3	達成度	D														
平成30年度 実績値	13(9)※	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>3</td><td>13</td><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td>37</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3	13	19				37
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
3	13	19					37										
令和元年度 実績値	19(6)※																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	37																

※実績値は、平成28年度からの延べ件数です。カッコ内の数値は、単年度の実績値です。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	3 信頼される学校づくりの推進												
施策	6 学校給食の充実												
具体的施策	3 食育の推進												
数値目標名	地元農産物を取り入れた学校給食食材の割合	担当課	学校給食課										
単位	%	達成率	131.2%										
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2	達成度	A										
平成30年度 実績値	17.1	推移グラフ	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>15.2</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>17.1</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>22.3</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>17.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2	平成30年度 実績値	17.1	令和元年度 実績値	22.3	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17.0
年度	数値												
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2												
平成30年度 実績値	17.1												
令和元年度 実績値	22.3												
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17.0												
令和元年度 実績値	22.3												
令和2年度 実績値													
令和3年度 実績値													
令和4年度 実績値													
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17.0												

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 1 教職員の資質・能力の向上			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 教職員研修の充実	119	服務出前研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に指導主事が市内小・中学校に出向き、各学校の教職員を対象に服務規律の徹底や不祥事防止に関する内容の研修を実施しました。 (34校全てで実施・参加者数739人)
	120	ミドルリーダー研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・教職員の資質や能力の向上を目指し、市内校長34人が講師となる研修会を6回(全体研修2回、テーマ別研修4回の4テーマ)実施しました。 (参加者数38人)
	121	臨時的任用教職員服務研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・教職員としてのあるべき姿や服務規律の徹底などに関する内容の研修を2回実施しました。 (参加者数①4月:102人、②12月:93人)
	122	校内倫理確立委員会の充実のための市内小・中学校への指導の実施 (継続的取組み)		指導課	・校内で計画的に教職員事故の事例や教職員としての勤務のあり方について話し合い、教職員としての倫理観を高めるよう、校長会や教頭会、管理訪問等において指導しました。
2 校内研修の活性化の指導・支援	123	市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を全34校で実施しました。
	124	教育委員会指導課学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会研究委嘱の指導・助言のための指導課訪問を研究委嘱校の15校で実施しました。
4 教職員の健康管理・メンタルヘルスの推進	125	教職員の健康管理のための健康診断の実施、健康相談の充実及び安全衛生管理体制の推進 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に教職員定期健康診断を4会場で実施しました。 (受診者314人) ・全小・中学校で健康管理医による教職員の健康相談・健康指導を実施しました。 ・養護教諭に対して、B型肝炎の検査を実施しました。
	126	スクール・サポート・スタッフの配置 (継続的取組み)	○	指導課	・久喜東小、久喜北小、栗橋小、砂原小の小学校4校に、スクール・サポート・スタッフを1人ずつ配置しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・教職員が職責や服務遵守の重要性について改めて実感することができました。	・不祥事根絶が喫緊の課題であることから、研修を継続して行う必要があります。	3	・市内すべての小・中学校で服務出前研修を行います。
・全体研修の他、学力向上、生徒指導、外国語教育、危機管理など、テーマごとに研修を行い、理解が深まりました。 ・ディスカッションを通して、ミドルリーダーとしての自覚が高まりました。	・ミドルリーダーのさらなる活躍が期待されるため、研修生の実態に合わせ、研修会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・講師となる市内校長34人と協議し、研修内容をより一層充実します。
・公務員として服務規律を遵守することの重要性や職責の重さ、臨時的任用教職員の任用条件等についての理解が深まりました。	・経験年数の浅い臨時的任用教職員も多数いるため、研修を継続して行う必要があります。	3	・不祥事根絶のために、特にわいせつ・ハラスメント・体罰・交通事故・会計事故等の具体的な事例を取り上げた演習を、年2回継続して行います。
・教職員が公務員としての倫理観を高めるとともに、責任と使命を強く自覚することができました。 ・資料の整理と指導内容を記録し、指導の徹底を図ることができました。	・各学校の教職員の実態に合わせ、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・校長会や教頭会と連携し、教職員の実態に合わせた事例を取り上げる等、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実できるようにします。
・支援担当訪問時における全教員による公開授業又は研究授業において、授業の工夫改善が進められ、教職員の指導力向上を図ることができました。	・より質の高い教育を提供するためには、教職員の授業力向上は必須であり、より一層充実する必要があります。	3	・全小中学校で市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を実施します。 ・指導を担当する指導主事の指導力向上を図ります。
・各校の取り組みについて情報交換・共通理解を図ることで、今後の学校教育のあり方について研究を推進することができました。	・研究内容をより広く共有する体制づくりが課題です。	3	・研究発表会の内容について、一部データ配信を実施した結果を踏まえ、より効率的・効果的な共有の方策を研究します。
・人間ドック受診者等を除く全職員が健康診断を受診することができ、また健康管理医による保健指導や健康相談及び養護教諭のB型肝炎検査を実施し、疾病予防及び健康管理医による相談事業の充実が図られました。	・今後は教職員の心の健康の保持増進・予防のため、心理的な負担の程度を把握するための「ストレスチェック」の実施が必要です。	3	・教職員の心の健康管理支援のため、ストレスチェック制度の整備を進めていきます。
・配置校の平成30年度と令和元年度の9月～2月の時間外勤務を比較した結果、4校の平均で15%減となりました。 ・配置校の教職員へのアンケート調査から、①スタッフの支援により、教材研究等に割く時間が増えた。 ②負担軽減を実感していると回答した教職員が76% 等が明らかになりました。	・市内の教職員の負担感の軽減、働き方改革の推進のために、限られた人的予算の中でスクール・サポート・スタッフの配置を継続的に取り組んでいくことが課題です。	3	・スクール・サポート・スタッフの配置を継続的に取り組み、市内の教職員の負担感を軽減させ、働き方改革を推進していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校運営協議会の活動の充実	127	各学校における学校運営協議会への指導・支援の実施 (継続的取組み)		指導課	・各指導主事が、担当校の学校運営協議会へ参加しました。 (30回参加)
	128	学校運営協議会委員の研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・年間1回の研修会を実施し、各校の実践発表を実施しました。 (参加者数227人【市内34校】) ・中学校区の研修会にCSマイスターを派遣し、他県の取組・実践例について研修をしました。
2 学校応援団の充実	129	学校応援団活動の充実へ向けての支援 (継続的取組み)		指導課	・学校応援団の活動と組織の充実を図るために、コーディネーター研修会を2月に開催しました。(参加者数:市内34校から64人)
3 学校・家庭・地域の連携強化による学校マネジメントの推進	130	家庭・地域への学校の取組の積極的な公開の実施 (継続的取組み)		指導課	・学校のホームページや学校だより等を活用して、情報発信を実践しました。学校行事や土曜参観等において、学校公開を行いました。
	131	地域学習の計画的・継続的な実施 (継続的取組み)		指導課	・道徳や総合的な学習の時間等において、ゲストティーチャーとして、学校応援団の方が、専門的な指導を行いました。 (指導回数:各校平均で5～6回)

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 3 安全の確保			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 防犯対策の充実	132	防犯カメラの活用及び小学校安全監視員の配置 (継続的取組み)		学務課	・市内全小学校に安全監視員を配置し、立哨や校内巡回を実施することで、学校内における児童の安全確保に努めました。 (市内小学校23校各1人配置 全23人配置) ・不具合が生じた防犯カメラを適正に作動させるため、修繕を行いました。 (修繕箇所1箇所)
	133	市職員による通学路巡回パトロールの実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒の下校時間帯(午後3時から午後4時)に市職員による巡回パトロールを実施し、下校時における児童生徒の安全確保に努めました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各校での取組や様子を把握するとともに、他校の実践等情報提供することができました。	・各学校の学校運営協議会が充実してきているため、久喜市学校運営協議会推進計画を見直す必要があります。	3	・さらなる学校運営協議会の充実を目指し、久喜市学校運営協議会推進計画を見直します。
・各校の取組を情報交流することができました。 ・CSマイスター（コミュニティ・スクール推進員：CSに関するきめ細かな指導助言を行う）を派遣したことにより、研修内容を充実させることができました。	・各校の取組を共有する機会を充実する必要があります。	3	・他校の学校運営協議会に参観者として参加したり、研修資料を共有するフォルダを設け、他校の資料を見られるようにします。
・学校応援団の活動と組織の充実を図るために、コーディネーター研修会を2月に開催し、意欲の向上が図れました。 ・代表校の発表を通して、具体的な取組内容を知るとともに、自校の取組や組織づくりの参考とすることができました。	・コーディネーターに対しての意欲の向上等は図れましたが、他の団員の方々への情報提供を工夫する必要があります。	3	・研修会への参加者を増員又はコーディネーター以外の方をローテーションで参加するなど、研修会の持ち方を工夫します。
・学校の教育活動を学校だより、ホームページ等を通じて積極的に情報発信することができました。 ・オープン参観や学校行事には、家庭や地域の方々に案内を出し、来校したくなるよう行事の工夫が実践できました。	・学校間でホームページの更新回数などに頻度の差があります。 ・ホームページの更新作業ができる教職員が少ないです。	3	・学校のHPIに興味を持ってもらう内容の見直しについて検討を行います。 ・ホームページ更新研修会等を企画し作業のできる教職員を増やし、作業の軽減化を図ります。
・地域に対する興味関心を高めることができました。 ・学習する内容がより身近になり、主体的な学びの推進に寄与することができました。	・地域によって協力いただける人材の確保が難しい場合があります。	3	・学校運営協議会や学校応援団等と連携し、学校区の枠を超えて、人材を共有できるように働きかけます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・小学校安全監視員が立哨や校内巡回を実施することで、児童の安全確保に寄与することができました。 ・不具合が生じた防犯カメラの修繕を行い、適正な見守り体制を図ることで、児童の安全確保に寄与することができました。	・安全監視員の高齢化が進んでいるため、新たな人材を確保する必要があります。	3	・今後も引き続き、市内小学校に安全監視員を配置し、校内での教育活動中の児童の安全確保を図っていきます。 ・防犯カメラの適正な維持管理に努めていきます。
・巡回パトロールを実施することで、犯罪抑止効果を高め、児童生徒の安全確保に寄与することができました。 ・不審者情報があった場合は当該箇所を重点的に巡回するなど、児童生徒の安全な下校環境の確保に寄与することができました。	・限られた時間で、より多くの通学路を巡回する必要があるため、巡回パトロールの実施方法等について検討する必要があります。	3	・今後も引き続き、通学路の巡回パトロールを実施し、児童生徒の安全な下校環境の確保を図っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 3 安全の確保			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	134	防災行政無線による帰宅を促す放送の実施 (継続的取組み)		学務課	・夕方に防災行政無線による児童生徒の帰宅を促す放送を実施し、児童生徒が安全に帰宅できるように努めました。
	135	不審者等に関する情報を関係機関に提供 (継続的取組み)		学務課	・不審者等に関する情報を学校・保護者・関係機関に提供し、注意を促すことで、児童生徒の安全確保に努めました。 (情報提供件数44件)
2 交通安全対策の充実	136	通学路の安全点検の実施、通学路の整備の推進 (継続的取組み)		学務課	・通学路の危険箇所の把握を行うよう各学校に指示しました。 ・関係各課へ通学路の危険箇所に関する情報提供を行い、通学路の安全確保を図りました。
3 施設・設備の安全対策の実施	137	施設・設備の安全対策の実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、遊具の更新、撤去を行いました。 (更新件数1件、撤去件数19件)
4 小・中学校等放射線量測定の実施	138	小・中学校等の空中放射線量等の測定 (継続的取組み)		学務課	・「久喜市放射性物質の除染等の対応方針」に基づき、小・中学校及び公立幼稚園において空間放射線量の定点測定(9箇所)と局所的に放射線量が高いと予想される箇所(24箇所)の放射線量の測定を実施しました。
	139	プール水及びプールに堆積した汚泥の放射線量の測定 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校のプール水の放射性物質検査及びプールに蓄積した汚泥の放射線量の測定を実施しました。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 4 学校の適正規模・適正配置の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校の適正規模・適正配置の推進	140	学校統廃合等の検討に関する説明会の開催 (目標年度:令和4年度)		学務課	・菖蒲南中学校の統廃合等の検討に関する説明会等を実施しました。 (22回開催、参加者数延べ337人) ・上内小学校の統廃合等の検討に関する説明会等を実施しました。 (10回開催、参加者数延べ475人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・児童生徒の帰宅を促す放送を実施することで、帰宅時における児童生徒の安全確保に寄与することができました。	・文章の区切り方や間のあけ方を工夫し、放送が反響しないようにする必要があります。	3	・今後も引き続き、防災行政無線による帰宅を促す放送を実施し、帰宅時における児童生徒の安全確保を図っていきます。
・不審者情報を学校等に提供し、学校内での注意喚起、市職員による巡回パトロールでの注意喚起に役立て、児童生徒の安全確保を図ることができました。	・不審者等に関する情報があつた箇所については、重点的に巡回パトロールを実施する必要がありますが、全部を巡回できないため、不審者に関する情報を精査し、特に巡回が必要な箇所を設定する必要があります。	3	・今後も引き続き、不審者等に関する情報を関係機関に提供し、注意喚起をすることで、児童生徒の安全確保を図っていきます。
・通学路の危険箇所について、関係課と連携、情報共有を行い、通学路の安全確保を図ることができました。	・道路管理者が異なっている場合、迅速な対応が難しいため、関係機関との連携を図っていく必要があります。	3	・児童生徒の通学時の安全を確保するため、今後も引き続き関係課と連携を図り、通学路の安全対策の充実に努めます。
・令和元年度に実施した点検結果に基づいた更新、撤去を行うことで、児童生徒が安全に遊具を使用できる環境を整えることができました。	・経年劣化が進んでいる遊具が増加し、更新、撤去が追いつかず、使用禁止のままになっている遊具が増加しており、今後は遊具の状況により、順次、更新、撤去を行っていく必要があります。	3	・今後も児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、引き続き点検を実施し、順次更新、撤去を行っていきます。
・全ての箇所における測定結果は、毎時1マイクロシーベルト未満であり、子どもたちが安心して生活できる環境であることを確認することができました。	・測定結果が安定しているため、事業の実施方法等について検討する必要があります。	3	・事業の実施方法を検討したうえ、引き続き、放射線量の測定を実施し、放射性物質に対する不安の解消に向けた取組を行っていきます。
・測定の結果、プール水の放射性物質は不検出であり、また、汚泥の放射線量は、毎時1マイクロシーベルト未満であり、子どもたちが安心してプールに入れることを確認することができました。	・測定結果が安定しているため、事業の実施方法等について検討する必要があります。	3	・事業の実施方法を検討したうえ、引き続き、放射線量の測定を実施し、放射性物質に対する不安の解消に向けた取組を行っていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・菖蒲南中学校に関しては、保護者や地域住民に丁寧な説明を行い、学校の現状を十分理解していただいたことから、学校統廃合に対して一定の理解を得ることができました。 ・上内小学校に関しては、関係学校などでこまめに説明会等を実施しており、徐々に学校統廃合に対して認識を深めていただきました。	・上内小学校に関しては、保護者から統合の具体的な方法について様々な意見が出ており、そうした点について明確な説明をすることで、理解を深めていただく必要があります。	B	・上内小学校に関しては、関係学校の保護者や地域住民と意見交換の機会を増やしていく考えです。 ・小林小学校の統廃合等の検討についても、令和7年度から複式学級の編制が見込まれるなど、早急な対応を要していることから、菖蒲南中学校関係の進捗を踏まえながら、説明会等を適宜開催していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 4 学校の適正規模・適正配置の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	141	市立小・中学校学区等審議会の開催 (目標年度:令和4年度)		学務課	・審議会を年5回開催し、「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、平成29年5月24日に諮問を行った対象校4校について、学校統廃合等の検討に関する審議を行いました。
	142	新校設立準備委員会の開催 (目標年度:令和3年度)	○	学務課	・江面第一小学校と江面第二小学校の統合による新校設立準備委員会を設置し、統合による新校の基本的事項について検討を進めました。(会議開催回数:4回) ・統合の方針を決定した菖蒲中学校と菖蒲南中学校についても、同様の新校設立準備委員会を設置する準備を進めました。
	143	任期付市費負担教職員の任用 (目標年度:令和元年度)	○	指導課	・任期付市費負担教職員を1人、江面第二小学校に1人配置しました。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 5 学校施設・設備の整備・充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進	144	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.146) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場等の天井や照明器具等の非構造部材改修工事の修正設計及び工事を実施しました。 【対象施設】久喜小学校、菖蒲東小学校、栗橋南小学校、桜田小学校、久喜中学校、久喜南中学校
2 学校施設の計画的な改修	145	プール改修工事等の実施 (目標年度:令和4年度)		教育総務課	・老朽化したプールの改修工事の設計を実施しました。 【対象施設】青毛小学校 ・老朽化したプールの改修工事を実施しました。 【対象施設】清久小学校
	146	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.144) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場等の天井や照明器具等の非構造部材改修工事の修正設計及び工事を実施しました。 【対象施設】久喜小学校、菖蒲東小学校、栗橋南小学校、桜田小学校、久喜中学校、久喜南中学校

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・関係学校で実施した説明会等の状況を参考に、菖蒲南中学校の統廃合等の検討に関して審議し、統廃合することが適当であるとの答申を頂くことができました。	・小林小学校及び上内小学校に関する統廃合等の検討については、保護者等の共通理解を図っている段階で、継続審議中です。	B	・現在諮問している学校統廃合等の検討対象校2校(小林小、上内小)について、今後、審議を進めていく予定です。
・新校設立準備委員会で協議した結果、江面第一小学校と江面第二小学校の統合による新校の名称は「久喜市立江面小学校」と決定され、令和2年3月17日に久喜市立学校設置条例の改正について市議会の議決を得ることができました。	・今後、新校の校章・校歌に関する検討や、開校に向けた準備などを円滑に進め、子どもたちの教育環境を十分に整える必要があります。	B	・江面小学校に関しては、令和3年4月の開校に向けた準備などを遺漏なく進めていく予定です。 ・菖蒲中学校と菖蒲南中学校に関しては、令和4年4月の新校開校に向けて、令和2年度の早い段階で新校設立準備委員会を設置する予定です。
・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避することができ円滑な学校運営ができました。	・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避していくために、教職員の確保する必要があります。	A	・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避し、円滑な学校運営を進めていくにあたり、児童数の推移に注視していく必要があります。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・久喜小学校、菖蒲東小学校、栗橋南小学校、桜田小学校、久喜中学校及び久喜南中学校の屋内運動場の非構造部材の耐震化工事が完了し、学習環境の整備及び安全を図ることができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	B	・改修工事未実施の小学校12校及び中学校5校について、実施に向けて関係部局と協議して、設計業務及び工事を行っていきます。
・清久小学校プール改修工事が完了し、学習環境の整備及び安全を図ることができました。 ・青毛小学校プール改修工事設計業務が完了し、翌年度に実施する工事の準備ができました。	・改修工事にあたっては、学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	B	・改修工事未実施の小学校3校について、実施に向けて関係部局と協議して、設計業務及び工事を行っていきます。
・久喜小学校、菖蒲東小学校、栗橋南小学校、桜田小学校、久喜中学校及び久喜南中学校の屋内運動場の非構造部材の耐震化工事が完了し、学習環境の整備及び安全を図ることができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	B	・改修工事未実施の小学校12校及び中学校5校について、実施に向けて関係部局と協議して、設計業務及び工事を行っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 5 学校施設・設備の整備・充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	147	校庭の整備 (目標年度:令和3年度)		教育総務課	・緑豊かな教育環境の向上を図るため、校庭の一部を芝生化しました。 【対象施設】桜田小学校(1, 130㎡)
	148	バリアフリー化の推進 (継続的取組み)		教育総務課	・清久小学校プール改修工事において、スロープを設置する工事を実施しました。
	149	トイレの計画的な改修 (目標年度:令和11年度)		教育総務課	・洋式化率が低い学校やトイレの利用に問題がある三箇小学校及び太東中学校の改修工事の設計を実施しました。
	150	学校施設の大規模改造の実施 (継続的取組み)	○	教育総務課	・学校のトイレ環境と老朽化した施設の整備を進めるため、大規模改造基本方針を策定しました。
	151	空調設備の整備 (継続的取組み)		教育総務課	・学級増となった教室に空調設備設置工事を行いました。 【対象施設】桜田小学校、鷲宮東中学校
3 学校ICT、教育情報ネットワークの活用	152	校務用パソコンの活用 (継続的取組み)		指導課 学務課	・一人一台の情報端末を有効に活用し、校務の効率化に取り組みました。 ・校務用パソコン200台を入れ替えました。 ・サーバー機器の更新を行いました。
	153	タブレット端末を活用した学習の推進と学習用パソコン(タブレット端末)の充実 ※再掲(連番No.49) (継続的取組み)		指導課 学務課	・授業等でタブレット端末を活用するための研修会を実施しました。 (実施校 9校、参加者数143人) ・久喜市タブレット端末活用事例集を作成し、活用の共有化を図りました。 ・児童生徒が、タブレット端末を利用した協議や調査活動を行うなど、主体的・対話的で深い学びを促進しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・校庭が緑豊かになり、教育環境の向上を図ることができました。	・芝生化施工後の維持管理を要するため、希望する学校が少ない状況です。	A	・財政面で維持管理費用を支援できるようにし、毎年校庭芝生化を実施できるよう計画していきます。
・清久小学校プール改修工事においてスロープを設置し、学校環境の整備を図ることができました。	・バリアフリー化の整備が必要な学校はあるが、財政面から多数の学校の整備は施工できない状況です。	3	・関係部局と協議し、順次整備ができるよう計画していきます。
・三箇小学校トイレ改修工事設計業務及び太東中学校大規模改造工事設計業務が完了し、翌年度に実施する工事の準備ができました。	・多額の工事費を要することから、計画的な改修が必要です。	B	・整備計画を策定したことから、実施に向けて関係部局と協議して、設計業務及び工事を行っていきます。
・関係部局と協議し、衛生的で使い易いトイレ環境と教育環境を向上させる改修工事を計画することができました。	・多額の工事費を要し、学校統廃合の進捗や久喜市公共施設個別施設計画の策定に合わせて、計画的な改修が必要です。	3	・関係部局と協議し、順次工事が実施できるよう計画していきます。
・桜田小学校及び鷺宮東中学校の教室に空調設備を設置し、学習環境の整備及び猛暑対策を図ることができました。	・設置工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮し、暑くなる前に設置できるよう工期の設定に努める必要があります。	3	・翌年度の増加学級の照会を行い、設置が必要な教室数を把握し、設計業務及び工事を行っていきます。
・校務用パソコンを活用することで、日々の学習活動の週案や保護者配布文書の作成といった作業の効率化が図られました。 ・老朽化した情報端末及びサーバー機器の入替えにより安定稼働が図られました。	・パソコン及びソフトウェアに関する教職員の習熟度向上を図る必要があります。	3	・今後も学校からの要望を校務用パソコンに取り入れていきます。
・PC室にも、タブレット端末型が導入され、活用の幅を広げることができました。 ・デジタル教科書の活用事例が増えました。	・教員ごとにタブレット端末を活用する頻度に差があります。 ・通信環境の充実を図る必要があります。	3	・全ての教員に活用してもらうよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりや映像化を進めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 5 学校施設・設備の整備・充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	154	情報セキュリティに関する学習 (継続的取組み)		指導課	・授業や集会等、様々な教育活動の中で機会を捉えて学習し、教員対象の研修会を実施し指導力の向上を図りました。 (参加人数34人)
4 学校教材・備品の計画的な整備	155	学校教材・備品の計画的な整備 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校で使用する教材備品を計画的に購入し、老朽化等により破損した教材備品を修繕しました。 ・使用できなくなったものは交換をして、不要となったものは廃棄しました。
5 学校図書館の充実	156	図書館担当教員を対象とした研修会等の実施 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校に設置した図書管理システムの機能充実を図るため、サポートサービスを利用し、活用及び操作方法の説明を行いました。
	157	学校図書館図書の適正な蔵書管理 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校に設置した図書管理システムを更新し、適正な蔵書管理を行いました。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 6 学校給食の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 新たな学校給食センターの整備	158	新たな学校給食センターの整備 (目標年度:令和3年度)		学校給食課	・令和元年度から令和3年度までの年次計画により(仮称)久喜市立学校給食センター新築工事等を実施しました。 (新築工事定例会議:23回開催)
2 安全・安心な学校給食の提供	159	安全でおいしい給食の提供、栄養管理、食材の安全確保等による学校給食の充実、並びに食物アレルギーへの対応 (継続的取組み)		学校給食課	・文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を実施しました。 ・食材の安全確保のために、農薬及び食品添加物等の検査を実施しました。 (食品添加物等検査数:229検体) ・残量調査や給食日誌等により、喫食状況の把握を行いました。 ・食物アレルギーのある児童生徒には、国の指針や県、市の対応マニュアルに基づき対応を行いました。 (食物アレルギー申請児童生徒数291人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各学校において、情報セキュリティや情報モラルに対して意識が向上し、授業や集会等で確実に取り上げられるようになりました。	・家庭・地域、企業やその他の専門機関との連携を図り、協力体制を構築する必要があります。	3	・今後も研修会を実施するとともに、内容の充実が図られるよう企業や専門機関等との協力体制を構築していきます。
・学校教材・備品の整備により、学習効果が高まりました。	・教材備品について適切に管理・整備していく必要があります。	3	・今後も計画的に教材備品の購入・更新・廃棄を実施し、教育環境の整備を図ります。
・システム操作の習熟を図ることで、学校図書館を円滑に運営することができました。	・司書教諭の異動等に伴い、適時、システムの操作方法の研修や説明が必要となります。	3	・システム操作研修会を実施し、学校図書館の円滑な運用を図ります。
・システムの活用により、図書を適正に管理し、効率的な学校図書館を運営することができました。 (学校図書館充足率: 目標100%以上、実績132.9%)	・適切な蔵書管理を行うため、システムの安定稼働を図る必要があります。	4	・図書管理システムを活用した適切な蔵書管理を行います。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・(仮称)久喜市立学校給食センターの整備に向け、事業の進捗が図られました。	・安全で安心な学校給食を将来にわたり安定的に供給するため、関係部署と連携し、令和3年7月末までに工事が完了するよう進捗管理を行う必要があります。	B	・調理・配送・配膳業務委託事業者の選定、食器・食缶・食器カゴの備品発注、献立作成や食材発注等を行う学校給食システムの導入など運用面での準備を行っていきます。
・衛生管理及び食物アレルギー対応を実施したことで、安全・安心な給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、衛生講習会の開催や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識向上、意識高揚を図り、衛生管理や栄養管理、食物アレルギーへの対応を進める必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、衛生講習会の開催や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図り、より充実した学校給食の運営を行っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 6 学校給食の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	160	季節の食材や行事食、郷土料理、伝統料理等を採り入れた給食の提供 (継続的取組み)		学校給食課	・年間指導計画を作成し、季節の食材を計画的に取り入れました。 ・行事食、郷土料理、教科と関連した献立を市内統一献立として提供しました。 (行事食・郷土料理等の提供回数30回(3回/月×10か月))
	161	学校給食費補助の実施 (継続的取組み)	○	学校給食課	・学校を通じすべての保護者に制度をお知らせするとともに、市ホームページへ掲載し、広く市民に周知しました。 ・児童生徒を3人以上養育している保護者に、上期と下期に分けて補助金を交付しました。 (補助金交付者数:304人)
3 食育の推進	162	予定献立表や給食だよりの配布及び予定献立表や給食写真のホームページへの掲載 (継続的取組み)		学校給食課	・児童生徒の家庭に予定献立表及び給食だよりを月1回(合計10回)配布しました。 ・予定献立表及び給食写真をホームページに掲載しました。
	163	学校給食を生きた教材として活用 (継続的取組み)		学校給食課	・教科や行事との連携、郷土料理の提供、地場産農産物の活用、家庭の食事の見本となるような献立作成等、生きた教材としての学校給食を提供しました。 ・献立のねらい等を学校や家庭に周知し、情報の発信を行いました。
	164	地産地消の推進 (継続的取組み)		学校給食課	・地場産農産物を使用するとともに、情報の発信を行い、地産地消を推進しました。 (年間使用量52.4トン、使用割合22.3%) ・地産地消推進会議を開催しました。 (年2回) ・生産者と児童の交流給食を実施しました。 (年4回) ・市内産農産物を10種類使用した久喜市合併10周年記念お祝い献立を提供しました。 (1回提供)
4 学校給食の衛生管理の徹底	165	学校給食調理従事者等への衛生管理指導の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校給食従事者を対象に健康診断(年1回)及び保菌検査(赤痢菌・サルモネラ属菌・腸管出血性大腸菌血清型O-157(月2回)、ノロウイルス(年3回))を実施しました。 ・調理業務委託事業者に対しても、健康診断や保菌検査を実施させました。また、その結果を報告させ、内容の確認を行いました。 ・衛生管理への理解を深めるため衛生講習会を開催しました。 (1回開催、参加者数90人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することで、学校給食の充実を図ることができました。 ・郷土料理の提供により、各地域の食文化への理解を深めることができました。	・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することにより、児童生徒の学校給食への関心を高める必要があります。	3	・季節が感じられる献立や行事食、郷土料理、教科と関連した献立を継続的に市内統一献立として実施します。
・学校給食費補助金を交付したことで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進が図られました。	・学校事務職員や庁内関係課職員との連携を図り、事務処理の効率化を図る必要があります。	3	・保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き、事業を実施していきます。
・予定献立表及び給食だよりの配布、ホームページへの掲載を通じて、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図ることができました。	・児童生徒や保護者に対して、食生活の知識の普及・啓発を図るため、予定献立表及び給食だよりの内容を工夫しながら作成する必要があります。	3	・予定献立表及び給食だよりを配布するとともに予定献立表及び給食写真をホームページに掲載し、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図っていきます。
・毎日の学校給食を通じて、望ましい食習慣の形成を図ることができました。 ・食経験と併せて食に関する情報を発信することで、食への興味、関心をより深めることができました。	・学校給食を通じた望ましい食習慣を形成するため、食に関する情報発信を進める必要があります。	3	・生きた教材として、家庭の食事の見本となるような学校給食の提供をするとともに、給食だよりにより食に関する情報発信を行っていきます。
・地場産農産物を使用した学校給食を提供することで、地産地消の推進を図ることができました。(R1目標値16.1%、実績値22.3%) ・地産地消推進会議を開催し、学校給食従事者の情報の共有や意識の高揚が図れました。 ・交流給食を実施することで、生産者の栽培への意欲向上に繋がりました。	・地場産農産物の使用量を増やすため、生産者等と連携し、学校給食における地場産農産物の需給体制を構築するとともに、需給バランスを調える必要があります。	4	・地産地消推進会議等を開催し、関係機関と情報交換や連携を行うことで、学校給食従事者の情報共有や意識の高揚を図っていきます。 ・学校給食における地場産農産物の需給体制を構築するとともに、需給バランスを調え、地場産農産物の使用量を増やします。
・学校給食従事者の健康保持・管理を行うことで、児童生徒にとって安全・安心でおいしい学校給食を円滑に提供することができました。	・健康診断や保菌検査の実施、衛生講習会の開催により、学校給食従事者の健康管理や知識の向上を図り、学校給食衛生管理基準に基づき、徹底した衛生管理を実施する必要があります。	3	・継続的に健康診断や保菌検査を実施し、学校給食従事者の健康保持・管理を行っていきます。 ・衛生講習会を開催し、給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 6 学校給食の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	166	給食施設の整備・点検及び食品の衛生検査 (継続的取組み)		学校給食課	・委託業者による月1回の点検作業、年2回の調理場等の害虫駆除、作業動線表の作成等を行いました。 ・食品搬入時において、検収責任者が立ち合い、検収簿に基づき品名、数量、納品者、製造者及び所在地、生産地等に関して確認・点検を行いました。
5 学校給食食材の放射性物質検査の実施	167	学校給食に使用する食材の放射性物質検査の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・基準値を超える測定結果が出ていないことから、測定回数を週3回から週2回(隔週1回)に見直しました。 ・鷲宮総合支所で週2回(隔週1回)、1日あたり1給食施設の食材3品目及び給食まるごと1食分の検査を行いました。(令和元年度55回、平成30年度118回) ・検査結果について、ホームページに掲載しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校給食衛生管理基準に基づき、施設の整備・点検、食品の衛生検査等を行い、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく、施設の維持管理や食品衛生検査を実施する必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、今後も給食施設の点検及び食品の衛生検査を行っていきます。
・食材の放射性物質検査を行うことにより、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・引き続き、事業を実施するにあたり、測定結果の推移等を注視しながら、実施内容や実施方法について、見直しをする必要があります。	3	・今後とも、運用面の見直しを行うなど業務改善を図りながら、事業を実施していきます。

基本目標4

人権を尊重した教育の推進

基本目標の概要

市民一人ひとりが、人権が尊重される社会を確立する担い手であることを認識し、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権問題の解決に主体的に取り組めるように人権教育を推進します。

施策

- 1 P T A・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進
- 2 家庭・地域における人権教育の推進
- 3 企業・事業者に対する人権教育の推進

3つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 8 ○数値目標 4 ○取組み 12

担当課

○指導課 ○生涯学習課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	25.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	2	50.0%
	D	達成率 80%未満	1	25.0%

継続的 取組み (全11件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	11	100.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	1	100.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う不確かな情報や、誤った情報に基づく不当な差別やいじめ、誹謗中傷などの人権侵害による被害が現実として起こっています。誤解や偏見に基づく差別を行うことは許されません。これらの人権問題については、あらゆる機会を通して啓発活動をお願いしたいと思います。

人権教育の推進者としての教員に対する研修会が、毎年継続的に様々なプログラムで行われ、教員の人権意識を確認する機会となっており、今後も継続して実施していただきたいと思います。

人権教育の取組は、学校、家庭、地域、企業に至るまで行われ啓発活動がなされています。人権意識をしっかりと定着させようとするのが伺えます。子どもたちに人権意識をしっかりと持たせるに当たっては、日々指導にあたる教員だけでなく、子どもたちの身近な大人、地域社会の人々が手本となります。今後もすべての人々の人権意識を高める取組を継続、発展させていただければと思います。

人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の教員の活用や人権感覚育成プログラムの実施、人権作文「えがお」の教員による活用により、子どもたちの人権感覚の育成に貢献していると思います。今後も継続・充実の取組をお願いしたいと思います。

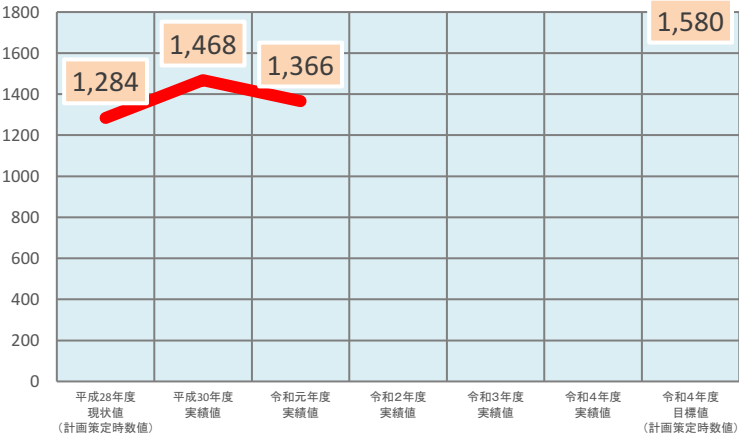
年々、労働人口の減少とともに外国人の人口比率は増加していると思います。そのことに伴い、学校に入学する外国人の児童生徒の数も増えることとなりますが、言葉の壁や文化に不慣れなどからいじめや差別が起きないか心配です。日本語の指導が必要な子どもたちがどれだけいるのか把握し、日本語指導員の配置をしっかりと実施するなど、人権問題に繋がることのないよう学校は意を深めて親とともに子どもを育てていただきたいと思います。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進																
施策	1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進																
具体的施策	1 PTA等への人権教育研修の開催																
数値目標名	PTA人権教育研修会の開催数	担当課	生涯学習課														
単位	回	達成率	100.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4	達成度	A														
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4	4	4				4
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
4	4	4					4										
令和元年度 実績値	4																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4																

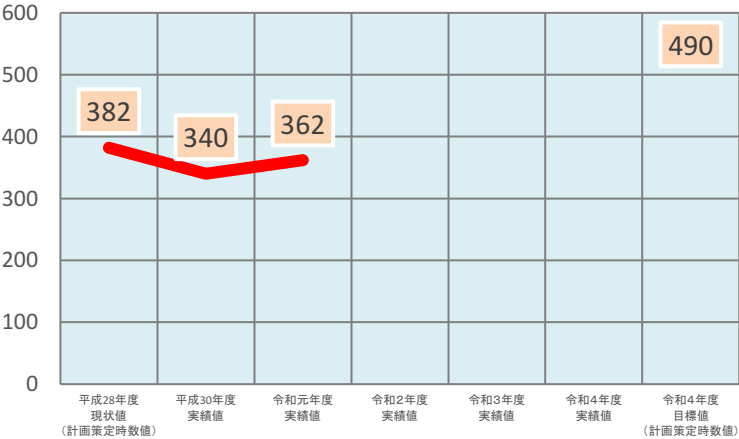
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標
- 施策
- 具体的施策
- 4 人権を尊重した教育の推進
- 2 家庭・地域における人権教育の推進
- 3 教育集会所事業の充実

数値目標名	野久喜集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	86.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,284	達成度	C
平成30年度 実績値	1,468	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※1,366		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,580		

※年度ごとに各教室・講座への参加者数のばらつきがあること、また、台風や新型コロナウイルス感染症の影響で講座回数が7回減ったこともあり参加者数が減少しております。

- 具体的施策
- 3 教育集会所事業の充実

数値目標名	内下集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	73.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	382	達成度	D
平成30年度 実績値	340	推移グラフ	
令和元年度 実績値	362		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	490		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進		
施策	3 企業・事業者に対する人権教育の推進		
具体的施策	2 人権教育指導者の養成		
数値目標名	社会人権教育指導者養成講座の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	84.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	312	達成度	C
平成30年度 実績値	283	推移グラフ	330 320 310 300 290 280 270 260 250 240 312 283 273 325 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値 (計画策定時数値))
令和元年度 実績値	273		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	325		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		4 人権を尊重した教育の推進 1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 PTA等への人権教育研修の開催	168	PTA等に対して人権教育研修の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・PTAの人権感覚・人権意識の高揚を図るため、PTA人権教育研修会を開催しました。 (4回開催、参加者数606人)
2 児童生徒への人権教育の充実	169	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.79) (継続的取組み)		指導課	・桜田小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「人権感覚育成プログラム」を活用した体験活動や参加体験学習を取り入れた授業について研究を深めました。
	170	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.77) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。
3 教職員への人権教育研修の開催	171	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.73) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2回開催しました。 (参加者数115人)
	172	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.74) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数739人)
	173	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.75) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を開催しました。
	174	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.76) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を9月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・参加者をPTAだけに限定しないで、市内在住・在勤・在学者の方も対象に加えたことにより、多くの方々に参加していただくことができました。 ・様々なジャンル(ネット被害、身体障がい、認知症、児童虐待)の講演を設定したことにより、人権問題の幅広い理解と人権意識の高揚を図ることができました。	・様々な人権問題が発生している中、特に子どもたちを対象にした課題、子どもたちにも参加してほしい課題を検討していく必要があります。	3	・子どもたちを対象にした人権問題を学校と連携して把握していくとともに、研修会の参加者アンケートなどを通じて多くの保護者等が聴きたいと感じるテーマを掘り起こしていきます。
・研究委嘱校だけでなく市内小・中学校の人権担当者が、「人権感覚育成プログラム」の活用についての研修に参加し、普及・活用することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・さらに人権意識を高める授業を研究する必要があります。
・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・人権を守ることはわかっている結果として、友達を心ない言葉で傷つけてしまったというケースがありました。	3	・学校行事や道徳、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
・転入・新採用教職員全員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2回開催します。
・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。
・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を開催します。
・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を9月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		4 人権を尊重した教育の推進 2 家庭・地域における人権教育の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権教育事業の推進	175	人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」の発行 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を発行し、人権教育の取組結果を広く市民に周知し、人権教育・啓発を図りました。 (2,000部発行)
2 教育集会所の整備充実	176	教育集会所の改修の実施 (目標年度:令和10年度)		生涯学習課	・老朽化している野久喜集会所と内下集会所の改修を必要とする部分について、状況調査を行いました。
3 教育集会所事業の充実	177	各種教室・講座、交流事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各教育集会所において、各種教室・講座、交流事業を実施しました。 (参加者数:野久喜集会所1,366人、内下集会所362人)

基本目標 施策		4 人権を尊重した教育の推進 3 企業・事業者に対する人権教育の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権教育講座の開催	178	企業・事業者を主な対象とし、人権教育指導者の養成を図るため、人権教育講座の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権教育指導者の養成を図るため、企業・事業者を主な対象として社会人権教育指導者養成講座を開催しました。 (参加者数273人)
2 人権教育指導者の養成	179	人権啓発冊子、人権啓発品の活用 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子、人権啓発品を社会人権教育指導者養成講座等において活用しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内小・中学校、幼稚園、教育集会所運営委員等に配布し、生涯学習における人権教育の実施状況について、理解を深めることができました。	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」は、発行・配布するだけにとどまらず、人権教育の中で活用してもらう必要があります。	3	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を、各学校や幼稚園の授業の中でも活用してもらえるように、校長会等を通じて働きかけていきます。
・野久喜集会所について、天井の雨漏り対策としての屋根の改修が必要ながわたり、改修を行いました。	・野久喜集会所、内下集会所の施設本来の機能を維持していくために、今後必要に応じて設備等の改修を行っていく必要があります。	B	・野久喜集会所、内下集会所共に、老朽化が進んでおり、今後は、計画的な改修を進めていきます。
・各種教室・講座や市内の教育集会所交流事業等を通じ、地域住民の人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ることができました。	・隣接している野久喜地域と内下地域の相互の交流をさらに深めていくことで、費用対効果の高い事業運営につなげていく必要があります。	3	・野久喜地域や内下地域の住民の意見を丁寧に確認しながら、各種事業を企画し、参加者数の増加に繋げていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・企業・事業者から多くの参加を頂いたことで、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消に努めることができました。	・企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるようにしていく必要があります。	3	・次年度も企業・事業者を対象に人権教育講座を開催します。
・社会人権教育指導者養成講座等の参加者に人権啓発冊子や人権啓発品を配布することで、企業や事業者への啓発をするとともに、人権教育指導者の養成に繋げることができました。	・人権啓発冊子や人権啓発品を、今までは民間企業や民間事業者だけをターゲットにしてきましたが、今後どの範囲まで拡大していくかを検討する必要があります。	3	・研修会や講座などを通して、人権啓発冊子や人権啓発品の効果的な活用を進めていきます。

基本目標5

豊かな生き方を築く生涯学習の推進

基本目標の概要

自己啓発や生活の充実のための学びの環境を整え、市民のニーズに応える質の高い学習機会を提供するとともに、その成果を生かすことができる、生涯学習社会づくりに努めます。

施策

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 多彩な生涯学習機会の提供 | 2 保護者の交流機会の提供・支援 |
| 3 生涯学習環境の整備・充実 | 4 公民館活動の充実 |
| 5 図書館サービスの充実 | 6 市民大学・高齢者大学の充実 |
| 7 放課後子ども教室の推進 | |

7つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 21 ○数値目標 21 ○取組み 42

担当課

○生涯学習課 ○中央公民館

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全21件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	5	23.8%
	B	達成率 90%以上 100%未満	2	9.5%
	C	達成率 80%以上 90%未満	6	28.6%
	D	達成率 80%未満	8	38.1%

継続的 取組み (全33件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	3.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	32	97.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全9件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	7	77.8%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	2	22.2%

学識経験者の意見

数値目標における点検・評価について、新型コロナウイルス感染症の影響で、講習会の実施回数が減少したことにより、参加者数の減少が見られた事業も多々あったと思います。現在の評価方法の場合、参加者数で達成率を算出しているため低い評価とせざるを得ませんが、実際には集客設計があると思いますので、集客達成率や参加者の満足度も加味して評価した方が事業の中身に対する評価になると思います。また、事業を実施している担当者も救われるのではないかと思います。評価方法の提案です。ご検討いただければと思います。

生涯学習出前講座、市民大学講座、市民大学公開講座、高齢者大学講座などの施策は大変充実しており様々な学びが用意され、市民のニーズに答えるものになっています。生涯学習活動やボランティア活動への理解を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及び指導者を育成するというねらいを果たしていると思います。より多くの市民の方に参加していただけるよう、開設の案内、紹介等を一層工夫していただき、参加層の拡大に努めていただければと思います。

家庭教育学級、子育て講座の施策も成果を挙げていると思います。子育てなどについて相談できる人との繋がりが希薄となっている現在、子育て世代の学習の機会や交流の機会の充実は、大変意義あるものです。子育てや親子関係に悩む若い方が、参加できる条件整備を工夫していただき、情報提供並びに意見交換の場として一層充実していただきたいと思います。

公民館事業につきましては、各公民館が特色ある取組を実施し、充実していると思います。今日の急激な社会構造の変化に伴い、社会における人間関係が希薄化する中で、自己中心的な生活へ逃避する傾向が高まったり、高齢化や核家族化の傾向が進み、一人暮らしの高齢者の方も増えています。公民館事業を通して、人間的な信頼感や、地域連帯意識を高めて、地域社会づくりを推進してきたと思います。今後も、講義内容等に時代のニーズを取り入れ、充実させていきたいと思います。

放課後子ども教室の施策は、多くの実施委員・サポーターにご尽力いただき、円滑に運営され、子どもたちが様々なことに熱心に一生懸命取り組んでいます。これまで子どもの教育に関わりのなかった地域住民の方も、サポーターとして、大勢の方が積極的に関わってくださっているとのは、大変素晴らしいことです。今後も充実発展させていただきたいと思います。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 施策 具体的施策	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 1 多彩な生涯学習機会の提供 1 生涯学習の機会の充実		
数値目標名	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	87.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	14,452	達成度	C
平成30年度 実績値	15,208	推移グラフ	
令和元年度 実績値	12,795		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	14,600		

具体的施策	3 生涯学習情報の収集と提供		
数値目標名	生涯学習人材バンクの登録者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	88.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	221	達成度	C
平成30年度 実績値	205	推移グラフ	
令和元年度 実績値	199		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	225		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進		
施策	1 多彩な生涯学習機会の提供		
具体的施策	4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援		
数値目標名	生涯学習研修大会(まなびすとフォーラム)の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	82.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	201	達成度	C
平成30年度 実績値	250	推移グラフ	
令和元年度 実績値	173		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	210		

具体的施策	4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援		
数値目標名	生涯学習推進大会(まなびすと久喜)の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	52.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,800	達成度	D
平成30年度 実績値	3,100	推移グラフ	
令和元年度 実績値	2,600		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5,000		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

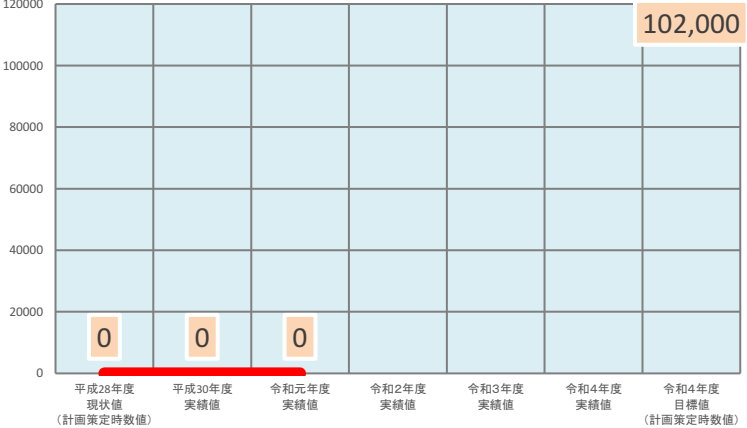
基本目標 施策 具体的施策	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 2 保護者の交流機会の提供・支援 1 子育てについての意見交換の場の充実		
数値目標名	家庭教育学級の参加数	担当課	生涯学習課
単位	学級	達成率	77.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	30	達成度	D
平成30年度 実績値	31	推移グラフ	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 30 平成30年度 実績値 31 令和元年度 実績値 31 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 40
令和元年度 実績値	31		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

具体的施策	2 各種講演会等の充実		
数値目標名	子育て講座「親の学習」の実施校(小学校)	担当課	生涯学習課
単位	校	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	23	達成度	A
平成30年度 実績値	23	推移グラフ	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 23 平成30年度 実績値 23 令和元年度 実績値 23 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 23
令和元年度 実績値	23		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	23		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

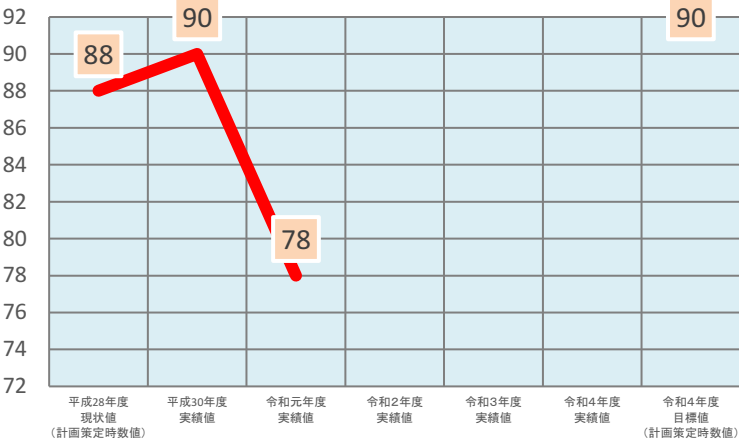
基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進		
施策	2 保護者の交流機会の提供・支援		
具体的施策	2 各種講演会等の充実		
数値目標名	家庭教育フォーラムの参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	45.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	41	達成度	D
平成30年度 実績値	61	推移グラフ	160 140 120 100 80 60 40 20 0 41 61 63 140 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	63		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	140		

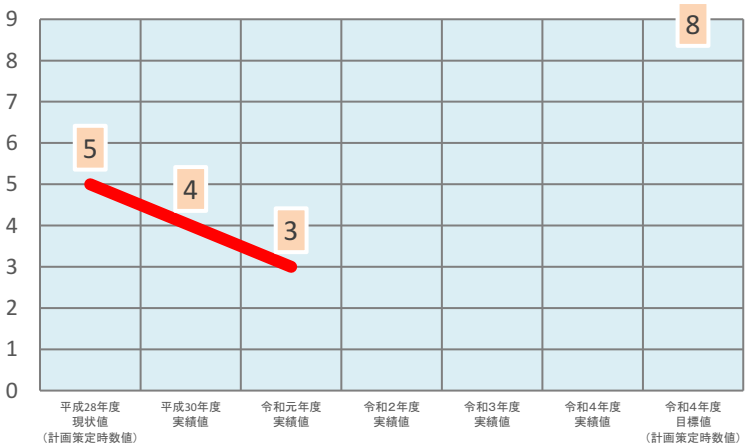
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進		
施策	3 生涯学習環境の整備・充実		
具体的施策	3 生涯学習センターの整備・充実		
数値目標名	生涯学習センター利用者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0	達成度	D
平成30年度 実績値	0	推移グラフ	 120000 100000 80000 60000 40000 20000 0 0 0 0 102,000 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値 (計画策定時数値))
令和元年度 実績値	0		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	102,000		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	4 公民館活動の充実
具体的施策	1 公民館事業の充実

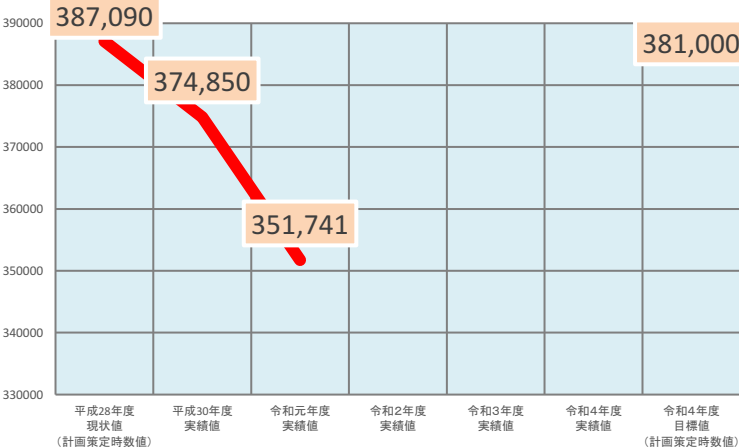
数値目標名	公民館事業数	担当課	中央公民館
単位	事業	達成率	86.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88	達成度	C
平成30年度 実績値	90	推移グラフ	
令和元年度 実績値	78		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90		

具体的施策	1 公民館事業の充実																		
数値目標名	市民企画事業数	担当課	中央公民館																
単位	事業	達成率	37.5%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5	達成度	D																
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	 推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>5</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>4</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>3</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>8</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5	平成30年度 実績値	4	令和元年度 実績値	3	令和2年度 実績値		令和3年度 実績値		令和4年度 実績値		令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5																		
平成30年度 実績値	4																		
令和元年度 実績値	3																		
令和2年度 実績値																			
令和3年度 実績値																			
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8																		
令和元年度 実績値	3																		
令和2年度 実績値																			
令和3年度 実績値																			
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8																		

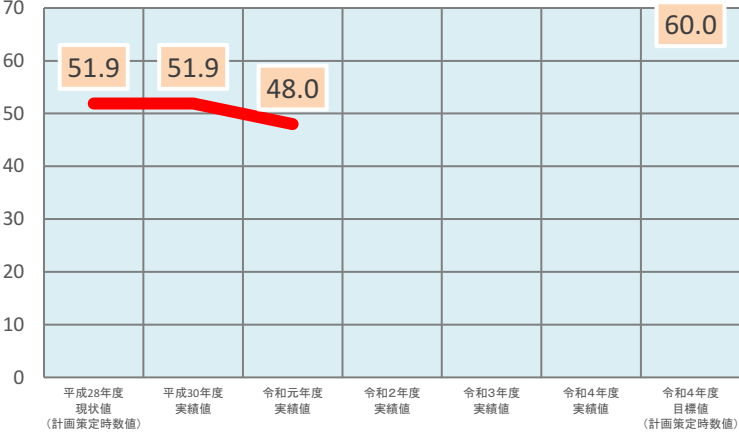
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

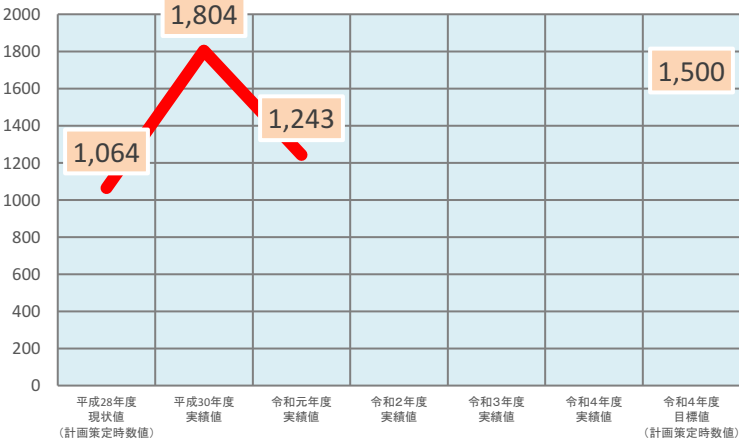
基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	4 公民館活動の充実
具体的施策	1 公民館事業の充実

数値目標名	公民館連絡協議会事業数	担当課	中央公民館
単位	事業	達成率	33.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2	達成度	D
平成30年度 実績値	3	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1	3.5 3 2.5 2 1.5 1 0.5 0 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3		

具体的施策	1 公民館事業の充実		
数値目標名	公民館利用者数	担当課	中央公民館
単位	人	達成率	92.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	387,090	達成度	B
平成30年度 実績値	374,850	推移グラフ	※公民館利用者数の目標値については、高齢者大学及び市民大学の活動拠点が中央公民館から新設予定の生涯学習センターに移行されることを考慮し、減じた数値となっています。
令和元年度 実績値	351,741		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	381,000		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

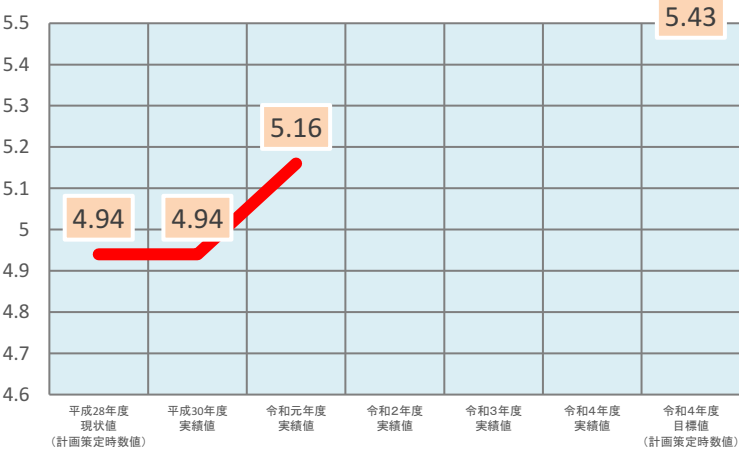
基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進																
施策	5 図書館サービスの充実																
具体的施策	1 「久喜市図書館サービス基本計画」の推進																
数値目標名	レファレンスに対する利用満足度	担当課	生涯学習課														
単位	%	達成率	80.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	51.9	達成度	C														
平成30年度 実績値	51.9	推移グラフ	 <table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>51.9</td><td>51.9</td><td>48.0</td><td></td><td></td><td></td><td>60.0</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51.9	51.9	48.0				60.0
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
51.9	51.9	48.0					60.0										
令和元年度 実績値	48.0																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	60.0																

具体的施策	1 「久喜市図書館サービス基本計画」の推進																		
数値目標名	学校への団体貸出冊数	担当課	生涯学習課																
単位	冊	達成率	82.9%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,064	達成度	C																
平成30年度 実績値	1,804	推移グラフ	 推移グラフのデータ: <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>1,064</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>1,804</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>1,243</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>1,500</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,064	平成30年度 実績値	1,804	令和元年度 実績値	1,243	令和2年度 実績値		令和3年度 実績値		令和4年度 実績値		令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,500
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,064																		
平成30年度 実績値	1,804																		
令和元年度 実績値	1,243																		
令和2年度 実績値																			
令和3年度 実績値																			
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,500																		
令和元年度 実績値	1,243																		
令和2年度 実績値																			
令和3年度 実績値																			
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,500																		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市図書館サービス基本計画」の推進

数値目標名	学校訪問事業実施学校数	担当課	生涯学習課
単位	校	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	13	達成度	A
平成30年度 実績値	18	推移グラフ	
令和元年度 実績値	23	推移グラフ: 学校訪問事業実施学校数の推移。平成28年度現状値13、平成30年度実績値18、令和元年度実績値23、令和4年度目標値23。	
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	23		

具体的施策	1 「久喜市図書館サービス基本計画」の推進		
数値目標名	人口一人あたりの貸出冊数	担当課	生涯学習課
単位	冊	達成率	95.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4.94	達成度	B
平成30年度 実績値	4.94	推移グラフ	 推移グラフ: 人口一人あたりの貸出冊数の推移。平成28年度現状値4.94、平成30年度実績値4.94、令和元年度実績値5.16、令和4年度目標値5.43。
令和元年度 実績値	5.16		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5.43		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	6 市民大学・高齢者大学の充実
具体的施策	1 市民大学の充実

数値目標名	市民大学入学者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	27.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	12	達成度	D
平成30年度 実績値	12	推移グラフ	
令和元年度 実績値	11		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

具体的施策 1 市民大学の充実

数値目標名	公開講座数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	109.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	11	達成度	A
平成30年度 実績値	11	推移グラフ	
令和元年度 実績値	12		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	11		

12.2

12

11.8

11.6

11.4

11.2

11

10.8

10.6

10.4

平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
11	11	12				11

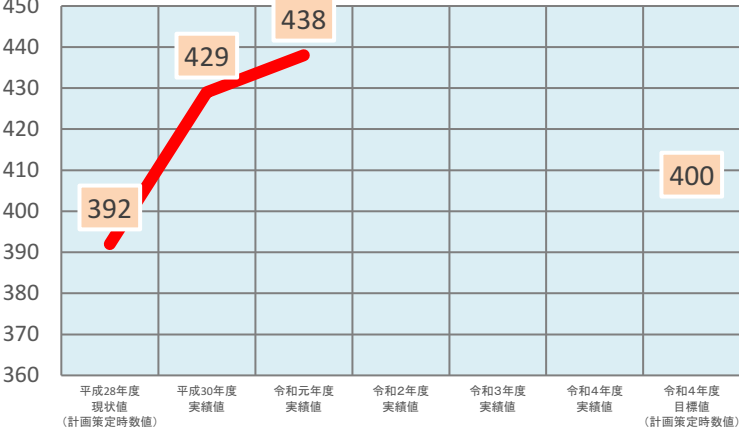
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

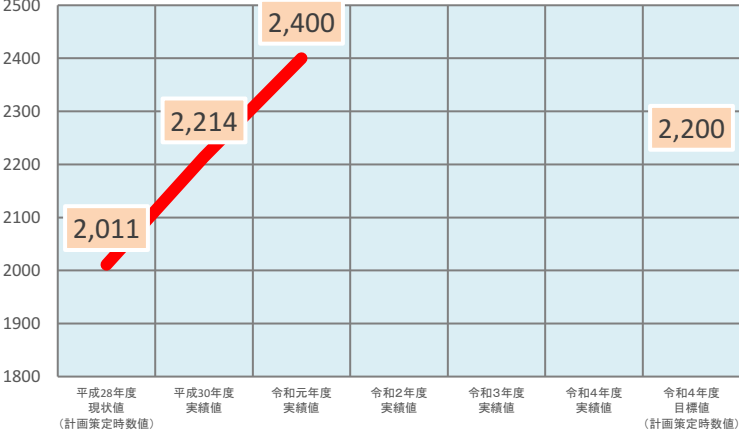
基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	6 市民大学・高齢者大学の充実
具体的施策	2 高齢者大学の充実

数値目標名	高齢者大学入学者数	担当課	生涯学習課													
単位	人	達成率	58.0%													
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	67	達成度	D													
平成30年度 実績値	56	推移グラフ														
令和元年度 実績値	58	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>67</td><td>56</td><td>58</td><td></td><td></td><td></td><td>100</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	67	56	58				100
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値		令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)									
67	56		58				100									
令和2年度 実績値																
令和3年度 実績値																
令和4年度 実績値																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100															

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	7 放課後子ども教室の推進
具体的施策	1 放課後子ども教室の推進

数値目標名	講座数	担当課	生涯学習課
単位	講座	達成率	109.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	392	達成度	A
平成30年度 実績値	429	推移グラフ	
令和元年度 実績値	438		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	400		

具体的施策	1 放課後子ども教室の推進		
数値目標名	サポーターの数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	109.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,011	達成度	A
平成30年度 実績値	2,214	推移グラフ	
令和元年度 実績値	2,400		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,200		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 生涯学習の機会の充実	180	子ども大学くきの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜青年会議所や平成国際大学、教育委員会が連携して、企画・運営を図り、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、「子ども大学くき」を実施しました。 開催期間:9月1日(日)、8日(日)、16日(祝・月) 対象者:小学4年生～6年生 参加者数:60人
	181	生涯学習出前講座の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・団体が主催する学習の場に講師が出向き、市政の説明、専門的な知識をいかした説明や実技指導等を実施しました。 講座メニュー数:65講座 実施件数:23件
2 市民大学・高齢者大学の充実	182	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.214) (継続的取組み)		生涯学習課	・特別講座として学長、副学長の講話の実施や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生:30講座11人、2年生:20講座11人)
	183	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.215) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を久喜地区7回、菖蒲地区2回、栗橋地区2回、鷺宮地区1回の計12回開催しました。主な講座として、「鷺宮神社と惟馬楽神楽」や「文字に書かれた久喜市の歴史」、「本多静六博士と渋沢栄一」、「菖蒲の遺跡と文化財」等、久喜の歴史や文化、自然環境や健康福祉等をテーマに実施しました。 (一般参加者数146人)
	184	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.216) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座等を実施しました。 (各学年講座等20日) (1年生48人、2年生42人、3年生38人、4年生49人)
	185	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.217) (継続的取組み)		生涯学習課	・学校行事の充実のため、グラウンドゴルフ大会や体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等を実施しました。
	186	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.218) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動を通し、趣味活動を積極的に支援しました。 ・ボランティア推進委員会による公共施設等の草取りやイベントへの参加協力など自主活動を実施しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・参加者数を大幅に上回り、抽選をするほど人気であった。異なる学年の子どもたちが、大学の教授や専門家の先生から普段学校では体験できない講義や実習を受けることを通じて、子どもたちの学ぶ力や生きる力を育み、知的好奇心の高揚が図られました。	・2日目の講座では、役割分担がうまく機能せず、暇を持て余す児童も見受けられた。学ばせる内容については、青年会議所、平成国際大学に委ねているので、学習内容についてあらかじめ把握しておく必要があります。	3	・参加者数については、大学の会場により限りがあるが、開催時期、開催日数、開催場所については、毎年度検討していきます。
・ホームページ等で広く市民に周知し、職員等が講師として、市民等に学習の機会を提供したことにより、市政への理解が図られ、また生涯学習活動を支援することができました。	・実施件数が減少しているため、市民、学校等への周知の仕方を工夫していくことが課題です。	3	・実施件数が減少しているため、引き続き、市民への周知を「生涯学習出前講座」のチラシを活用したり、校長会等で呼びかけたりしながら、参加啓発を図ります。
・生涯学習活動やボランティア活動等を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての資質を高めることができました。	・市民大学生の新入生を獲得すること、また、市民のニーズを把握して、魅力ある講座内容にすることが課題です。	3	・市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダーとなる人材を育成する市民大学・大学院を充実していきます。
・公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民の方にも聴講していただき、市民大学の講義の状況、活動の様子等を知ってもらう機会を提供することができ、前年度より参加者が増加しました。	・魅力ある講座にすることが、また、市民に広く周知することが課題です。	3	・今後も4地区で開催し、アンケートを実施して、参加者のニーズに合わせた内容となるように充実を図ります。
・アンケートの集計結果から講座満足度が概ね好評との結果を得ることができました。	・学生数の減少や、途中で退学してしまう学生も少なくないため、講座内容の更なる充実が課題です。	3	・実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高める高齢者大学を充実します。
・学校行事を行うことにより、在校生のクラス内の交流や異学年との交流を通して、連帯感を高めるとともに、学校生活の充実が図られました。	・学校行事の多忙感の増大が課題です。	3	・学生ニーズにあった魅力ある内容に充実していきます。 ・適切な役割分担を行うことで、多忙感が増大することのないように働きかけていきます。
・クラブ活動では、美術や音楽、スポーツ等の同好者が集い、活動することにより健康で豊かな活動をするとともに、友情の輪を広げることができました。 ・ボランティア活動では、ボランティア推進委員会により、ボランティア活動計画を編成し、学生による自主的な活動の充実が図られました。	・ボランティア活動の負担感の増大と新たな活動推進が課題です。	3	・新たな活動を展開するにあたっては、学生の意見を尊重しつつ、負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を促進していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 1 多彩な生涯学習機会の提供			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
3 生涯学習情報の収集と提供	187	生涯学習人材バンクの活用の促進 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民の学習要求に応えるため、豊富な知識や優れた技術を持った方を生涯学習の指導者として登録し、申請・要望に応じて指導者を紹介しました。 (相談件数:199件、登録者数:205人)
	188	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.196) (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行し、全戸配布しました。 まなびすと久喜 18号(8/1発行) まなびすと久喜 19号(1/1発行) 発行部数:各61,900部
4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援	189	生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・鷺宮高等学校を会場に、「「自分づくりと学び」とは」をテーマに、生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」を開催しました。 開催日:令和元年6月8日(土) 参加者:173人
	190	生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・鷺宮西コミュニティセンターを会場にして、「学びでつながる愛するわが街仲間たち」をテーマに生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を開催しました。 開催日:令和2年2月1日(土)・2月2日(日) 参加者:約2,600人
5 生涯学習活動団体の活性化の促進	191	社会教育関係団体の補助金交付 (継続的取組み)		生涯学習課	・青少年や成人に対して社会教育活動を行う団体を支援しました。 ボーイスカウト補助金 210,000円 子ども会育成連合会補助金 500,000円 PTA連合会補助金 300,000円 婦人会連合会補助金 520,000円 ガールスカウト補助金 70,000円

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 2 保護者の交流機会の提供・支援			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 子育てについての意見交換の場の充実	192	家庭教育学級の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・子育ての悩みや親子の関わり方等について、仲間と共に話し合える機会を提供するため、小・中学校のPTA及び幼稚園、保育園の保護者会が行う家庭教育活動に対し、補助金を交付しました。 交付団体数:31団体(小学校16校、中学校6校、保育園3園、幼稚園6園)
2 各種講演会等の充実	193	子育て講座(親の学習)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各小学校の就学時健康診断に併せて、子育て中の保護者を対象に、子育てに必要な知識やスキルを学ぶため、「子育て講座」を実施しました。 開催期間:10月、実施校:23校 参加者:1,106人

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・生涯学習等の相談者に対し、講座等を希望する指導者の紹介及び仲介することができました。	・相談件数が少ないため、人材バンクの活用を積極的にしてもらうよう、学校にも積極的に紹介するなど工夫が必要です。	3	・ホームページや各種事業において人材バンク登録制度を周知し、登録者の増加を目指します。
・全戸配布することにより、市民に広く生涯学習の取り組みや生涯学習施設、地域で活動するサークルの紹介等を情報提供することができました。	・編集委員が高齢化・固定化しているため、新たな人員の確保が課題です。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民に提供できるよう、今後も、年2回の発行を予定しています。 ・編集委員については、担当者が固定しないように工夫していきます。
・学校や子供たちを核にする地域コミュニティづくりについて、高校生やPTA、学校関係者等それぞれの立場から、ワークショップ形式による意見交換と協議を行い、生涯学習に対する意欲を喚起することができました。	・PTAの参加、高校生、市民大学生の参加は十分ですが、大学生や一般市民等、地域の方をどう巻き込んでいくかが課題です。	3	・フォーラムで話し合われたことから、学校・家庭・地域のそれぞれでできることを考え、実践に向けて検討していきます。
・日ごろの活動や学びの成果を発表することで、充実感を得られたとともに、他者の生涯学習への取り組みを目にすることで、自分自身の関心・意欲を高めることにもつながりました。	・開催日数、開催会場、参加者に見合った内容にしていくよう検討する必要があります。	3	・久喜市生涯学習推進計画に則った生涯学習活動の推進を図り、市民の生涯学習のつながりの場となるようにしていきます。
・各種団体の事業が円滑に運営され、団体事業の支援ができました。	・事業がより充実していくよう、各種団体へ事業の日時や事業内容を改めて見直すことを助言し、継続的に活動を支援していく必要があります。	3	・各種団体へ助言をしながら、社会教育関係団体の補助金を交付し、活動を支援していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・講座等の開催により子育てに関する学習する機会の提供と保護者同士の子育ての悩み等の情報共有や交流が図られました。	・保護者同士が安心して交流できるような環境を整えていく必要があります。	3	・子育て支援の講演会等を開催し、情報提供と交流の場の充実を図ります。
・家庭教育アドバイザー等による、講義やグループエンカウンター等の演習を通して、保護者一人ひとりが、親としての役割や責任を自覚し、子育てに関する必要な知識等の習得や保護者同士の交流が図られました。	・講義内容やグループエンカウンターの方法について、できるだけ保護者の要望に沿えるよう配慮する必要があります。	3	・子育て中の親が安心して研修会、講演会などの学びの機会に参加できるように内容にしていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 2 保護者の交流機会の提供・支援			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	194	家庭教育フォーラムの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・鷺宮総合支所会議室にて、「いのちを大切にすること」をテーマに、助産師による講義及びグループによる意見交換を開催しました。 開催日:令和元年11月5日(火) 参加者:63人

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 3 生涯学習環境の整備・充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 生涯学習施設の建物及び設備の整備・充実	195	社会教育施設の整備 (目標年度:令和4年度)		生涯学習課 中央公民館	・栗橋いきいき活動センターしずか館と栗橋公民館との統合に向けた検討を行いました。
2 生涯学習施設の利用促進	196	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.188) (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行し、全戸配布しました。 まなびすと久喜 18号(8/1発行) まなびすと久喜 19号(1/1発行) 発行部数:各61,900部
3 生涯学習センターの整備・充実	197	生涯学習センターの整備 (目標年度:未定)		生涯学習課	・なし

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 4 公民館活動の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 公民館事業の充実	198	公民館主催事業の実施 (継続的取組み)		中央公民館	・公民館主催事業として74事業を実施し、12,149人の参加がありました。 (下記は、各事業数と参加人数) ・中央公民館 6事業 1,564人 ・青葉公民館 7事業 787人 ・南公民館 7事業 641人 ・西公民館 7事業 1,276人 ・東公民館 8事業 2,127人 ・森下公民館 13事業 1,138人 ・栗橋公民館 13事業 2,641人 ・鷺宮公民館 13事業 1,975人

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・「思春期の子どもたちを理解する」をテーマに、講義やグループによる意見交換を行うことにより、思春期の子どもたちの現状を理解し、各家庭での「子育て」に対する悩みや思いについて話し合うことができました。	・参加者数が増えるような、ニーズにあった内容をテーマにしていくなどの課題があります。	3	・子育て世代の保護者が興味をもつような悩みや不安を解消するための内容にしていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・栗橋いきいき活動センターしずか館と栗橋公民館の今後のあり方は、栗橋駅東地区全体のまちづくりと一体的に取り組むことを市として決定しており、「栗橋駅東地区の土地利用及び当該区域内公共施設のあり方等に関する庁内検討会議」において検討できました。	・教育委員会の中だけにとどまらず、市長部局の各課とも、部局の枠を超えて検討していく必要があります。	B	・「栗橋駅東地区の土地利用及び当該区域内公共施設のあり方等に関する庁内検討会議」(都市計画課所掌)の中で検討していきます。
・全戸配布することにより、市民に広く生涯学習の取り組みや生涯学習施設、地域で活動するサークルの紹介等を情報提供することができました。	・編集委員が高齢化・固定化しているため、新たな人員の確保が課題です。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民に提供できるよう、今後も、年2回の発行を予定しています。 ・編集委員については、担当者が固定しないように工夫していきます。
・特にありません。	・市の方針が決定された後、教育委員会として再検討する必要があります。	D	・市の方針決定について、注視していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各公民館が特色ある事業を実施することで、市民の教養を向上させ、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興に寄与することができました。	・公民館単位で事業の企画・立案を行うため、同時期に類似事業を開催することがあります。	3	・今後も市民交流の場と学習の機会を提供するため、公民館運営委員制度を活用し、地域のニーズに応じた特色のある事業を実施します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 4 公民館活動の充実				
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	199	久喜市公民館連絡協議会主催事業の実施 (継続的取組み)		中央公民館	・公民館連絡協議会主催事業として、1事業を実施しました。 ・市民企画事業として、3事業を実施しました。
2 公民館運営の充実	200	公民館施設・設備改修工事等の実施 (目標年度:令和5年度)		中央公民館	・平成30年度に、令和5年度までの5か年計画として見直しを行った各公民館の修繕計画を、老朽化や不具合の進行具合に合わせ一部修繕内容の変更を行い、特に大規模改修を要する施設に関する修繕計画の方向性を検討しました。
	201	市民が利用しやすい管理運営の充実 (継続的取組み)		中央公民館	・各公民館において、施設の適正管理のため業務委託や物品の賃貸借を行いました。 ・生涯学習や地域活動の情報提供、窓口や電話での相談の対応、備品の貸出等を行いました。
3 公民館の適正配置の検討	202	公民館の適正配置の検討 (目標年度:令和4年度)		中央公民館	・栗橋公民館と栗橋いきいき活動センターしずか館との統合に向けた検討を行いました。 ・新市長及び新副市長の就任に伴い、平成30年10月に市長部局による栗橋公民館と栗橋いきいき活動センターしずか館の現況視察を行いました。

基本目標 施策	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 5 図書館サービスの充実				
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 「久喜市図書館サービス基本計画」の推進	203	市民の学習活動・課題解決に必要な図書館資料の充実 (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習に即応し、最新の情報を利用者の多様なニーズに沿って提供するため、資料の収集、蔵書の更新(図書資料(14,928冊)、視聴覚資料(324タイトル))を実施しました。 ・利用者の様々な疑問、調べものの課題解決に役立つ資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行いました。 (レファレンスに対する利用者満足度48.0%)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各公民館の館長並びに運営委員の代表委員からなる公民館連絡協議会が主催する共同事業を実施することで、各公民館の枠を超えた事業の実施を行うことができました。 ・従来型の提供する事業ではなく、市民が自ら企画、運営する事業を実施することで、生涯学習を身近に感じるとともに地域づくりへの参加の場を提供することができました。	・市民企画事業について、創設時は外部から専門家を招聘しての講座が中心でしたが、近年は内部講師による文化・スポーツ等の講座の割合が増えており、多彩な講座の内容を用意できるよう工夫する必要があります。	3	・市民企画事業の実施数及び講座の内容のさらなる拡大に向け、周知方法の工夫を図ります。
・現時点における各公民館の修繕計画を把握することにより、公民館全体として、今後の大規模改修を要する施設及び修繕内容について緊急性や優先度合いを検討し、予算要求に反映することができました。	・今後、公共施設個別施設計画の策定にあたり、各公民館の修繕計画の定期的な見直しに加え、市のアセットマネジメント推進本部による方針等を注視する必要があります。	B	・公共施設個別施設計画の策定(令和2年度まで)に合わせ、各公民館の修繕計画の方向性を引き続き検討します。
・利用者が公民館を快適に利用できる環境を維持することができました。 ・市民や利用者の相談に対し、職員や公民館補助委員が適切に応じることができました。	・施設の老朽化等に伴い、業務委託の内容等を従来以上に精査する必要があります。	3	・今後も利用者が公民館を快適に利用できるよう業務委託等を適切に実施していきます。 ・利用者の相談に対し、引き続き適切に応じます。
・現況視察後、栗橋駅東地区の土地利用及び当該区域内公共施設のあり方等について、庁内検討会議の設置が決定し、栗橋公民館と栗橋いきいき活動センターしずか館の統合が都市計画と一体となることが確認できました。	・栗橋公民館と栗橋いきいき活動センターしずか館の統合が都市計画と一体になったことにより、適正配置の検討に遅れが生じる可能性があります。 ・市のアセットマネジメント推進本部が市内公民館の適正配置数を検討しておりその動向を注視する必要があります。	B	・庁内検討会議には、教育部長をはじめ生涯学習課長、中央公民館長等の関係者が参加することから、教育委員会及び公民館としての意見を伝えていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内図書館各4館のニーズを踏まえ、各館が横の連携を図りながら各館の司書が選書を担当することで、利用者の学習活動・課題解決に必要な図書館資料の収集をすることができました。 ・レファレンス研修会へ参加して、専門能力の向上を図るとともに、専門職員の養成に努めることで、質の高いサービスを提供することができました。	・選書については、各館で行うだけではなく、引き続き全4館の横の連携を図っていく必要があります。 ・除籍については、各館で行うだけではなく、再活用に繋げて、できる限り現物処分を少なくする必要があります。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上が求められます。	3	・選書や除籍については、各館の司書同士の横の連携を図っていきます。 ・図書館のレファレンス機能を強化するとともに、課題解決型サービスの充実に努めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 5 図書館サービスの充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	204	市内小・中学校との連携の強化 (継続的取組み)		生涯学習課	・ブックトーク・おはなし会、小中学校への図書の団体貸出など、定例的な学校訪問事業の充実や、小学生の図書館見学や中学生の体験学習等の受入など、学校連携事業の充実及び実施回数の増などを積極的に行うことにより、子どもの読書活動を推進しました。 (学校への団体貸出冊数1,243冊) (学校訪問事業実施学校数23校【全小学校】)
	205	図書館ネットワーク体制の整備、連携の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民ニーズへの的確な対応や利用の向上を図るため、他の公共図書館や関連施設、関係機関・団体とのネットワーク体制の整備、連携を図りました。 (借受件数3,693件) (人口一人あたりの貸出冊数5.16冊)
	206	様々な利用者に対応したサービスの提供 (継続的取組み)		生涯学習課	・活字による読書が困難な利用者へのサービス向上を図るため、大活字図書(58冊)の収集を強化しました。 ・図書への興味、関心を喚起するイベントを様々な世代の市民を対象に実施しました。 (図書への興味、関心を喚起する事業への参加人数7回実施、参加者数128人)
2 「久喜市子ども読書活動推進計画」の推進	207	子どもの年齢や発達の段階に応じた図書資料の整備や事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・乳幼児期から読書に親しむことができるよう、図書だけではなく、様々な資料を収集し、子どもの読書環境を整備しました。 (絵本1,642冊、紙芝居26冊) ・読書の動機づけとなる事業を実施しました。 (読書の動機づけとなる事業への参加人数7回実施、参加者127人)
	208	子どもの読書活動への理解や関心を深めるための啓発事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・子どもたちを本の世界へといざない、おはなしや絵本の魅力を伝えるため、図書館、保育園、幼稚園などで「おはなし会」を実施しました。 (図書館でのおはなし会170回実施、参加者1,718人)
3 こども図書館の整備	209	こども図書館の整備 (目標年度:未定)		生涯学習課	・なし

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校訪問ブックトークを全小学校で実施することができました。ブックトークで紹介した本のリストを持って図書館へ借りに来る児童もいて、児童書貸出数の増加に繋がりました。 ・学校との連携を強化することで、児童生徒の読書傾向や学習内容を把握し、学校の要望に沿った資料を提供することができました。	・学校の教科書やカリキュラムに応じた適正な資料提供(団体貸出)が行えるよう、教職員と図書館との連携を強化する必要があります。	3	・学校訪問ブックトークは、引き続き全小学校で実施していきます。 ・児童生徒の学習支援のため、学校カリキュラムとの連携を図り、教科のテーマにあった貸出を実施していきます。
・利用者からのリクエストで、市立図書館に所蔵していない資料がある場合も、相互貸借により、利用者へ提供することができました。	・他の公共図書館や関連施設、関係機関・団体と連携・協力する必要があります。	3	・今後も県立図書館及び埼玉県内全域の公共図書館との相互協力体制により、資料の相互貸借を積極的に行い、利用者ニーズに応えていきます。
・大活字図書を新たに購入して、活字による読書が困難な利用者へ提供することができました。 ・様々な世代を意識したイベントを実施して様々な世代の方に来館してもらうとともに、イベントに関係のある図書等を紹介することで、図書への興味・関心を喚起することができました。	・高齢者、障がい者、外国人などへ配慮したサービスの提供に努める必要があります。 ・図書への興味・関心を喚起するイベントについては、今後も引き続き実施していく必要があります。	3	・大活字図書だけではなく、朗読CDや点字図書、LLブックなどの収集にも努めていきます。 ・図書への興味・関心を喚起するイベントについては、様々なアイデアを考えていきます。
・絵本や紙芝居を新たに購入して、乳幼児やその家族などへ提供することができました。 ・子どもの年齢や発達段階に応じたブックリストの作成や事業を実施することで、読書の動機づけを行うことができました。	・子どもの年齢や発達の段階に応じた資料の整備をしていく必要があります。 ・読書の動機づけを行うための事業については、引き続き実施していく必要があります。	3	・絵本や紙芝居だけではなく、DVDなどのデジタル資料の収集にも努めていきます。 ・読書の動機づけを行うための事業については、様々なアイデアを考えていきます。
・子どもを対象にしたおはなし会を実施することで、絵本の魅力や読書の楽しさを伝えることができました。	・おはなし会については、引き続き実施していく必要があります。 ・おはなし会に協力くださるボランティアに対して、人材の育成や情報提供など、活動を支援する必要があります。	3	・おはなし会については、内容の充実、質の向上に努めていきます。 ・ボランティアと連携を図りながら、スキルアップの研修を実施するなど活動を支援していきます。
・なし	・市の方針が決定された後、教育委員会として再検討する必要があります。	D	・市の方針を注視していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 5 図書館サービスの充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
4 図書館施設の充実	210	指定管理者が行う図書館施設・設備の修繕 (目標年度:令和元年度)		生涯学習課	・図書館利用者が、安全・快適に図書館を利用できるよう、指定管理者による図書館施設・設備の改修工事等(総額100万円未満)を実施しました。 (中央図書館10か所) (菖蒲図書館3か所) (栗橋図書室1か所) (鷺宮図書館5か所)
	211	市が行う図書館施設・設備の改修 (目標年度:令和元年度)		生涯学習課	・図書館利用者が、安全・快適に図書館を利用できるよう、図書館施設・設備の改修工事を実施しました。 (中央図書館2か所) (鷺宮図書館2か所)
	212	身近で図書館サービスを受けられるよう、地域で行えるサービスの検討 (目標年度:令和元年度)		生涯学習課	・図書館から遠隔地にお住まいの方でも、地域で受けられるサービスを検討しました。 ・電子書籍の閲覧システムを導入し、電子図書館サービスを開始しました。
	213	「読書のまち」を推進することについての検討 (目標年度:令和元年度)	○	生涯学習課	・令和元年度は「読書のまち」を推進することについての検討を行い、図書館にカフェを設置(自動販売機を設置するとともに、飲食コーナーを整備)しましたが、今後も読書のまちを推進していくため、今年度「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定しています。今後、この運営方針に基づく運営及び各種事業を実施することで、市全体で「読書のまち」を推進していきます。

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 6 市民大学・高齢者大学の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 市民大学の充実	214	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.182) (継続的取組み)		生涯学習課	・特別講座として学長、副学長の講話の実施や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生:30講座11人、2年生:20講座11人)
	215	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.183) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を久喜地区7回、菖蒲地区2回、栗橋地区2回、鷺宮地区1回の計12回開催しました。主な講座として、「鷺宮神社と惟馬楽神楽」や「文字に書かれた久喜市の歴史」、「本多静六博士と渋沢栄一」、「菖蒲の遺跡と文化財」等、久喜の歴史や文化、自然環境や健康福祉等をテーマに実施しました。 (一般参加者数146人)
2 高齢者大学の充実	216	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.184) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座等を実施しました。 (各学年講座等20日) (1年生48人、2年生42人、3年生38人、4年生49人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・施設・設備の修繕を行うことにより、図書館利用者が安全・快適に利用できるようになりました。	・日頃から施設の点検を行い、修繕箇所の把握をする必要があります。	B	・修繕箇所の洗い出しをするとともに、優先順位を付けて実施していきます。
・施設・設備の工事を行うことにより、図書館利用者が安全・快適に利用できるようになりました。	・日頃から施設の点検を行い、工事箇所の把握をする必要があります。	B	・工事箇所の洗い出しをするとともに、優先順位を付けて実施していきます。
・電子図書館サービスの開始により、インターネットに繋がったパソコン、スマートフォン、タブレットがあれば、図書館に来館することなく、自宅にいながら読書をするできるようになりました。	・電子書籍の充実を図り、利用者の要望に応じていく必要があります。	B	・電子書籍については、引き続きコンテンツの充実に努めていきます。
・自動販売機の設置及び飲食コーナーの整備により、快適でゆとりのある読書空間を提供することができました。	・今後、「読書のまち」を推進していくためには、施設面のみならず様々な事業、サービスを充実させていく必要があります。	B	・「読書のまち」を推進するため、様々なアイデアを考えていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・生涯学習活動やボランティア活動等を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての資質を高めることができました。	・市民大学生の新入生を獲得すること、また、市民のニーズを把握して、魅力ある講座内容にしていことが課題です。	3	・市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダーとなる人材を育成する市民大学・大学院を充実していきます。
・公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民の方にも聴講していただき、市民大学の講義の状況、活動の様子等を知ってもらう機会を提供することができ、前年度より参加者が増加しました。	・魅力ある講座にしていこと、また、市民に広く周知することが課題です。	3	・今後も4地区で開催し、アンケートを実施して、参加者のニーズに合わせた内容となるように充実を図ります。
・アンケートの集計結果から講座満足度が概ね好評との結果を得ることができました。	・学生数の減少や、途中で退学してしまう学生も少なくないため、講座内容の更なる充実が課題です。	3	・実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高める高齢者大学を充実します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 6 市民大学・高齢者大学の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	217	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.185) (継続的取組み)		生涯学習課	・学校行事の充実のため、グラウンドゴルフ大会や体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等を実施しました。
	218	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.186) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動を通し、趣味活動を積極的に支援しました。 ・ボランティア推進委員会による公共施設等の草取りやイベントへの参加協力など自主活動を実施しました。

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 7 放課後子ども教室の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 放課後子ども教室の推進	219	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが健やかにはぐくまれる環境づくりの推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・運営委員会、実施委員会を開催しました。 (講座数438、サポーター数2,400人) ・放課後子ども教室における円滑な運営を図るため、情報交換会を実施しました。 (情報交換会1回、103人)
	220	安全・安心な活動拠点の確保と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・学校関係者、実施委員、サポーター等を対象に他のゆうゆうプラザを参観する見学会や情報交換会を実施しました。 ①ゆうゆうプラザ見学会(23校)(参加者数251人) ②情報交換会(全体会)(参加者数103人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校行事を行うことにより、在校生のクラス内の交流や異学年との交流を通して、連帯感を高めるとともに、学校生活の充実が図られました。	・学校行事の多忙感の増大が課題です。	3	・学生ニーズにあった魅力ある内容に充実していきます。 ・適切な役割分担を行うことで、多忙感が増大することのないように働きかけていきます。
・クラブ活動では、美術や音楽、スポーツ等の同好者が集い、活動することにより健康で豊かな活動をするとともに、友情の輪を広げることができました。 ・ボランティア活動では、ボランティア推進委員会により、ボランティア活動計画を編成し、学生による自主的な活動の充実が図られました。	・ボランティア活動の負担感の増大と新たな活動推進が課題です。	3	・新たな活動を展開するにあたっては、学生の意見を尊重しつつ、負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を促進していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各実施委員会の実施により円滑な運営に係る情報を相互に共有することができました。 ・運営委員会では、情報交換会を実施し、ゆうゆうプラザの事例発表や情報交換を行うことにより、講座のあり方や工夫、安全な指導と対応等を学習することができました。 ・それぞれのゆうゆうプラザでは、サポーター数が増加するとともに、子どもたちの興味・関心を考えた講座も増え、地域の方と友達と楽しく学んだり遊んだりすることができました。 ・開設15周年記念事業を実施しました。式典では、これまでの功績を讃えるとともに、ゆうゆう子どもまつりでは、1000人を超える人でにぎわいました。	・講座を開催するにあたっての、指導者・サポーターの確保、児童が興味をもつ講座内容の工夫が課題です。	4	・学校・家庭・地域の連携をもとに、放課後子ども教室の活動の充実を図ります。
・ゆうゆうプラザ見学会を実施し、他のゆうゆうプラザで行われている講座の現状を知ることができ、今後の講座を考えるきっかけとなるとともに、各ゆうゆうプラザの活動状況やサポーターの人材確保、安全管理等を学習することができました。	・情報交換会については、内容の検討や会場の検討、見学会については、日程の調整や参加者数が課題です。	3	・今後も、子どもたちの安全・安心な活動拠点として、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会の提供を図ります。

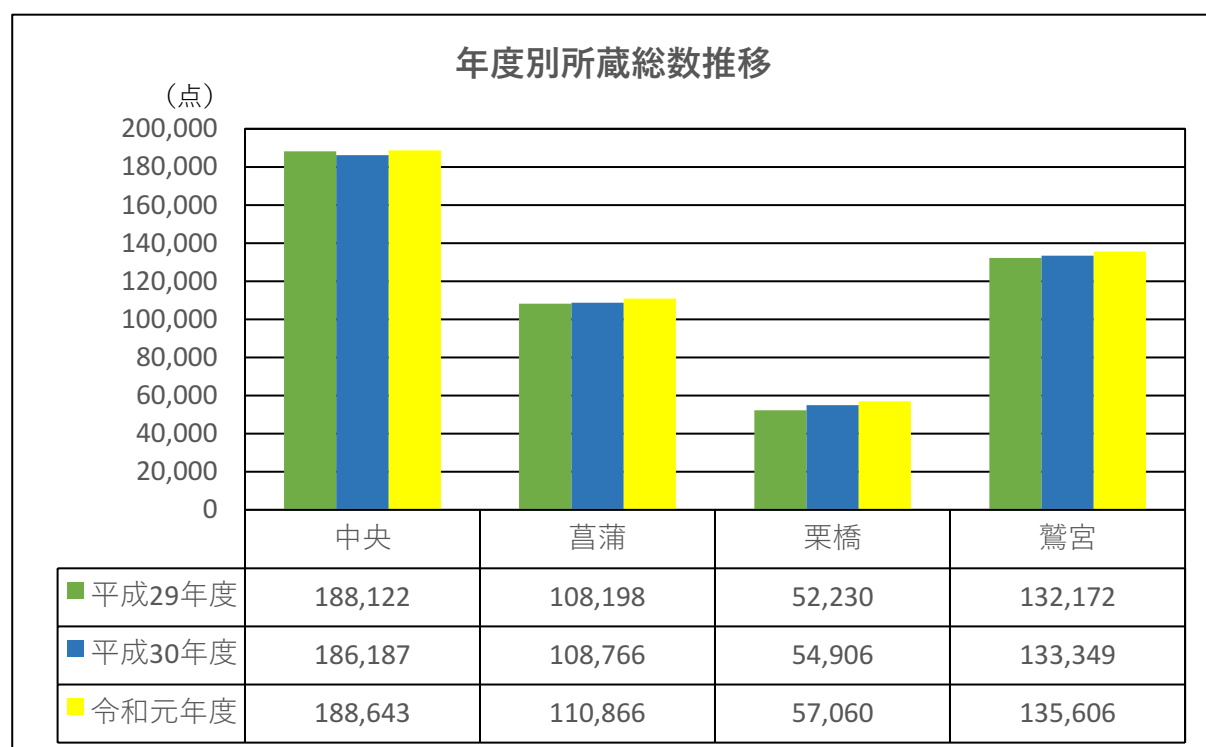
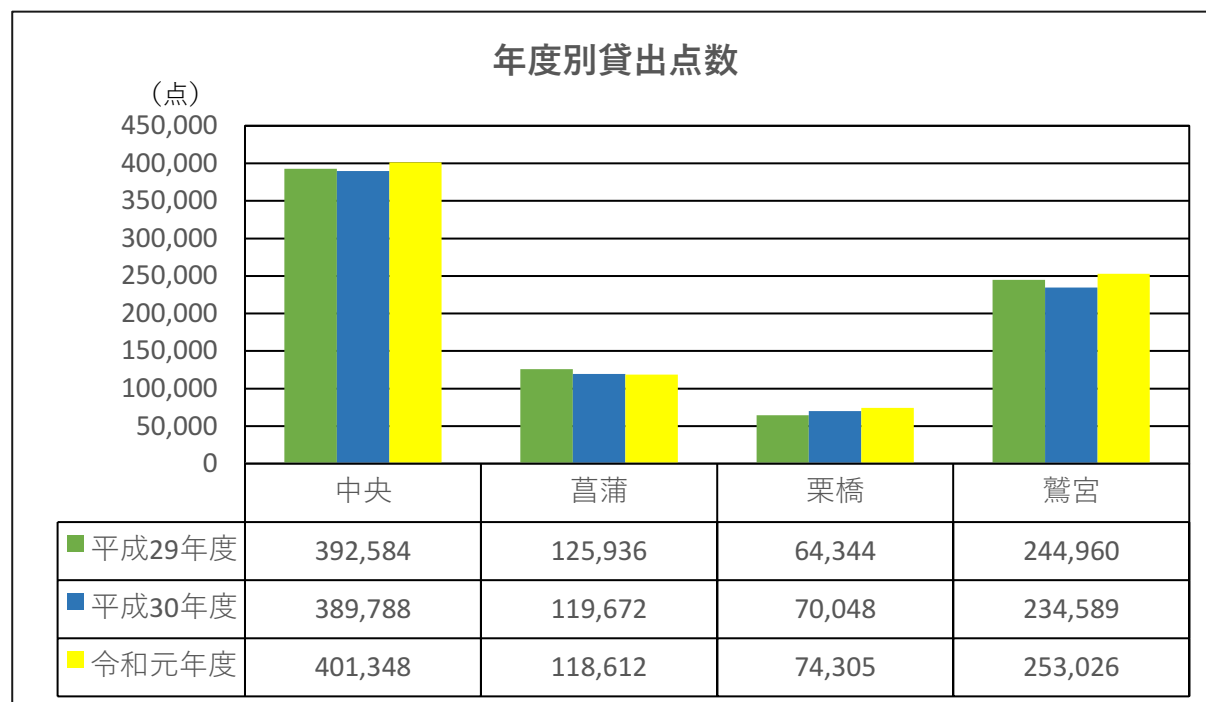
久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 7 放課後子ども教室の推進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 放課後子ども総合プランの推進	221	放課後子ども総合プランの実現に向けた連携と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と、学習や体験・交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・放課後子ども教室を開催するにあたる、放課後児童クラブと連携して実施することができました。	・小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携方策等について検討する必要があります。 ・放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加するように、講座内容等を工夫したり、学童との連携を一層図る必要があります。	3	・学校教育に支障が生じないよう、余裕教室や放課後等に一時的に使われていない特別教室等の活用を促進していきます。 ・合併により、統廃合となる学校の放課後子ども教室の運営について、実施委員長の意向も考慮して、在り方について考えていきます。

平成29年度～令和元年度 図書貸出・所蔵数推移



基本目標6

歴史・文化の継承と活用

基本目標の概要

多様な文化芸術活動を支援するとともに、市民が文化芸術に触れることができる機会の充実を図ります。また、市の文化的・歴史的資産を未来に継承するとともに、地域の活性化に役立てます。

施策

- 1 文化芸術団体の育成・支援 2 文化芸術活動等の充実
- 3 地域文化資源の発掘 4 文化財の保存・継承
- 5 文化財の活用 6 郷土資料館の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 14 ○数値目標 7 ○取組み 22

担当課

○生涯学習課 ○文化財保護課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全7件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	4	57.1%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	3	42.9%

継続的 取組み (全19件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	19	100.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全3件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	2	66.7%
	D	計画倒れ・中止となった	1	33.3%

学識経験者の意見

数値目標における点検・評価について、美術展出品者数と入場者数が若干減少しており、現状値から減少傾向にあり気になります。

点検評価調書につきましては、久喜市の歴史、文化、芸術を多くの市民に周知する広報活動、情報発信が様々な事業により効果的に行われていると思います。歴史講座の開催や郷土資料館だよりの発行、古文書学習会の開催など、久喜市の歴史を多くの市民に知らせる場としてよい取組だと言えます。久喜市の歴史を知ること、ふるさととしてどんな街なのかを知ることが、新たに市民となった方にとっても重要なことであると思います。これらの事業は、学校で机に向かいながら本を開くより、はるかに楽しいのではないかと思います。現在、新型コロナウイルス感染で外出が控えられていますので、例えば市の歴史動画「これを見れば久喜市の歴史がわかる」などのような新しいコンテンツなどの準備もあるとよいと思います。

文化芸術活動の成果発表事業としての街かどコンサートでは、参加者数は平成30年度と同様2,000人を超えています。多くの市民の他、他市町の方も参加・視聴できる素晴らしい発表の場となっています。タイトルにあります「街かど」、つまり開催する場所をうまく選定し、魅力ある、そして気楽に参加できるコンサートにしていると思います。

久喜市には多くの文化団体が活動し、自主的に発表会や活動を行うことで、地域の文化振興に貢献しています。各文化団体への経済的な支援や、文化財保護事業に対する経済的支援については、各活動の維持・発展に大きな役割を果たしています。今後も継続していく必要があると思います。

また久喜市は、歴史・文化ともに素晴らしいものがあると思います。人数などの数値による効率性や評価だけでは判断できない価値ある催しだと思いますので、今後も各種事業について自信を持って進めていただければと思います。

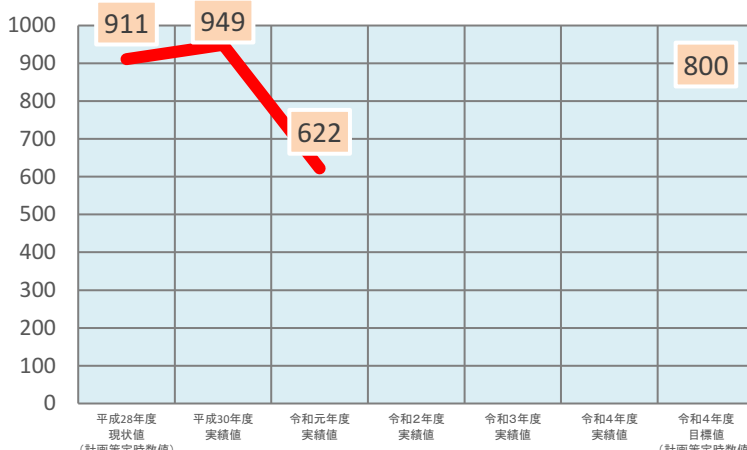
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

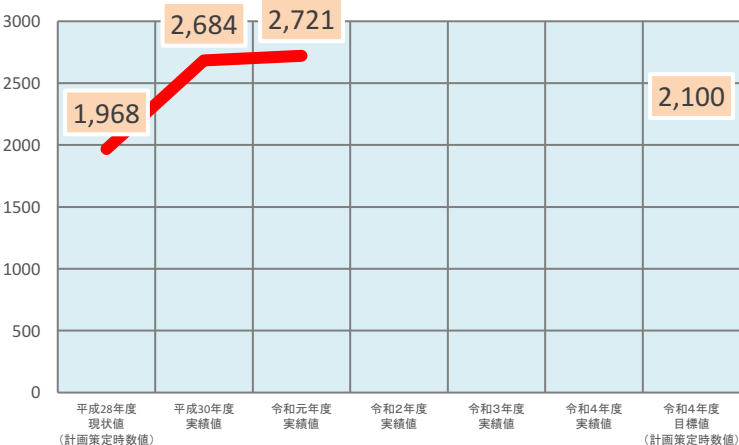
基本目標 施策 具体的施策	6 歴史・文化の継承と活用 2 文化芸術活動等の充実 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実		
数値目標名	久喜市美術展出品者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	78.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	379	達成度	D
平成30年度 実績値	365	推移グラフ	450 379 365 354 500 450 400 350 300 250 200 150 100 50 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	354		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	450		

具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実		
数値目標名	久喜市美術展入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	62.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,135	達成度	D
平成30年度 実績値	1,819	推移グラフ	2,800 2,135 1,819 1,739 3000 2500 2000 1500 1000 500 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	1,739		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,800		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	2 文化芸術活動等の充実
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	市民芸術祭入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	77.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	911	達成度	D
平成30年度 実績値	949	推移グラフ	※第2期計画の数値目標設定時に、平成25～27年度の実績値が800人に届かず、第1期計画の目標値850人を下回る結果となっていたため、過去の実績を踏まえ、数値目標を800人と設定しています。
令和元年度 実績値	622		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	800		

具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実		
数値目標名	吹奏楽フェスティバル 入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	129.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,968	達成度	A
平成30年度 実績値	2,684	推移グラフ	
令和元年度 実績値	2,721		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,100		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用		
施策	2 文化芸術活動等の充実		
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実		
数値目標名	街かどコンサートの実施回数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	112.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7	達成度	A
平成30年度 実績値	9	推移グラフ	推移グラフ: 街かどコンサートの実施回数の推移。縦軸は0から10、横軸は平成28年度（現状値）から令和4年度（目標値）まで。データポイント: 平成28年度(7), 平成30年度(9), 令和元年度(9), 令和4年度(8)。赤い線が7から9まで伸び、その後横ばいになり、最後は8まで下がります。
令和元年度 実績値	9		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用																
施策	4 文化財の保存・継承																
具体的施策	3 指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援																
数値目標名	郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数	担当課	文化財保護課														
単位	回	達成率	101.3%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	377	達成度	A														
平成30年度 実績値	405	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>377</td><td>405</td><td>385</td><td></td><td></td><td></td><td>380</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	377	405	385				380
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
377	405	385					380										
令和元年度 実績値	385																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	380																

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用																	
施策	6 郷土資料館の充実																	
具体的施策	1 展示の実施等による所蔵資料の活用																	
数値目標名	郷土資料館の入館者数	担当課	文化財保護課															
単位	人	達成率	111.8%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7,766	達成度	A															
平成30年度 実績値	8,880	推移グラフ	<table><tr><th>年度</th><th>数値</th><th>種類</th></tr><tr><td>平成28年度</td><td>7,766</td><td>現状値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>8,880</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>8,835</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>7,900</td><td>目標値 (計画策定時数値)</td></tr></table>	年度	数値	種類	平成28年度	7,766	現状値 (計画策定時数値)	平成30年度	8,880	実績値	令和元年度	8,835	実績値	令和4年度	7,900	目標値 (計画策定時数値)
年度	数値	種類																
平成28年度	7,766	現状値 (計画策定時数値)																
平成30年度	8,880	実績値																
令和元年度	8,835	実績値																
令和4年度	7,900	目標値 (計画策定時数値)																
令和元年度 実績値	8,835																	
令和2年度 実績値																		
令和3年度 実績値																		
令和4年度 実績値																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	7,900																	

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 1 文化芸術団体の育成・支援			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 文化芸術団体の活動支援及び育成	222	文化団体の育成支援 (継続的取組み)		生涯学習課	・市内4地区の文化団体に、次のとおり補助金を交付しました。 ①久喜文化団体連合会 975,000円 ②菖蒲町文化団体連合会 820,000円 ③栗橋文化協会 820,000円 ④鷲宮文化団体連合会 620,000円

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 2 文化芸術活動等の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実	223	美術展(絵画等・書・写真)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・美術展を以下のとおり実施しました。 【絵画・彫刻・工芸】 開催日:R元. 9. 26(木)～9. 30(月) 会場:久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数102点、入場者数744人) 【書】 開催日:R元. 10. 23(水)～27(日) 会場:久喜総合文化会館広域文化展示室・視聴覚ライブラリー室・研修室3 (出品数125点、入場者数436人) 【写真】 開催日:R元. 11. 13(水)～18(月) 会場:久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数127点、入場者数559人)
	224	市民芸術祭の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民芸術祭を以下のとおり実施しました。 開催日:R2. 1. 26(日) 会場:久喜総合文化会館小ホール (出演団体17組(一般応募14団体、個人1人、市内中学校演劇部、市内幼稚園合奏)) (入場者数622人)
	225	吹奏楽フェスティバルの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として第29回吹奏楽フェスティバルを以下のとおり実施しました。 開催日:R元. 11. 10(日) 会場:久喜総合文化会館大ホール ≪出演団体17団体(12組)≫ ①久喜南中学校 ②久喜中学校 ③栗橋東中学校 ④久喜東中学校・太東中学校 ⑤鷲宮高等学校・久喜北陽高等学校・鷲宮中学校・鷲宮西中学校 ⑥鷲宮東中学校 ⑦菖蒲中学校・菖蒲南中学校 ⑧久喜高等学校 ⑨久喜シンフォニックウインズ ⑩不動岡高等学校 ⑪花咲徳栄高等学校 ⑫文教大学 (出演順) (延べ入場者数2,721人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・4地区の文化団体に補助金を交付することで、各地区ごとに立案した市民文化祭などの文化事業を、各団体自らの手で実施することができました。	・合併後の新市としての文化団体という意識を、さらに醸成していく必要があります。	3	・各地区の文化団体の横の連携を図るための仕組みを検討していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・絵画、彫刻、工芸、書及び写真等の文化芸術の分野で活動する方に、日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に絵画、彫刻、工芸、書及び写真等の文化芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・出品数及び来場者数の増加につながる施策を検討していく必要があります。 ・各地区の文化団体連合会の会員ではない一般の方からの出品につながる施策を検討していく必要があります。	3	・募集方法や事業の周知方法の見直しを検討していきます。
・市内で活動するフラダンス、ダンス、合唱、舞踊、民謡、合奏、演劇などの表現芸術団体及び個人に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に舞台表現芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・出演者の選定や観客数の増加につながる施策を検討していく必要があります。	3	・出演者の募集方法・実施方法及び事業内容等の見直しを検討していきます。
・中学や高等学校・社会人団体などの吹奏楽団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民や県民に、良質でレベルの高い吹奏楽演奏を鑑賞する機会を提供することができました。 ・初めての試みとして、昼の休憩時間中に、会場屋外の広場で少人数のアンサンブル演奏を行い、計6バンドによる演奏は、大変好評を得ました。	・実行委員会の会議において、新しい試みの提案(例えば、来場者参加企画の実施など)がなされているので、検討する必要があります。	3	・来場者参加企画の実施について検討していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 2 文化芸術活動等の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	226	街かどコンサートの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・街かどコンサートを以下のとおり実施しました。 ①H31. 4. 6(土)開催 75人参加 会場:毎日興業アリーナ久喜 内容:オカリナ・フルート演奏 ②R元. 5. 11(土)開催 173人参加 会場:久喜総合文化会館ふれあい広場 内容:ウクレレ演奏 ③R元. 6. 15(土)開催 68人参加 会場:菖蒲総合支所 内容:オカリナ・ギター演奏 ④R元. 6. 22(土)開催 153人参加 会場:菖蒲総合支所 内容:バンド演奏 ⑤R元. 9. 29(日)開催 73人参加 会場:東鷺宮駅東口けやき広場 内容:バンド演奏 ⑥R元. 10. 5(土)開催 408人参加 会場:アリオ鷺宮エコ広場 内容:吹奏楽・合唱・バンド演奏 ⑦R元. 10. 20(日)開催 69人参加 会場:カメラ&スタジオ太陽堂駐車場 内容:歌とダンスのパフォーマンス ⑧R元. 12. 8(日)開催 1,048人参加 会場:モラージュ菖蒲 内容:ダンス・ピアノ・バンド演奏等 ⑨R2. 3. 22(日)中止 会場:久喜マラソン沿道
2 市民ギャラリーの設置	227	市民ギャラリーの設置に向けた検討 (目標年度:未定)		生涯学習課	・なし

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 3 地域文化資源の発掘			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 調査報告書の刊行	228	歴史ブックレットの刊行 ※再掲(連番No.229) (継続的取組み)	○	文化財保護課	・『久喜市の歴史と文化財① 日光道中栗橋宿・栗橋関所』を刊行しました。 (刊行部数500部) ・上記刊行物の電子版を市ホームページで公開しました。
2 歴史的な地域文化資源の情報の発信	229	歴史ブックレットの刊行 ※再掲(連番No.228) (継続的取組み)	○	文化財保護課	・『久喜市の歴史と文化財① 日光道中栗橋宿・栗橋関所』を刊行しました。 (刊行部数500部) ・上記刊行物の電子版を市ホームページで公開しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市民が気軽に音楽に触れる機会を提供することができました。 ・市民等の音楽演奏愛好者の方に、活動の場を提供することができました。	・若い世代の演奏登録者の掘り起こしをしていく必要があります。 ・出演者同士が交流できるような機会を設定する必要があります。	3	・演奏登録者の募集について積極的な働きかけを検討していきます。 ・出演者同士の横の連携や、合奏あるいは助演などの様々な演奏スタイルができるようにするため、交流会などのような場の設定を検討していきます。
・特にありません。	・市の方針が決定された後、教育委員会として再検討する必要があります。	D	・市の方針決定について、注視していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・地域の文化資源として活用できるようになりました。 ・ホームページの掲載により多くの人に紹介することができました。	・継続的に調査研究を進めていく必要があります。	3	・継続的に刊行できるよう調査研究を進めていきます。
・地域の文化資源として活用できるようになりました。 ・ホームページの掲載により多くの人に紹介することができました。	・継続的に調査研究を進めていく必要があります。	3	・継続的に刊行できるよう調査研究を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 3 地域文化資源の発掘			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
3 市史編さんの検討	230	編さん資料の基礎情報の整理 (目標年度:令和2年度)		文化財保護課	・なし

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 4 文化財の保存・継承			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 指定文化財の保護活動への支援	231	指定文化財の管理等に対する補助等 (継続的取組み)		文化財保護課	・指定文化財の維持等のために所有者・管理者に交付金を交付しました。 (対象58件、実績52件) ・無形民俗文化財等の保存団体等に補助金を交付しました。 (対象9件、実績9件)
2 埋蔵文化財包蔵地の適切な保存	232	試掘調査の実施 (継続的取組み)		文化財保護課	・開発行為等により埋蔵文化財が破壊されないように、事前に試掘調査を実施して埋蔵文化財の所在を確認しました。 (試掘調査件数12件)
3 指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援	233	郷土伝統芸能の伝承活動支援 (継続的取組み)		文化財保護課	・神楽、獅子舞、囃子等の保存団体が主体的に実施する伝承活動を支援するため、指導者謝金を交付しました。 (対象20団体、実績18団体、385回開催)
	234	鷺宮催馬楽神楽伝承教室の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・鷺宮催馬楽神楽伝承教室を開催しました。 (9月4日から10月27日までの10回実施) (参加者数延べ47人) ・鷺宮文化祭にて成果を発表しました。

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 5 文化財の活用			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 指定文化財に関する情報の発信	235	「広報くき」やホームページなどでの情報の発信 (継続的取組み)		文化財保護課	・「広報くき」に毎月「久喜歴史だより」を連載しました。 (「広報くき」12回掲載) ・ホームページやSNSで文化財の情報を発信しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・特にありません。	・令和2年度の目標達成に向けて整理を進めていく必要があります。	C	・編さん資料の基礎情報の整理を進めていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・指定文化財の日常的な維持・管理に資することができました。 ・無形民俗文化財等の継承・伝承に資することができました。	・文化財を適切に保護するため、継続的に支援をしていく必要があります。	3	・文化財を適切に保護するために継続的に支援をしていきます。
・試掘調査の実施により、埋蔵文化財包蔵地を適切に保存することができました。	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、開発事業者等と調整を図っていく必要があります。	3	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、必要に応じて試掘調査を実施していきます。
・保存団体の伝承活動を活性化させるとともに、後継者の育成に寄与することができました。	・対象団体全てが実施するように働きかけていく必要があります。 ・今後も引き続き支援していく必要があります。	3	・郷土伝統芸能が継続していくように、引き続き伝承活動を支援していきます。
・鷲宮催馬楽神楽の周知と後継者育成の一助とすることができました。	・今後も一人でも多くの方々に鷲宮催馬楽神楽を周知するとともに、後継者育成に努めていく必要があります。	3	・後継者育成につながるよう、継続的に鷲宮催馬楽神楽伝承教室を開催します。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・文化財の情報を様々な媒体を用いて周知することができました。	・引き続き情報を発信していく必要があります。	3	・引き続き「広報くき」に連載をしていきます。 ・引き続きホームページやSNSで文化財の情報を発信していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 5 文化財の活用			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	236	文化財講座の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・文化財講座「久喜の天王様(提灯祭)の見方」を開催しました。 (開催日7月6日(土)、受講者数44人)
	237	市指定文化財「吉田家水塚」の公開 (継続的取組み)		文化財保護課	・毎週木・土・日曜日に定例の公開を行いました。 (公開日154日) ・定例公開日以外にも団体見学を随時受け付けました。 (団体見学6件、236人)
2 指定文化財の説明板の整備	238	指定文化財説明板の設置等 (継続的取組み)		文化財保護課	・市指定文化財説明板1件を建替えました。 (炮烙地蔵)
3 「歴史文化基本構想」策定の検討	239	文化財調査などの情報整理 (目標年度:令和2年度)		文化財保護課	・なし

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 6 郷土資料館の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 展示の実施等による所蔵資料の活用	240	特別展等の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・合併10周年記念特別展(第10回特別展)「久喜市の大絵馬―描かれた庶民の「願い」と「感謝」のかたち―」を開催しました。 開催期間:10月10日(木)~12月8日(日) 開催日数:48日、入館者数:2,849人 ・収蔵品展「ちょっとむかしの道具たち」を開催しました。 開催期間:2月1日(土)~3月26日(木) 開催日数:45日、入館者数:858人 ・スポット展 ①「平成の郷土かるた」、 ②「古文書から読み解く久喜市の歴史」、 ③「昔のおもちゃを見てみよう」を開催しました。 開催期間:①4月27日(土)~7月31日(水)、②8月10日(土)~9月29日(日)、 ③11月8日(金)~12月22日(日) 開催日数:①79日、②40日、③38日

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・詳細な文化財情報を周知することができました。	・市民ニーズも把握しながら講座を実施していく必要があります。	3	・アンケートなどを通じて、市民ニーズも把握しながら、引き続き文化財講座を開催していきます。
・市指定文化財として適切に保存・活用し、周知することができました。	・指定文化財として保存を前提としながら見学者を増やしていく必要があります。	3	・指定文化財として保存を前提としながら公開を行い、見学者数が増えていくように展示替えや広報を行っていきます。
・現地で文化財を見学する人に文化財の情報を伝えることができました。	・老朽化している説明板の更新をしていく必要があります。	3	・老朽化している説明板の更新も含めて、今後も引き続き説明板を設置していきます。
・特にありません。	・令和2年度の目標達成に向けて整理を進めていく必要があります。	C	・文化財調査成果データの整理をしていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・特別展や収蔵品展・スポット展などの開催を通して、久喜市の歴史、民俗や昔の生活の様子について分かりやすく紹介することができました。	・郷土資料館に求められるニーズを把握し、より多くの市民に久喜市の魅力や郷土の歴史、文化を紹介して、郷土に対する愛着心を醸成する必要があります。	3	・今後も郷土資料館収蔵資料の調査や検討を重ね、市民に魅力ある展示を実施していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用

施策 6 郷土資料館の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	241	久喜市立郷土資料館だよりの発行 (継続的取組み)		文化財保護課	・久喜市立郷土資料館だより「笛の音」第9号、第10号を作成しました。 作成日:第 9号:10月20日(日) 作成日:第10号: 3月10日(火)
2 市の歴史を紹介する講座の開催等	242	歴史講座等の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・合併10周年記念特別展(第10回特別展)の関連講座として「解説!久喜市の大絵馬」を開催しました。 開催日:11月30日(土) (参加者数30人)
	243	古文書学習会の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・古文書学習会を開催しました。 開催期間:5月24日(金)~3月6日(金) 開催回数:11回実施 (参加延べ人数309人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・久喜市立郷土資料館だより「笛の音」を通じて、郷土の歴史や文化並びに郷土資料館事業を広く市民に周知することができました。	・久喜市立郷土資料館だより「笛の音」を多くの市民に認知してもらい、久喜市の歴史や文化を身近に感じられるようにしていく必要があります。	3	・今後も久喜市立郷土資料館だより「笛の音」を通じて、郷土の歴史や文化並びに郷土資料館を認知していただけるように発行していきます。
・市内の大絵馬について講義をいただき、理解を深めることができました。	・市民の郷土の歴史や文化への関心を高め、郷土に対する愛着心を醸成する必要があります。	3	・今後も引き続き、特別展に関する講義を行うことにより展示内容をより理解しやすくするとともに、郷土の歴史や文化に興味を持っていただける手がかりとして開催していきます。
・郷土資料館で収蔵している古文書を読み解くことで、市民に郷土の歴史に関心を持ってもらう機会を提供することができました。	・古文書学習会を継続的に取り組んでいくことにより、古文書の整理ボランティアに登録してもらい、古文書整理ボランティア活動に生かしていく必要があります。	3	・今後も引き続き、古文書を読み解くことで郷土に対する関心を持ってもらうために開催していきます。

基本目標7

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

基本目標の概要

市民が生涯にわたって心身とも健康で活力に満ちた生活を営めるように、久喜市スポーツ推進計画に基づいて、「する」「みる」「ささえる」といった多様なスポーツへの関わり方を推進し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる各種団体の活動の支援等、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくりに努めます。

施策

- 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
- 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
- 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進
- 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

4つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 10 ○数値目標 4 ○取組み 11

担当課

○スポーツ振興課 ○中央公民館

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	25.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	3	75.0%

継続的 取組み (全10件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	5	50.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	3	30.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	2	20.0%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	1	100.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

スポーツ・レクリエーション活動を進めるためには、安全安心な施設の維持が必要です。社会体育施設の管理が適切に行われ、市民の活用がなされました。これからも、施設の維持管理及びスポーツ施設の利用のしやすさの向上を図るための工夫もお願いしたいと思います。年齢に関係なく、また、障害者がスポーツ施設の利用促進を図るため、スポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを行っていただき、誰でも参加できる取組を引き続きお願いしたいと思います。

社会の構造や生活環境が変化する中で、健康・体力づくりや生活習慣病の予防、地域の活性化などにスポーツの果たす役割が期待されております。平成28年度に「久喜市スポーツ推進計画」が策定され、4年目を迎えました。この計画の基本理念、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもスポーツを～生涯スポーツ推進のまち・久喜市～」のもと、市民が健康と活力に満ちた生活が送れるような取組を、残りの年度も推進していただきたいと思います。

スポーツや運動を親しんでいる市民の方は大勢いらっしゃいます。しかし自ら進んでスポーツや運動に取り組まれない方もいらっしゃいます。健康や体力の保持・増進、そしてスポーツに楽しみを求め、健康づくりや社交の場としてスポーツを行うことによって、毎日の充実や生きがいに結びつくもので、これからの高齢化社会において必要なことです。多くの市民の方が、気軽にスポーツや運動に参加する取組を継続していただきたいと思います。

現在、文部科学省に設置されている学校における働き方改革推進本部にて、部活動の改革について議論がなされています。このことは、地域のスポーツ団体とも深く関わることであり、具体的には休日の部活動を地域移行していこうというものであります。学校の先生方の負担を軽減し、働き方改革に繋げる意図があるようですが、学校から部活動を切り離して地域に移管することには、たくさんの壁があるようにも思います。そのためにも、今から準備が必要であると思いますので、文部科学省の研究内容と合わせて久喜市のモデルを考え、早めの準備に取り組んでいただきたいと思います。

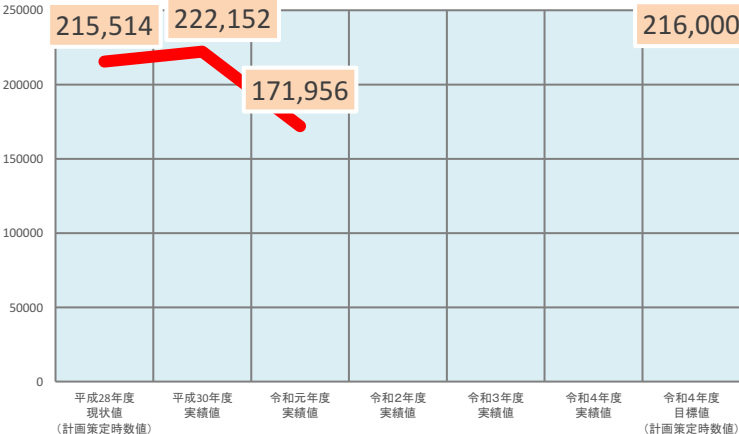
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
具体的施策	1 社会体育施設の充実

数値目標名	社会体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課
単位	人	達成率	112.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	277,422	達成度	A
平成30年度 実績値	296,971	推移グラフ	
令和元年度 実績値	315,755		
令和2年度 実績値			
令和3年度 実績値			
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	281,000		

推移グラフのデータ:

年度	数値
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	277,422
平成30年度 実績値	296,971
令和元年度 実績値	315,755
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	281,000

具体的施策		2 学校体育施設の利用の促進											
数値目標名	学校体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課										
単位	人	達成率	79.6%										
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	215,514	達成度	D										
平成30年度 実績値	222,152	推移グラフ	 推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>215,514</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>222,152</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>171,956</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>216,000</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	215,514	平成30年度 実績値	222,152	令和元年度 実績値	171,956	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	216,000
年度	数値												
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	215,514												
平成30年度 実績値	222,152												
令和元年度 実績値	171,956												
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	216,000												
令和元年度 実績値	171,956												
令和2年度 実績値													
令和3年度 実績値													
令和4年度 実績値													
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	216,000												

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実																
施策	2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実																
具体的施策	1 スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実																
数値目標名	スポーツ・レクリエーション大会、教室等参加者数	担当課	スポーツ振興課														
単位	人	達成率	38.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	19,712	達成度	D														
平成30年度 実績値	19,161	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>19,712</td><td>19,161</td><td>7,527</td><td></td><td></td><td></td><td>19,800</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	19,712	19,161	7,527				19,800
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
19,712	19,161	7,527					19,800										
令和元年度 実績値	※7,527																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	19,800																

※新型コロナウイルス感染症の影響により久喜マラソン大会が中止となったことから、また、雨の影響により各地区の体育祭の多くが中止となったことから、実績値が大幅減となっております。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実																
施策	4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援																
具体的施策	2 総合型地域スポーツクラブの創設支援																
数値目標名	総合型地域スポーツクラブ数	担当課	スポーツ振興課														
単位	クラブ	達成率	50.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1	達成度	D														
平成30年度 実績値	1	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>2</td><td>2</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1	1	1			2	2
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
1	1	1				2	2										
令和元年度 実績値	1																
令和2年度 実績値																	
令和3年度 実績値																	
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2																

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 社会体育施設の充実	244	社会体育施設の適正な管理・運営 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・社会体育施設の修繕、改修などを、市が行いました。 (鷺宮運動広場ナイター照明等交換工事、菖蒲温水プールオーバーフロー用ろ過ポンプ更新工事、菖蒲温水プール空調設備更新工事) ・社会体育施設の軽微な修繕、改修などを、指定管理者が行いました。 (延べ利用者数315,755人)
	245	社会体育施設の充実 (目標年度:令和2年度)	○	スポーツ振興課	・鷺宮運動広場に設置されている公衆トイレの改修のため、測量と設計を行いました。
2 学校体育施設の利用の促進	246	学校体育施設の開放促進 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・学校及び利用団体と調整を図りながら、市内全小・中学校(34校)の学校体育施設の開放を実施しました。 (延べ利用者数171,956人)

基本目標 施策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実	247	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 ※再掲(連番No.252) (継続的取組み)		スポーツ振興課	・綱引大会やくき健康ウォークなどのスポーツ・レクリエーション大会や教室を開催しました。 (参加者数7,527人)
2 スポーツ・レクリエーションに関する情報収集と広報活動の充実	248	スポーツ・レクリエーションに関する情報収集 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・ハイキングなどのイベント終了後に、参加者や運営スタッフから感想や改善点などの意見を収集しました。
3 地域における指導者の資質の向上	249	スポーツ推進委員への研修機会の充実 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ推進委員現地研修会などの研修への参加機会を提供しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市と指定管理者が連携して、社会体育施設利用者の快適な利用環境を整えることができました。	・予定していない修繕、改修が急に発生することもあり、日ごろの点検確認と、早目の準備をしておく必要があります。	3	・修繕・改修が必要な場所の洗い出しと、その修繕・改修に必要な予算の積算、さらには優先順位について、毎年検討していきます。
・施設改修の設計業務及び用地測量を実施したことにより、工事の準備が整いました。	・改修工事実施にあたり、関係者への周知と安全管理を徹底する必要があります。	B	・令和2年度中の供用開始に向け、改修工事を実施します。
・各小・中学校と調整を図りながら学校体育施設を開放することで、市民に身近なスポーツ・レクリエーションの活動の場を提供することができました。	・学校体育施設の老朽化により、利用団体からの整備の要望が増えてきています。	3	・今後の学校体育施設の整備について、学校や関係課と協議し、整理していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・スポーツ・レクリエーション大会、教室等を開催することで、市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を提供することができました。 ・久喜マラソン大会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。	・スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。	2	・全ての市民がライフステージに応じ、あらゆる機会とあらゆる場所、多様な関りを通して、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる活動の場、参加機会の充実を図ります。
・イベントに対する意見を収集することにより、参加者のニーズやイベントの改善点等の把握をすることができました。 ・久喜マラソン大会は中止となり、参加者からの意見収集ができませんでした。	・スポーツ・レクリエーションに対する市民のニーズは多様化しており、様々な情報収集が必要です。	2	・多くの市民がスポーツ・レクリエーション大会・教室等へ参加できるよう、情報収集を実施し、市民ニーズの把握に努めます。
・各種研修会に積極的に参加することで、地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者として中心的な役割を担うスポーツ推進委員の資質の向上を図ることができました。	・スポーツ・レクリエーション指導者として中心的な役割を担うスポーツ推進委員には、継続的に研修機会の充実を図る必要があります。	3	・地域における指導者の育成を推進するため、研修等の情報提供や研修機会の充実を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 久喜マラソン大会の開催	250	久喜マラソン大会の開催 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜市のスポーツイベントとして、第5回よろこびのまち久喜マラソン大会開催に向け準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 日時: 令和2年3月22日(日)中止 会場: 久喜総合運動公園(市民グラウンド) (参加申込者数5,577人)
2 地区体育祭の開催	251	地区体育祭の充実 (継続的取組み)		中央公民館	・4地区において、市民(地区)体育祭を実施しました。 (中央地区、青葉地区、江面地区、清久地区(清久小学校と合同開催)、東地区(雨天により中止)、菖蒲地区(グラウンドコンディション不良により中止)、栗橋地区(雨天により中止)、鷺宮地区(台風により中止))
3 多くの市民が参加できるスポーツ大会等の開催	252	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 ※再掲(連番No.247) (継続的取組み)		スポーツ振興課	・綱引大会やくき健康ウォークなどのスポーツ・レクリエーション大会や教室を開催しました。 (参加者数7,527人)

基本目標 施策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援	253	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ・レクリエーション団体の自主的活動の奨励及び育成・支援を図るため、各種スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体主催による大会、教室等の事業を支援しました。 【主な補助金交付団体】 体育協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会
2 総合型地域スポーツクラブの創設支援	254	総合型地域スポーツクラブの創設支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ団体との交流の場等で総合型地域スポーツクラブ創設に意欲的な団体の情報を収集しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・要望の多かったクオーターマラソンの部を新設し申し込みを受け付けておりました。 ・桜田地区のコースを変更することにより、コースに囲われた地区の解消をする予定でした。	・コースの固定化やスタッフの育成等、安定した大会運営を図る必要があります。	1	・久喜マラソン大会におけるコースや部門を固定化し、安定した大会運営を図ります。
・市民(地区)体育祭を実施することで、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会と、地域市民の交流の場を提供し、コミュニティの達成感を醸成することができました。	・各競技の参加者募集の方法についてさらに工夫する必要があります。	3	・スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会と、地域市民の交流の場を提供する機会として大きな役割があるため、今後も地域と協力して開催してまいります。
・スポーツ・レクリエーション大会、教室等を開催することで、市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を提供することができました。 ・久喜マラソン大会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。	・スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。	2	・全ての市民がライフステージに応じ、あらゆる機会とあらゆる場所、多様な関りを通して、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる活動の場、参加機会の充実に努めます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各種スポーツ・レクリエーション団体へ補助金を交付することにより、事業をはじめとする団体運営を支援することができました。	・各種団体の活動は、新たにスポーツ・レクリエーション活動を始める市民のきっかけ作りや受け皿として期待されるため、継続的に支援していく必要があります。	3	・スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体運営を支援していきます。
・総合型地域スポーツクラブ創設に意欲的な団体がなく、創設支援ができませんでした。	・総合型地域スポーツクラブの創設について意欲的な団体や個人について、情報網をはりめぐらしておく必要があります。	1	・指定管理者や学校体育施設開放登録団体に、チラシ等を配布して情報提供を求めています。



久喜市



市の木「イチョウ」



市の花「コスモス」